

Hokkaido University News

北大時報

令和4年

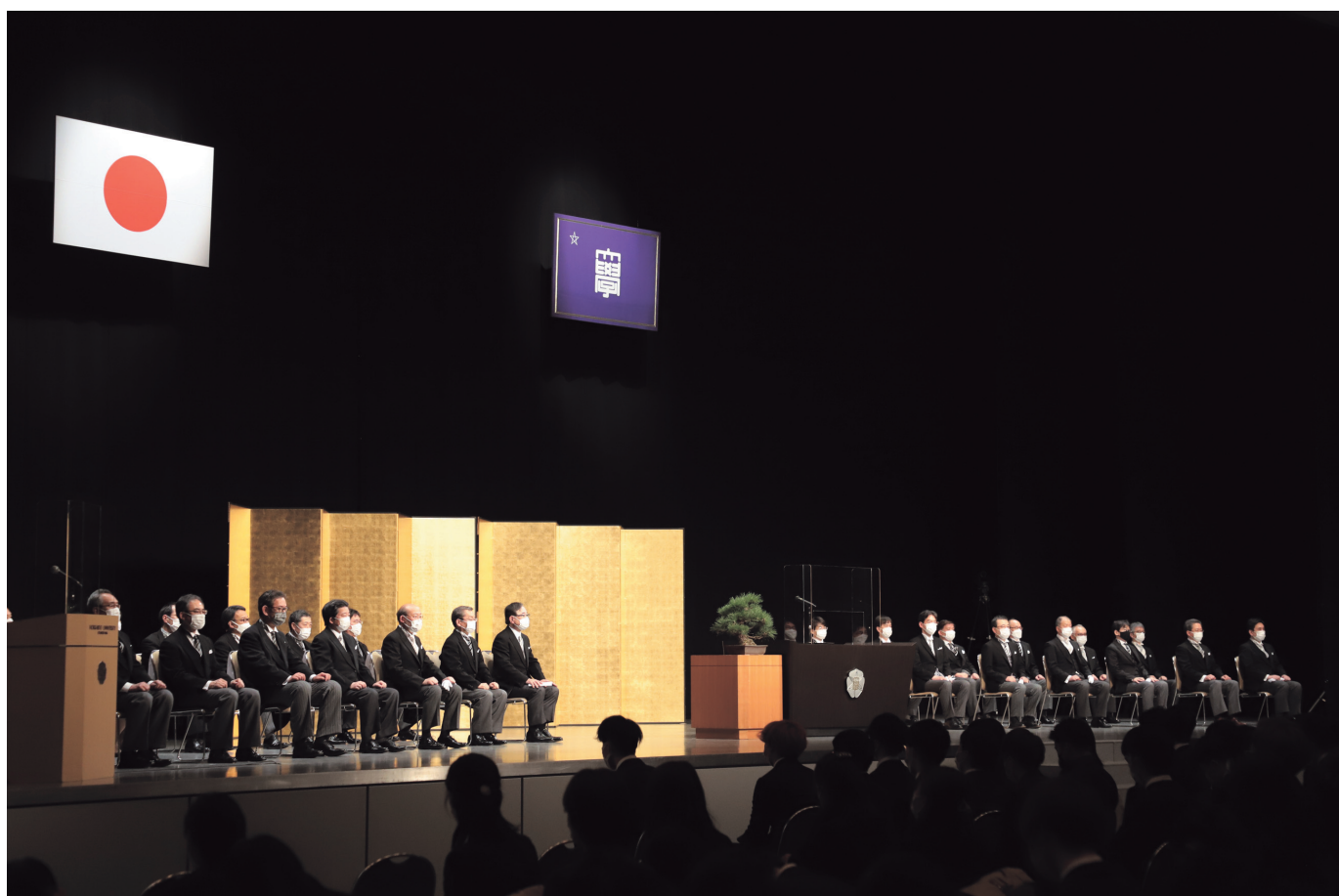
4

No. 817 April 2022

令和4年度入学者入学式の挙行
白土博樹教授が日本学士院賞を受賞
「アイヌ共生推進本部」を設置

お知らせ

・令和4年度人間ドック・特定健康診査の実施について



全学ニュース

- 1 令和3年度学位記授与式の挙
- 5 令和4年度入学式入学式の挙
- 8 白土博樹教授が日本学士院賞を受賞
- 10 宇山智彦教授がカザフスタン共和国ドストック（友好）勲章を受章
- 10 「アイヌ共生推進本部」を設置
- 11 3拠点を共同プロジェクト拠点として認定
- 13 「永年勤続者表彰」表彰式を挙
- 15 名誉教授に60氏
- 16 「職員表彰」表彰式を挙
- 17 令和4年度北海道大学の予算
- 19 北海道大学DX博士人材フェローシップ令和3年度修了者へ、修了式としてメッセージを配信
- 20 令和3年度現代日本学プログラム課程学士学位記授与式を開催
- 20 令和3年度新渡戸カレッジ修了式（学部教育コース）を挙
- 21 新渡戸カレッジ修了式（大学院教育コース）を挙
- 22 令和3年度北海道大学大塚賞受賞者の決定
- 22 令和3年度北海道大学クラーク賞受賞者の決定
- 22 令和3年度北海道大学鈴木章記念賞—自然科学実験—被表彰者の決定
- 23 令和3年度「北海道大学企業研究セミナー」を開催
- 24 サブサハラ・アフリカ地域向けに「大学院希望者向けオンライン日本留学フェア」を開催
- 25 フィリピン宇宙庁（フィリピン共和国）との連携協定を締結
- 26 第11回 定例記者会見を開催
- 27 「国民との科学・技術対話」支援事業 アカデミックファンタジスタ札幌龍谷学園高校、小樽潮陵高校、札幌東高校、札幌北高校へ向けて5名の研究者が講義を実施
- 29 北大フロンティア基金
- 31 北大5 附置研究所・化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD）合同シンポジウムを開催
- 32 鈴木章賞授賞式及び化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD）第4回国際シンポジウムを開催
- 34 国際連携研究教育局（GI-CoRE）バイオサーフィス創業グローバルステーション（GSD）が「第2回GSD国際シンポジウム・第27回ファーマサイエンスフォーラム・創業センター合同シンポジウム」を開催
- 35 Hokkaido University - The University of Melbourne Virtual Conference on Healthy Ageing（北海道大学—メルボルン大学ヘルシーエイジングに関するバーチャルコンファレンス）を開催

部局ニュース

- 36 経済学院がベスト・チューター賞授与式を開催
- 37 2021年度北海道大学物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム修了式を開催



宇山智彦教授がカザフスタン共和国ドストック（友好）勲章を受章



第11回 定例記者会見を開催



令和3年度学位記授与式の挙行



白土博樹教授が日本学士院賞を受賞

- 38 生命科学院 博士後期課程科目「少人数討論型育成プログラム」（北大帝人ブレインストーミングワークショップ）を実施
- 39 総合博物館で第14回「卒論ポスター発表会」を開催
- 41 医学部が令和3年度最終講義・退職記念式典を挙
- 42 医学研究院が「Clinical AI Human Resources Development Program 2nd アニュアルシンポジウム」を開催
- 43 医学研究院医理工学グローバルセンターが第4回分子医理工学サマースクール及び第8回医学物理サマースクールを開催
- 44 医学研究院医理工学グローバルセンターが国際シンポジウムを開催
- 45 令和3年度医学部保健学科卒業研究優秀賞表彰授与式を挙
- 46 令和3年度保健科学院長賞及び保健科学院修士課程研究発表賞授与式を挙
- 47 薬学研究院が「第15回薬学研究院研究発表会」を開催
- 47 国際広報メディア・観光学院が留学生（研究生）オンライン説明会を実施
- 48 メディア・ツーリズム研究センターでワークショップ「平和研究と観光研究の接続のありかを問い直す」を開催
- 49 スラブ・ユーラシア研究センター緊急セミナー「経済制裁とロシア：緊迫するウクライナ情勢」を開催
- 50 環境健康科学研究教育センターが令和3年度後期「社会と健康」修了生にディプロマ授与
- 51 脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第18期修了生に修了証書授与
- 52 附属図書館で「英語論文の書き方セミナー」オンライン講習会を開催

お知らせ 53

研修

- 55 令和4年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修（一般職）

博士学位記授与 56

表敬訪問 80

人事 81

- 90 役員新体制紹介
- 93 役員等（再任）紹介
- 95 新任部長等紹介
- 98 部局長等（再任）紹介
- 99 新任部課長等紹介
- 105 新任教授紹介

資料

- 111 令和4年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ
- 112 令和4年度入学者の都道府県分布及び地域比率



総合博物館で第14回「卒論ポスター発表会」を開催



メディア・ツーリズム研究センターでワークショップ「平和研究と観光研究の接続のありかを問い直す」を開催

表紙：令和4年度入学者入学式の挙行（関連記事5頁に記載）

裏表紙：キャンパス風景㊟ 新渡戸稲造博士顕彰碑（北11条西10丁目）

■全学ニュース

令和3年度学位記授与式の挙行政

令和3年度学士学位記授与式



学位記を受ける総代（札幌キャンパス）

令和3年度学士学位記授与式を3月24日（木）に、本学第二体育館において挙行政しました。

学士学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症対策として、会場内の座席の間隔を確保するため、二部構成で挙行政し、第一部では医学部・歯学部・薬学部・工学部・獣医学部の5学部を対象に、第二部では文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・農学部の6学部及び現代日本学プログラム課程を対象としました。卒業生全員を対象とした学位記授与式は平成30年度以来の3年ぶりとなりました。

学位記授与式では役員、学部長の列席の下、第一部・第二部の合計11学部及び現代日本学プログラム課程の卒業生2,258名（獣医学部共同獣医学課程のうち、帯広畜産大学が本籍の者を除く）を代表し、各学部等の総代へ寶金清博総長から学士学位記が授与されました。

また、第二部では新渡戸カレッジの修了者42名を代表し、総代へ修了証書が授与されました。

寶金総長は告辞の中で、卒業生に向けて「人類史上に残るコロナ禍の中、新たな人生の門出となる皆さんに、北海道大学総長として、最大限のエールを送りたいと思います。皆さんのこれからの人生の洋々たる前途を期待しております。」との言葉を贈りました。

その後、北海道大学合唱団による「都ぞ弥生」の合唱が流れ、式は終了しました。

3月25日（金）には、フォーポイントバイシェラトン函館において、水産学部の学位記授与式が挙行政されました。こちらも、卒業生全員を対象とした挙行政は平成30年度以来となりました。

式典では、水産学部卒業生207名を代表し、各学科の総代へ、木村暢夫水産学部長から学士学位記が授与され、新渡戸カレッジの修了者には、山口淳二新渡戸カレッジ校長代理から修了証書が授与されました。



告辞を述べる寶金総長



札幌キャンパス会場の様子



学位記を受ける総代（函館キャンパス）

令和3年度修士・専門職学位・博士学位記授与式

令和3年度修士・専門職学位・博士学位記授与式を、学士学位記授与式第一部の終了後に、第一体育館において挙行了しました。学士学位記授与式同様、修了者全員を対象とした式典は3年ぶりとなりました。

役員、研究科等の長の列席の下、16研究科等の修士課程修了者1,471名を代表し、各研究科等の総代へ修士学位記が、また、法科大学院（法学研究科法律実務専攻）修了者21名、経済学院会計情報専攻修了者17名及び公共政策学教育部公共政策学専攻修了者27名を代表し、各研究科等の総代へ専門職学位学位記が、寶金総長から授与されました。

引き続き、19研究科等の博士課程修了者336名、論文博士7名を代表し、各研究科等の総代へ、寶金総長から博

士学位記が授与されました。

この後、寶金総長より告辞があり、最後に北海道大学交響楽団による「都ぞ弥生」の演奏が流れ、式は締めくくられました。

翌日3月25日（金）には、フォーポイントバイシェラトン函館において、水産科学院の修士課程修了者88名を代表し、各専攻の総代へ木村水産科学院長から修士学位記が、また、博士課程修了者8名に対し、寶金総長から博士学位記が授与されました。

学部・研究科等別の卒業者数、修了者数及び論文博士授与者数は以下のとおりです。

博士学位記授与者については、本号54ページに掲載しています。

（学務部学務企画課）



学位記を受ける総代(札幌キャンパス)



函館キャンパス会場の様子

学部別卒業生数一覧

学部名	卒業生
文学部	178
教育学部	48
法学部	227
経済学部	187
理学部	299
医学部	269
歯学部	42
薬学部	77
工学部	665
農学部	214
獣医学部	(76) 40
水産学部	207
現代日本学プログラム課程	12
計	(2,501) 2,465

括弧書きの数字は本学及び帯広畜産大学の合計数

研究科等別大学院修士課程・専門職学位課程修了者数一覧

研究科等名	修了者	研究科・教育部・専攻名	修了者
法学研究科	11	法科大学院（法学研究科法律実務専攻）	21
水産科学院	88	経済学院会計情報専攻	17
環境科学院	141	公共政策学教育部公共政策学専攻	27
理学院	106		
農学院	151		
生命科学院	106		
教育学院	39		
国際広報メディア・観光学院	47		
保健科学院	53		
工学院	(342) 331		
総合化学院	138		
経済学院	37		
医学院	14		
医理工学院	12		
国際食資源学院	18		
文学院・文学研究科	87		
情報科学院・情報科学研究科	180		
計	(1,570) 1,559	計	65

括弧書きの数字は本学及び九州大学の合計数

研究科等別大学院博士課程修了者及び論文博士数一覧

研究科等名	課程博士	論文博士
法学研究科	1	
水産科学院	8	
環境科学院	12	1
理学院	22	
農学院	29	2
生命科学院	27	2
教育学院	4	
国際広報メディア・観光学院	4	
保健科学院	4	
工学院	29	

研究科等名	課程博士	論文博士
総合化学院	28	
経済学院	4	
医学院・医学研究科	66	2
歯学院・歯学研究科	37	
獣医学院・獣医学研究科	5	
医理工学院	6	
国際感染症学院	14	
国際食資源学院	5	
文学院・文学研究科	18	
情報科学院・情報科学研究科	21	
計	344	7

学士学位記授与式

北海道大学総長 寶金 清博

本日、本学を卒業される2,465名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。北海道大学を代表して、心からお祝い申し上げます。また、慣れない環境、異国の地で、本学を卒業された留学生の皆さんに対して、重ねて、お祝い申し上げます。

また、皆さんを支えてこられたご家族、関係者の皆さまに対しても、心より祝意をお伝えしたいと思います。さらに、この間、本学へのご支援を戴いた方々には、この場を借りて、深く御礼申し上げます。

振り返りますと、皆さんが、本学で学んだこの数年間は、特別な時期であったと思います。多くの出来事がありましたが、やはり、二つの出来事を挙げなければなりません。

まず、第一に、2019年末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が世界を一変させました。コロナ禍は、現在も終息の光は見えず、私たちは、未だに、暗いトンネルの中にいます。皆さんの卒業に向けての極めて重要な2年余りが、まさに、このコロナ禍であったことは、大変に辛い経験であったと思います。

授業はオンラインという慣れない環境で行われました。また、課外活動は大きく制限されました。友人や教員との授業以外での人間的交流は、厳しく制限される状況となりました。さらに、コロナ禍による経済的な困難に直面された学生が多かったと思います。

こうした厳しい環境の中で、研鑽を続けて、本日の卒業に至ったことは、大変高く評価されることです。

このコロナ禍という歴史的な転換点で卒業を迎えることは、私たちを含め、この時代を生きる皆さん全てにとって、極めて重く、運命的なことです。このコロナ禍が私たちの生き方、価値観を大きく変える決定的なものになることを考える必要があります。そして、皆さんは、このコロナ禍の後に、New Norm, すなわち、「新しい規範」と言われる新しい社会の成立を迎えることになります。

今回のコロナ禍によるパンデミックは、デジタル・トランスフォーメーションを加速し、日常生活の新しいルールの広がりなどを既に定着させています。

もう一つの出来事は、卒業が間近になった2月24日に起こりました。突然、ウクライナにおいて平穏な生活が失わ

れ、戦争状態に突入しました。第二次世界大戦以降も、20世紀から21世紀にかけて、アジア、中東などにおいて、私たちの世界から戦火が消えることはありませんでした。このことを私たちは、忘れてはなりません。特に、今回のウクライナの戦火は、規模が大きく、世界の平和と繁栄に対する根本的な不安をもたらしました。

この状況を私自身、冷静に見ることができません。これから、世界はどこに向かうのか。その不透明さと不安定さに大きな不安を感じます。確実に言えることは、私たちは大変に難しい時代の入口に立っていることです。

北海道大学では、人と人とが傷つけあうことを教育していません。皆さんも、振り返ってみると、そのような教育を受けなかったはずです。

皆さんは、この不透明で不安定な世界情勢の中で、次の社会を作る中心的役割を担う世代となります。私たちも全力を尽くします。皆さんも、北海道大学で培った力を存分に発揮され、この変革の時代に平和と繁栄をもたらす担い手となってください。世界の平和と繁栄にとって、私たちの力は本当に微力ですが、決して、無力ではありません。世界を変える力になると信じましょう。

本学は、まもなく創基150年の大きなマイルストーンを迎えます。

この150年の間に、先人達が私たちにメッセージを残しています。その中でも、私たち北海道大学のメンバーにとってのsoul sloganは、クラーク先生の残した「Be ambitious」という勇気を与える言葉だと思います。

私自身は、この言葉を、私たちの足元である北海道から、世界へ、私たちの教育、研究、そして、そこから生まれた人材を広げていくことだと解釈しています。これを「光は北から、北から世界へ」という自分なりの言葉でお伝えしています。「光」は、皆さんのような若い人材、そして、研究成果です。「北」は、もちろん、北海道大学のことも意味しますが、もっと広く、寒冷で厳しい気候・風土という私たちの環境を意味しています。

このコロナ禍も含めて、まさに、厳しい環境だからこそ、次の社会を先導するイノベーションの光を北海道大学の卒業生である皆さんが放つことを期待しています。

美しい広大なキャンパスと日本全国、そして世界から集まる仲間達と過ごしたこの数年間は、まさに、「比類なき

大学」での「かけがえのない時間」であったのではないかと思います。

どうか、この誇りを胸に、今後の人生を力強く歩んでいただきたいと願っています。

私たち、北海道大学は、次の大きな方針の一つとして、「社会との強い連携」を掲げています。本学は、社会の様々な組織や個人とのより強いつながりを求め、社会変革の起点となることを目指しています。

今後は、皆さんが、同窓会の一員として、生涯にわたっ

て、本学卒業生であることを誇りに思い、社会との連携の一つとして、同窓会を活用していただきたいと思います。

最後になりますが、人類史上に残るコロナ禍の中、新たな人生の門出となる皆さんに、北海道大学総長として、最大限のエールを送りたいと思います。

皆さんのこれからの人生の洋々たる前途を期待しております。

本日はおめでとうございます。

令和4年度入学者入学式の挙行



総代による入学者宣誓（市川小夏さん）

令和4年度入学者入学式を、4月6日（水）に札幌コンベンションセンターにおいて執り行いました。

入学式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、午前と午後の2回に分散して行いました。

式は、役員、副学長及び学部長の列席の下、新渡戸カレッジフェローの森順子さんの司会により開始され、寶金清博総長から新入生に対し告辞が述べられました。

総長は告辞の中で、新入生やご家族、関係者へお祝いを述べられ、続いて、本学の重要なエッセンスとして歴史やキャンパスについてオンリーワンである特徴を述べ、「比類なき大学」と表現していることを伝えました。

さらに、現在のコロナ禍や世界の危機の状況下で、新入生の大学生活のスタートは決して平坦ではないと気遣いながらも、数年後の卒業の時には、新しい平和と繁栄の時代の入口に立っていて欲しいと願いつつ、本学で学んで

良かったと思えるようになっていることを確信しており、「都ぞ弥生」に歌われた「人の世の清き国」を目指す lofty ambitionを達成するための基礎となる力を身につけてくださいと力強く激励しました。

総長告辞に続いて、2,545名の入学者を代表して市川小夏さん及び大迫想呼さんによる入学者宣誓が行われました。

その後、本学理事、監事、副学長及び学部長の紹介が行われ、式は終了しました。

入学式終了後には、山口淳二理事・副学長から「北大生活を送るにあたっての心構え」についてのガイダンスを実施し、本学の概要や教育方針、学生支援の仕組みなどについての講演を行いました。続けて、理学研究院の黒岩麻里教授から、令和3年12月1日に制定した北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン宣言を受けた新入生へのメッセージ講演を行い、新入生は北海道大学での新生活に向けて、真剣に

聞き入っていました。

入学式の後、札幌キャンパスの正門前などでは記念写真を撮影する新入生の姿も見られ、北海道大学への入学を喜ぶとともに新しい生活へ備える様子が見られました。

ご入学、おめでとうございます。

（学務部学務企画課）



告辞を述べる寶金総長



総代による入学者宣誓（大迫想呼さん）



山口理事・副学長によるガイダンス



黒岩教授によるダイバーシティ&インクルージョンメッセージ

令和4年度入学式

北海道大学総長 寶金 清博

本日、北海道大学は2,545名の新入生をお迎えしました。新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

北海道大学の全ての役職員、在学生を代表して、皆様のご入学を心からお祝い申し上げます。また、これまで、皆さんを支えてこられたご家族、関係者の皆様に心からお祝いを申し上げます。

入学式での総長のメッセージは、北海道大学で新しい数年間をスタートする皆さんへのメッセージです。それと同時に、皆さんと一緒に新しい年度をスタートする私自身の決意、そして、北海道大学の全ての関係者へのメッセージと思っています。

本日中には、英語版のホームページに、英訳が掲載されますので、外国人の学生さんばかりでなく、日本人の学生さんも是非、英語の練習と思って読んでください。

The English translation of this speech will be posted on our English website later today, and I would encourage all of you, not only our international students but also our Japanese home students, to read through it as English learning material.

最初に、北海道大学の歴史とキャンパスの素晴らしさをお伝えしたいと思います。まず、歴史についてです。今から146年前の1876年、北海道開拓に資する人材育成のため、欧米の大学に匹敵する高等教育機関を目指して、明治政府によって「札幌農学校」が設立されました。北海道大学の基礎はこの「札幌農学校」です。

札幌農学校では、まず、米国流のリベラルアーツ教育が行われました。「リベラルアーツ」とは、分かりやすく言えば、「幅広い一般教養」のことです。札幌農学校において、リベラルアーツ教育を大学教育の原点に置き、農学だけではなく、数学、化学、生物学から語学、歴史学、経済学に至るまで多様な基礎教育が英語により実施されていたことは驚くべきことで、現代においても、極めて先進的なことです。

以来、北海道大学はリベラルアーツ教育を通して、教育と研究に関わる4つの基本理念を培ってきました。すなわち、未踏の学問領域を探究する「フロンティア精神」、国際人としての素養を身に付け、多様性を尊重する「国際性の涵養」、人間形成の基盤を培う「全人教育」、そして、得られた成果を社会に還元する「実学の重視」です。

次にキャンパスについてです。本学は、札幌市の中心に位置し、日本でも有数の規模を誇る札幌キャンパスのほか、函館キャンパス、広大な研究林、臨海・臨湖実験所、果樹園、植物園、牧場などを有し、自然に恵まれた環境の中で教育・研究が行われています。

私は、海外を含む多くの大学キャンパスを歩いたことがありますが、北海道大学は、世界一美しいキャンパスと、素晴らしい四季に恵まれています。

このように、北海道大学は、その歴史や立地において、オンリーワンの大学です。私たちは、こうした本学の特徴を一言で表すため、「比類なき大学」と表現しています。

さて、私たちを取り巻く社会、世界は、今世紀に入って、最大の3つの危機の真ただ中にあります。

第一は、私たちが予想もしていなかった新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が2年以上も続き、依然として、その出口が見えないこと。第二は、世界の平和的秩序が脅かされ世界の破滅に繋がりがかねないウクライナの戦火。第三は、産業革命以降の人類の膨大な生産活動がもたらした地球温暖化などの気象変動により、地球上の命そのものが脅かされていることです。

この3つに共通することは、全て、人間が引き起こした危機であることです。そして、北海道大学は、この3つの危機の克服について、できることがあるということです。第一に、北海道大学は、大学の総合力を駆使して、コロナをはじめとする新しい感染症と戦うためのヘルスサイエンス研究の中心の一つです。第二に、本学は、全ての教育・研究の領域で、平和とそれに基づく世界の繁栄を求めてきました。特に、北海道大学はロシアに最も近い総合研究大学であり、スラブ・ユーラシア等の研究を通じて、世界の安定した平和の秩序を追い求めてきました。第三に、本学は、この自然に恵まれたキャンパスをサステイナブルなものとする歴史を持ち、エネルギー・地球環境研究に関する総合科学を発展させてきました。

皆さんは、この入学式の後に、「都ぞ弥生」の演奏をお聴きになります。「都ぞ弥生」は、私たちの先人が、明治時代に作詞・作曲したもので、日本でも最も有名な大学寮歌の一つです。どの歌詞も心を打ちますが、私や壇上の大学関係者が愛して止まない特別なフレーズがあります。それは、曲の一番の最後にあります。「人の世の清き国ぞと憧れぬ」というフレーズです。ここに、私は、先人たちの

仰ぎ見るような高い志を見ることができます。

今ある、この3つの危機に立ち向かう時、私たちは、「都ぞ弥生」に歌われた「人の世の清き国ぞと憧れぬ」という北海道大学の高邁な人道主義の精神に立ち返りたいと思います。この未曾有の危機の時代だからこそ、人道主義の理想の灯火を大学は消してはならないと思います。

北海道大学のような国立大学法人は、6年ごとに目標を決めて、社会に示す義務があります。この4月、私たちは、新しい6年の期間に入ります。本学は、独自の目標として、世界の課題解決、SDGs達成に貢献することを社会に約束しています。SDGsやゼロカーボン、世界の多くの国や組織が目標に掲げています。しかし、本学は、150年に近い歴史の中で、創立以来、キャンパスや研究林をはじめとする環境保全、そして、食資源、海洋研究、ヘルスサイエンス研究、DiversityなどSDGsの多くのアイコンを目標にしてきました。SDGsは、本学が本来有していた理念を言い換えたもので、北海道大学150年の遺伝子、DNAそのものです。

今日、2022年、令和4年4月の状況を見ると、皆さんの大学生活のスタートは決して平坦なものではないと思います。しかし、数年後の卒業の時には、世界が今の危機を脱

して、新しい平和と繁栄の時代の入り口に立っていて欲しいと願います。そして、皆さんが、北海道大学で学んで良かったと思えるようになっていくと確信します。

最後に、皆さんに、札幌農学校初代教頭のウィリアム・クラーク先生が残された有名な言葉“Be ambitious!”という言葉を送りたいと思います。大変有名な言葉です。短文で覚えやすく、かつ、力強く深い意味を持った言葉です。日本で、このような素晴らしいメッセージを持つ大学を、北海道大学以外に思いつきません。

“Be ambitious!”, この言葉は、今後の大学生活や人生において、皆さんに勇気を与えてくれる生涯にわたる魂の言葉になるでしょう。

新入生の皆さん、これまで私が述べてきた4つの基本理念、そして、多様性の尊重、SDGsの実現、ポスト・コロナの社会創造を通じて、世界の平和と繁栄という、人類共通の高邁な志、「人の世の清き国を目指す」lofty ambitionを達成するための基礎となる力を身に付けて下さい。

以上をもちまして、私から新入生の皆さんへの告辞いたします。

本日は、誠におめでとうございます。

白土博樹教授が日本学士院賞を受賞



しら と ひろ き
白土 博樹 氏

感 想

このたび、日本学士院賞を受賞
できることが決定いたしました。
医学研究院の最終講義が行われる
3日前の3月14日（月）に日本学

士院から電話がありました。日本学士院は、福沢諭吉が初
代会長で140年の歴史を持ち、日本学士院賞は日本の科学者
としての最高峰の賞であるということを知り、大変うれし
く思っております。授賞式は6月27日（月）とのことです。

今や、がんは、早期に発見して、手術、放射線、薬剤な
どで多くの方を治癒できる時代になっておりますが、依然
として日本の死因の第一位であり、まだまだ未解決のこ
とも多い世界の課題です。私は、40年前に放射線治療医の道
を歩み始め、同分野の急速な進歩を目の当たりにしてしま
いましたが、実際には、治せない方も大勢おりました。そのよ
うな時、私にできることは、診療の合間に、なぜ治らない
のかを考え、今までにない治療法を想像し、がんに対する
挑戦状としての「研究計画書」を書くことでした。多くの
挑戦は計画だけに終わりましたが、その中のいくつかは、
医学系研究者・理工系研究者・国内企業など、周りからの
大きなサポートが得られ、計画以上に事が進み、自分だけ
では成し遂げられないような成果を生みました。北海道大
学では、大きなチャレンジをすると、いままでお話したこ
とがなかった教員の方や事務部の方が、想像を超えるご支
援をしてくれました。たぶん、教員も職員も、皆がクラウ
ク精神を持っているのだと思われます。これは、今後とも
そう簡単には消えない、約150年の歴史の重みをもつ、北
海道大学の強みであると感じております。

本当は、成果物としての医療機器が各国で製造販売承認
され、その機器を基にした新医療技術が各国で保険収載さ
れていることを、かつて自分が治せなかった患者さんとそ
のご家族に、お伝えしたいところです。今のところ、心
の中の戦友であるその方々へ、現在の同じような患者さんに
その治療が活用されていることを心中でご報告して、良し
としていますが、今後は、過去に戻れるタイムマシンを開
発してほしいものです。

今まで、ご支援を頂きましたすべての方に感謝申し上げ
ます。また、話が大きくなりますが、明治維新の頃に札幌
の地に札幌農学校を建学した方々、北大の基本理念を打ち
立ててくれた方々、激動の約150年間我が国と北海道大学
を守ってくれた方々に尊崇の念を抱かざるを得ません。今
回の小生の受賞が契機となり、「日頃のできごとを基にし
た発想が世界の課題解決のために役立つことがあること」、
「北海道大学は自分の自由な発想を生かしてくれる基盤が
あること」、に気が付く後輩たちが少しでも増えれば、幸
甚です。

功績等

がんの放射線治療では、「如何にして周囲の正常細胞に
当たる放射線の量と範囲を減らし、がんだけに放射線を集
中するか」ということが、治療戦略上、重要となる。白土
博樹教授は、小型脳腫瘍等への±1mmの精度での一回大
線量照射のためにプログラムを自主開発し脳定位放射線治
療システムの製品化につなげた。

続いて、「体内で呼吸や腸動などで動いている臓器に発
生した小型のがんにどのように正確に放射線を集中する
か？」の課題に関して、2方向の直交X線透視撮影で、が
ん近傍に留置した1.5-2mmの金マーカーを0.033秒毎にリアル
タイムパターン認識技術で自動認識し、計画した3次元
位置に金マーカーが位置している間だけ±1.0-2.0mmの精
度で治療用X線の同期照射を行う治療を考案し、腫瘍動体
追跡（real-time tumor tracking）治療と命名した。動体追
跡X線治療装置を国内医療機器製造業者と開発し、周囲正
常組織への無駄な照射範囲を1/3-1/4に抑え、先進医療を
経て保険収載に結び付けた。同装置を利用して北海道大学
病院で1473例（令和3年9月時点）の初期の肺がん・肝が
ん・前立腺がん等を治療し、体内の動きに関する様々な新
知見を発表し、従来のX線治療よりも少ない有害反応（副
作用）で手術に匹敵する成績を挙げた。同装置は改良を重
ね、現在も15施設で高精度放射線治療に利用されている。

さらに、大きな腫瘍にも対応できるように、動体追跡技
術と粒子線治療技術とを融合し、コストも下げられる小型
動体追跡スポットスキュン型陽子線治療装置を考案し、最
先端研究開発支援プログラムにて産学連携で研究開発し、
同装置はジョンズホプキンズ大学病院・メイヨークリニッ
ク・MDアンダーソンがんセンター・シンガポール国立がん
センターなど世界最高峰の14病院に導入された。

過去約20年間に於いて、引用数上位1%の原著論文は8
編、上位10%の原著論文は68編であった（Web of Science
令和3年9月14日）。これらの医学研究、医理工学研究に
おいて、発案、開発・薬機承認・保険収載までの橋渡し研
究、国際規格の提案、若手研究者の育成を先導し、「医学
上の課題を理工学的な視点で解決する」創造的研究が可能
な国際的人材を育てる我が国で初めての大学院医理工学院
の開設に尽力した。

略 歴

生 年 月 日	昭和32年3月29日
昭和56年6月	北海道大学医学部附属病院放射線科 研修医
61年4月	北海道大学医学部 助手
61年10月	ブリティッシュ・コロンビア大学（バンクーバー カナダ）客員臨床研究員
62年10月	クリスティン病院ホルトリウム研究所（マンチェスター 英国）客員臨床研修医
平成元年4月	} 帯広厚生病院・主任医長
5年3月	
2年9月	医学博士（北海道大学）
5年4月	北海道大学医学部附属病院 講師
10年6月	北海道大学医学部附属病院 助教授

18年10月 北海道大学大学院医学研究科 教授
19年4月 } 北海道大学大学院医学研究科 副研究科長
21年3月 }
20年4月 } 北海道大学教育研究評議会・評議員
21年3月 }
25年4月 } 北海道大学大学院医学研究科 副研究科長
27年3月 }
25年4月 } 北海道大学教育研究評議会・評議員
26年 }
26年4月 } 北海道大学国際連携研究教育局・量子医理工学グローバルステーション長
令和2年3月 }
28年4月 北海道大学 デイステイニングイッシュトプロフェッサー称号付与
29年4月 北海道大学大学院医学研究院 教授
29年4月 } 北海道大学大学院医理工学院長
令和3年3月 }
令和2年4月 } 北海道大学医学研究院医理工学グローバルセンター長
4年3月 }

宇山智彦教授がカザフスタン共和国ドストゥク（友好）勲章を受章

スラブ・ユーラシア研究センターの宇山智彦教授が、2021年12月2日（木）付のカザフスタン共和国大統領令により、ドストゥク（友好）勲章（«Достық» ордені）を受章しました。勲章の伝達式は、松井 啓初代駐カザフスタン日本大使へのカザフスタン共和国独立30周年記念メダル授与式とあわせ、2022年3月18日（金）に、東京の在日カザフスタン大使館で行われました。

ドストゥク勲章は、社会的和合、平和の増進、民族間の友好・協力に関わ

る功績に対して授与されるものです。サブル・エシムベコフ駐日大使は、今回の授章は、宇山教授がカザフスタンの歴史・文化・社会、特にロシア革命期の自治運動アラシュ・オルダの研究を行い、カザフスタンと日本の相互理解を深めたことによるものであると説明しました。

宇山教授はカザフ語で答礼スピーチを行い、この受章は自分だけではなく日本のカザフスタン研究者全体の業績に対するものであると理解していると

述べ、お世話になったカザフスタンの学者・知識人への感謝の意を表すとともに、アラシュ・オルダと日本の関係に触れ、カザフスタンのさらなる発展を願う気持ちを語りました。

（スラブ・ユーラシア研究センター）



サブル駐日カザフスタン大使（左）からの勲章授与



バトゥルハン・クルマンseit公使（左）と宇山教授



ドストゥク（友好）勲章

「アイヌ共生推進本部」を設置

4月1日（金）付けで、運営組織として「アイヌ共生推進本部」が設置されました。

平成20年に衆参両院の本会議において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が行われ、その前年には国際連合において「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択されるなど、国内外において先住民族への配慮を求める要請が高まっています。

本学としても、平成17年に中村睦男総長（当時）が、「先住民族と大学」に関するシンポジウムにおいて、民族の尊厳を尊重しつつ、アイヌをはじめとする先住少数民族に関する全国的・国際的な研究教育を実施することが本学の責務であると宣言したほか、令和元年には、笠原正典総長職務代理（当

時）が「教育研究機関として、アイヌの方々から民族の誇りを持って生活することができ、かつ、その誇りが尊重される社会を実現するために何ができるかを考え、アイヌの方々に寄り添いながら、真摯に取り組んでいく」ことを表明しました。

このような背景の下、アイヌ共生推進本部は、アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための本学における施策の企画及び立案を行い、並びに実施するとともに、アイヌ民族に関する本学の各種の取組を推進し、もってアイヌ民族との共生に資するための組織として設置されました。

具体的には、アイヌ民族との信頼関係構築、アイヌ民族である学生・教職員が安心して教育研究に専念できる環

境の整備、学生・教職員によるアイヌ民族への理解の深化など、本学におけるアイヌ施策に関する重要事項に関する業務を行います。

北海道に根ざした教育研究機関として、学内外におけるアイヌ民族の歴史、文化に対する認知や理解を促進させていくことは、先住民族を尊重し、多様な価値を認め合うわが国の目指す共生社会の構築に資する教育・研究環境を整備することにも繋がります。また、本学のダイバーシティ&インクルージョン推進宣言の達成にも資することが期待されます。

（アイヌ共生推進本部）

3拠点を共同プロジェクト拠点として認定

本学では、学内組織にとらわれず、社会のニーズに沿って、高度な教育プログラムの開発や複数の学問分野にまたがった優れた教育や研究を行うプロジェクトのうち、本学の教育研究の充実に特に資すると認められるものを、「共同プロジェクト拠点」として認定

しています。拠点として認定することにより、活動が学外からも見えやすくなり、教育研究活動が更に発展することが期待されます。

4月1日（金）付けで、「産学融合ライフイノベーションセンター」「北海道ワイン教育研究センター」「認知

症研究拠点」の3つの拠点を、共同プロジェクト拠点として認定しました。

なお、本学が現在認定している共同プロジェクト拠点は以下のとおりです。

（総務企画部企画課）

プロジェクト拠点名	代表者	認定期間	拠点の活動テーマ
情報法政策学研究センター	法学研究科 中山 一郎	H30.4 ～ R5.3	情報法政策学研究
量子トポロジー理工学教育研究センター	工学研究院 丹田 聡	R2.4 ～ R7.3	トポロジー理工学
One Healthリサーチセンター	人獣共通感染症 国際共同研究所 澤 洋文	R3.3 ～ R7.3	多様な人材が、組織・研究室・部門の壁を越えてOne Healthを共通目標に集い協働するプラットフォームの構築
産学融合ライフイノベーションセンター	薬学研究院 前仲 勝実	R4.4 ～ R9.3 【再認定】	連続的に医薬品候補を創出する創薬拠点形成
北海道ワイン教育研究センター	農学研究院 曾根 輝雄	R4.4 ～ R9.3 【新規認定】	北海道のワイン産業を持続的に発展させるための教育研究
認知症研究拠点	医学研究院 矢部 一郎	R4.4 ～ R9.3 【新規認定】	持続可能社会の実現に向けた世界トップレベルの認知症関連研究の推進と社会実装

産学融合ライフイノベーションセンター



連続的に医薬品候補を創出する創薬拠点形成

拠点代表者：前仲勝実（薬学研究院）

目的・必要性

H28.1～R4.3 共同プロジェクト拠点「産学融合ライフイノベーションセンター」において、以下を実施してきた。

- ・AMED等の大型創薬予算や本学概算機能強化経費の獲得
- ・国際社会で通用する創薬及び生命科学研究者の育成
- ・感染症創薬研究の実績を活用し、COVID-19に対する治療薬やワクチン開発に大きく貢献

⇒人類共通の医療・健康の向上のためこれらの活動は今後も発展的に継続していく必要があり、そのためには、以下組織が教育・研究の両方で有機的に連携するための役割を担う、本拠点の継続が必要不可欠である。

人獣共通感染症国際共同研究所
(シオノギ抗ウイルス薬研究部門)

創薬科学研究教育センター
(薬学研究院)

次世代物質生命科学研究センター
(先端生命科学研究院附属施設)

教育・研究内容

- ・共同研究の推進による原著論文執筆や特許出願：
産地機構と連携してより多くの共同研究を実施し、創薬を指向した基礎ライフサイエンス研究の充実と社会実装に向けた特許取得へのスムーズな展開を進める。
- ・最先端創薬センター機器の利用：
AMEDの支援等により統合的な創薬関係機器を維持し、クライオ電顕（特に世界初のBSL3ハイエンドクライオ電子顕微鏡）を運用する。
- ・参加企業の誘致：
塩野義製薬・エヌビー健康研究所・人獣共通感染症国際共同研究所による協働体制に加え、今後さらに同様の連携の構築に向けて企業誘致に努める。
- ・産業創出講座の強化：
産業創出型IP-Policyを活かし、組織対組織型のパートナーシップに基づいて企業研究室を誘致し、更なる共同研究を推進する。
- ・HSI科目の実施による創薬に関わる幅広い人材育成：
「ライフイノベーションセミナー」（創薬科学特別講義Ⅰ、1単位）、「バイオキャンパス」（創薬科学特別講義Ⅱ、1単位）を実施する。

期待される成果等

- ・COVID-19に対する治療薬やワクチン開発等、感染症創薬研究に貢献する。
- ・製薬メーカー、医療機器メーカー、関連したバイオベンチャー企業、化学、食品企業などとの幅広い連携をさらに深め、医薬品候補品、バイオマーカー検出などの最先端分析機器、付加価値の高い化粧品や食品の創出を目指す。
- ・地域企業との共同研究を活性化することにより、創薬・医療関連企業の地域誘致を促進し、地域経済の活性化につながる。
- ・世界初のBSL3ハイエンドクライオ電子顕微鏡の整備は世界的な注目を集めるものであり、世界の知に大きく貢献するものと期待できる。これにより感染症を中心とした疾患に対する創薬研究の顕著な進展を期待している。
- ・北海道大学病院・臨床研究開発センターと連携し、創薬開発に重要な臨床サンプルの取り扱いや医薬品候補品の治験に向けた橋渡し研究について実用化へのプロセスを加速する。

産学融合ライフイノベーションセンターの概要

北海道ワイン教育研究センター



北海道のワイン産業を持続的に発展させるための教育研究

拠点代表者：曾根輝雄・大学院農学研究院教授

目的・必要性

ワインの生産には、気象学、土壌学、栽培学、醸造学、農業工学、農業経済学などの自然科学分野のみならず、社会科学分野を含む様々な学問分野が包含されるが、ワイン産業の持続的な発展のためには、これらの複数の学問分野を融合した、教育研究と人材育成が必要である。

本学の総合大学としての強みを活かし、ワイン産業に関する融合的な教育研究拠点「北海道ワイン教育研究センター」を設置し、北海道のワイン産業を持続的に発展させるための教育研究を行う。

教育・研究内容

本プロジェクト拠点では、以下について取り組む。

- ①醸造用ブドウ生産者やワイナリー、地方公共団体との密な連携を図りながら、ワイン産業のサステイナビリティ向上のための融合研究を行い、その研究成果を発信する。
- ②本学学生に対し、ワイン生産に関する専門的な知見に関する講義を行うとともに、実際の生産現場での実習なども生産者と連携しながら行い、次代のワイン生産を担う人材の育成を行う。また、ワイン生産に関する履修証明プログラムの開設等により、新規参入生産者の教育にも参画する。

期待される成果等

- ・ワイン生産に関する融合的な教育研究活動により、本学のワイン関連研究が拡大・推進・融合され、ワイン生産へのフィードバックが図られる。
- ・本学学生のワイン生産への興味を高め、地域のワイン生産を支える人材が育成されるとともに、生産者の生産技術の向上が図られる。
- ・多様な人材が、ワイン教育研究を共通目標に集い、醸造用ブドウ生産者やワイナリー、地方公共団体および他の研究機関と連携し、研究プロジェクト、国際的な教育研究活動、および実践的教育活動を進めることが可能となる。
- ・本センターの活動により得られる知見は、北海道のワイン産業の発展と北海道の地域経済圏の発展に直結するのみならず、全国的な地域経済の活性化につながるものである。



北海道におけるワイン関連産業の持続的発展



北海道ワイン教育研究センターの概要

認知症研究拠点



持続可能社会の実現に向けた世界トップレベルの認知症関連研究の推進と社会実装

拠点代表者：矢部一郎・医学研究院・教授

目的・必要性

- ・超高齢化社会において、認知症の推計数は約700万人とされている。
- ・日本政府は平成27年に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を提示し、令和元年に「認知症施策推進大綱」を閣議決定した。
- ・このような社会ニーズに対し、「認知症の予防・早期発見・診断・治療・ケア・病理診断までシームレスに連携する認知症研究の拠点」を本学に確立する。
- ・従来、個別に勧められてきた認知症研究を統合すること、さらに「予防と共生」の視点も加えて、ITやAIなどその最新技術を駆使し、地域ネットワークを構築する。
- ・少子高齢化が日本で最も先行する北海道において必須の取り組みであり、指定国立大学探求実現にも資するものとなる。

教育・研究内容

- ・認知症予防/診断/治療技術開発
革新的な視点をAMEDムーンショットプロジェクトから加える
 - ・ニューロモジュレーションを用いた新規治療開発
 - ・診断バイオマーカー開発
- ・共生コミュニティの創造
認知症高齢者が多世代とのかかわりの中で、役割をもって生き生きと生活するコミュニティ
 - ・メタバース空間の構築
 - ・ブレインバンク・バイオバンク・長期縦断研究
- ・デジタル化普及とデジタルデバイドの解消
遠隔医療による認知症・軽度認知障害の早期発見および診断・治療・ケアのシームレスな地域ネットワークの構築
 - ・遠隔モニタリング・診断・リハビリ・人材育成
 - ・通いの場への遠隔支援による認知症疑い例への早期介入

期待される成果等

本研究拠点において、認知症と共生できる社会実現と、認知症の病態解明を基盤とした予防方策と治療実装を目指す。また、すべての期間において、本計画を実働するための外部資金獲得を目指すとともに、組織の拡充に努める。

- 1) 一般社会における認知症の実態を就労状況含め調査し解明する。
- 2) 認知症病態を解明する。
- 3) 認知症の早期発見に努める。
- 4) 認知症を予防・治療する。
- 5) 1)～4)を統合し、認知症予防及び共生方策の実装を目指す。

認知症研究拠点の概要

「永年勤続者表彰」表彰式を挙行



寛金清博総長による挨拶

3月31日（木）、「永年勤続者表彰」表彰式が関係者列席のもと、オンラインにより執り行われました。

この表彰は、令和4年3月31日をもって定年、または15年以上在職し退職された方を対象とするものです。

なお、この度表彰を受けられた方々は、下記のとおりです。

（総務企画部人事課厚生労務室）

永年勤続者表彰（退職時）被表彰者

所 属	氏 名	所 属	氏 名
創成研究機構	GAUTAM PITAMBAR	大学院先端生命科学研究院	金 城 政 孝
高等教育推進機構	細 川 敏 幸	〃	姚 関
大学院法学研究科	吉 田 邦 彦	大学院教育学研究院	浅 川 和 幸
大学院水産科学研究院	尾 島 孝 男	大学院メディア・コミュニケーション研究院	伊 藤 直 哉
〃	関 秀 司	〃	江 口 豊
大学院地球環境科学研究院	鈴 木 仁	〃	清 水 賢一郎
大学院理学研究院	神 保 秀 一	〃	寺 田 龍 男
〃	中 川 光 弘	〃	山 田 義 裕
〃	日 置 幸 介	〃	渡 邊 浩 平
〃	堀 口 健 雄	大学院保健科学研究院	浅 賀 忠 義
〃	松 島 俊 也	〃	佐 藤 洋 子
〃	山 下 博	〃	政 氏 伸 夫
〃	山 下 正 兼	〃	溝 部 佳 代
〃	田 邊 顕一郎	大学院工学研究院	五十嵐 敏 文
〃	中 山 隆 一	〃	小 川 英 之
〃	PURTUNATO MARTINS MARIA HELENA	〃	郷 原 一 壽
〃	松 山 秀 生	〃	丹 田 聡
大学院農学研究院	秋 元 信 一	〃	藤 井 義 明
〃	木 村 淳 夫	〃	WRIGHT OLIVER BERNARD
〃	小 林 泰 男	〃	恵良田 知 樹
〃	鯨 島 良 次	〃	及 川 俊 一
〃	高牟禮 逸 朗	〃	田 中 之 博

所	属	氏 名
大学院工学研究院		樋 口 幹 雄
〃		麻 里 哲 広
大学院経済学研究院		園 信太郎
〃		長谷川 光
〃		米 山 祐 司
大学院医学研究院		佐 邊 壽 孝
〃		岩 永 ひろみ
〃		神 山 俊 哉
〃		山 田 雅 文
〃		大 塚 紀 幸
大学院歯学研究院		田 村 正 人
〃		藤 澤 俊 明
〃		東 野 史 裕
〃		本 郷 博 久
〃		吉 岡 正 昭
大学院獣医学研究院		安居院 高 志
〃		大 橋 和 彦
大学院文学研究院		大 西 郁 夫
〃		清 水 誠
〃		藤 本 純 子
〃		森 岡 和 子
大学院情報科学研究院		荒 木 健 治
〃		小笠原 悟 司
〃		大久保 好 章
大学院公共政策学連携研究部		遠 藤 乾
北海道大学病院		秋 田 弘 俊
〃		生 駒 一 憲
〃		石 川 誠
〃		高 橋 典 彦
〃		陳 進 輝
〃		山 口 博 雄
〃		西 田 睦
〃		高 橋 久美子
〃		新 岡 郁 子
〃		石 川 薫
〃		笠 松 美 紀
〃		菊 池 宏 子
〃		伊 藤 友 絵
〃		椎 名 友 章
〃		田 端 祥 恵
〃		本 間 清 香
〃		松 橋 正 子

所	属	氏 名
北海道大学病院		三 浦 優 子
〃		山 本 英津子
〃		池 田 美 貴
〃		大久保 る み
〃		椎 名 智 暁
〃		竹 村 明 美
〃		田 中 千代子
〃		原 千 晴
〃		西 川 圭 吾
低温科学研究所		香 内 晃
遺伝子病制御研究所		室 田 宏 之
触媒科学研究所		大 谷 文 章
〃		西 田 まゆみ
情報基盤センター		水 田 正 弘
北方生物圏フィールド科学センター		佐 藤 冬 樹
〃		山 田 敏 彦
〃		榎 本 浩 志
〃		林 忠 一
事務局		大 道 元
総務企画部		河 野 孝 紀
〃		根 本 恒 秀
〃		渡 辺 修
学務部		関 谷 英 俊
研究推進部		長谷川 康 弘
理学・生命科学事務部事務課		浪 塚 良 平
薬学事務部		八 巻 雅 彦
農学・食資源学事務部		斎 藤 由美子
医学系事務部		佐 藤 浩 司
〃		岩 松 正 一
〃		佐 藤 陽 一
〃		横 松 剛 志
獣医学系事務部		井 上 直 樹
文学事務部		池 田 徹
北海道大学病院事務部		石 井 進
〃		三 浦 順 一
〃		高 瀬 吉 晴
〃		浅 野 美 穂
〃		石 川 裕 司
〃		遠 藤 克 紀
〃		吉 井 洋
附属図書館事務部		高 野 直 樹

名誉教授に60氏

本学名誉教授称号授与規程に基づき、3月16日（水）開催の教育研究評議会において、次の60氏に対し名誉教授の称号を授与することを決定し、本年4月から新たに名誉教授となられる方々には、決定通知が送付されました。

なお、称号授与式は、6月7日（火）を予定しています。

（総務企画部人事課厚生労務室）

北海道大学名誉教授

細 川 敏 幸	（元高等教育推進機構教授）	佐 藤 洋 子	（元大学院保健科学研究院教授）
山 下 好 孝	（元高等教育推進機構教授）	山 本 徹	（元大学院保健科学研究院教授）
尾 島 孝 男	（元大学院水産科学研究院教授）	五十嵐 敏 文	（元大学院工学研究院教授）
関 秀 司	（元大学院水産科学研究院教授）	小 川 英 之	（元大学院工学研究院教授）
鈴 木 仁	（元大学院地球環境科学研究院教授）	郷 原 一 壽	（元大学院工学研究院教授）
及 川 英 秋	（元大学院理学研究院教授）	丹 田 聡	（元大学院工学研究院教授）
中 川 光 弘	（元大学院理学研究院教授）	藤 井 義 明	（元大学院工学研究院教授）
日 置 幸 介	（元大学院理学研究院教授）	WRIGHT OLIVER BERNARD	（元大学院工学研究院教授）
堀 口 健 雄	（元大学院理学研究院教授）	佐々木 潔	（元大学院経済学研究院教授）
松 島 俊 也	（元大学院理学研究院教授）	園 信太郎	（元大学院経済学研究院教授）
山 下 博	（元大学院理学研究院教授）	長谷川 光	（元大学院経済学研究院教授）
山 下 正 兼	（元大学院理学研究院教授）	米 山 祐 司	（元大学院経済学研究院教授）
秋 元 信 一	（元大学院農学研究院教授）	佐 邊 壽 孝	（元大学院医学研究院教授）
木 村 淳 夫	（元大学院農学研究院教授）	田 村 正 人	（元大学院歯学研究院教授）
小 林 泰 男	（元大学院農学研究院教授）	藤 澤 俊 明	（元大学院歯学研究院教授）
鮫 島 良 次	（元大学院農学研究院教授）	安居院 高 志	（元大学院獣医学研究院教授）
小布施 力 史	（元大学院先端生命科学研究院教授）	大 西 郁 夫	（元大学院文学研究院教授）
金 城 政 孝	（元大学院先端生命科学研究院教授）	清 水 誠	（元大学院文学研究院教授）
姚 関	（元大学院先端生命科学研究院教授）	荒 木 健 治	（元大学院情報科学研究院教授）
浅 川 和 幸	（元大学院教育学研究院教授）	小笠原 悟 司	（元大学院情報科学研究院教授）
伊 藤 直 哉	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	遠 藤 乾	（元大学院公共政策学連携研究部教授）
宇佐見 森 吉	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	宮 脇 淳	（元大学院公共政策学連携研究部教授）
江 口 豊	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	秋 田 弘 俊	（元北海道大学病院教授）
清 水 賢一郎	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	生 駒 一 憲	（元北海道大学病院教授）
竹 中 のぞみ	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	香 内 晃	（元低温科学研究所教授）
寺 田 龍 男	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	大 谷 文 章	（元触媒科学研究所教授）
長 野 督	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	西 田 まゆみ	（元触媒科学研究所教授）
山 田 義 裕	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	水 田 正 弘	（元情報基盤センター教授）
渡 邊 浩 平	（元大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）	佐 藤 冬 樹	（元北方生物圏フィールド科学センター教授）
浅 賀 忠 義	（元大学院保健科学研究院教授）	山 田 敏 彦	（元北方生物圏フィールド科学センター教授）

「職員表彰」表彰式を挙行



表彰式の様子

3月10日（木）、「職員表彰」表彰式が関係者列席のもと、オンラインにより執り行われました。

この表彰は、職務上顕著な功績等があった方及び職務外において職員の模範として表彰に値する善行を行った方を対象とするものです。

なお、この度表彰を受けられた方々は、下記のとおりです。

（総務企画部人事課厚生労務室）

職員表彰被表彰者

所	属	氏	名
総務企画部		池	田 光 雄
大学院工学研究院		松	尾 孝 之
北海道大学病院		渡	部 恵 子
北方生物圏フィールド科学センター		佐	藤 浩 幸

令和4年度北海道大学の予算

令和4年度 北海道大学収入・支出予算書

(単位：千円)

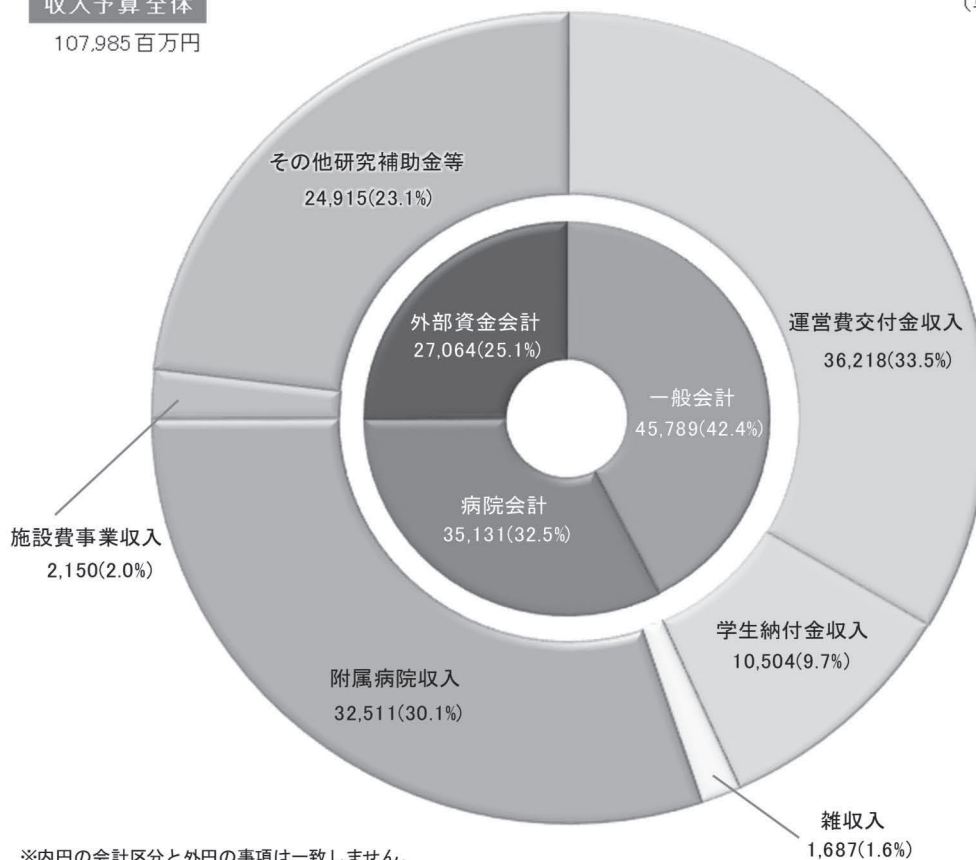
収 入				支 出			
事 項	前年度 予算額	令和4年度 予算額	増減額	事 項	前年度 予算額	令和3年度 予算額	増減額
〔一般会計〕	45,962,577	45,789,430	△173,147	〔一般会計〕	45,962,577	45,789,430	△173,147
運営費交付金収入	34,001,162	33,792,372	△208,790	人件費	27,180,766	27,541,747	360,981
学生納付金	10,604,256	10,503,718	△100,538	教育研究組織改革分	0	111,449	111,449
雑収入	1,357,159	1,493,340	136,181	共通政策課題分	511,137	706,675	195,538
				特殊要因経費	3,136,471	2,608,999	△527,472
				退職手当	2,977,654	2,477,162	△500,492
				建物新営に伴う設備費	15,490	98,802	83,312
				移転費	143,327	33,035	△110,292
				調整費	200,000	200,000	0
				特定経費	3,876,020	4,087,227	211,207
				電子計算機借料	249,164	236,602	△12,562
				電子ジャーナル経費	433,743	473,976	40,233
				公租公課、保険料等	1,052,000	1,143,850	91,850
				燃料費	0	0	0
				授業料等減免費	704,537	816,094	111,557
				収入見合経費	1,436,576	1,416,705	△19,871
				基盤配分経費	6,034,177	5,947,022	△87,155
				学長裁量経費	5,024,006	4,586,311	△437,695
				既定分	2,209,990	2,917,307	707,317
				機能強化促進事業費	2,814,016	1,669,004	△1,145,012
〔病院会計〕	34,091,382	35,130,726	1,039,344	〔病院会計〕	34,091,382	35,130,726	1,039,344
運営費交付金収入	2,425,496	2,425,345	△151	人件費	8,743,069	8,699,734	△43,335
附属病院収入	31,483,384	32,511,421	1,028,037	病院診療経費	24,481,134	25,816,396	1,335,262
雑収入	182,502	193,960	11,458	債務償還経費	258,275	15,435	△242,840
				基盤配分経費	101,469	99,845	△1,624
				学長裁量経費	507,435	499,316	△8,119
〔外部資金会計〕	24,604,531	27,064,465	2,459,934	〔外部資金会計〕	24,604,531	27,064,465	2,459,934
施設費補助金等収入	1,251,876	2,149,920	898,044	施設整備費	1,251,876	2,149,920	898,044
保育園運営費補助金収入	93,622	89,936	△3,686	保育園運営費補助金事業費	93,622	89,936	△3,686
授業料等減免費交付金収入	222,822	261,729	38,907	授業料等減免費交付金事業費	222,822	261,729	38,907
寄附金収入	2,420,061	2,710,956	290,895	直接事業費	19,935,757	21,319,501	1,383,744
受託研究収入	6,838,149	7,566,591	728,442	寄附金事業費	2,380,462	2,667,546	287,084
共同研究収入	2,207,432	2,499,999	292,567	受託研究費	5,857,118	6,416,597	559,479
受託事業収入	1,362,793	1,604,979	242,186	共同研究費	1,790,461	2,058,358	267,897
大学改革補助金等収入	3,258,206	3,443,468	185,262	受託事業費	1,339,506	1,559,705	220,199
文部科学省科学研究費補助金	6,710,381	6,582,182	△128,199	大学改革補助金等事業費	3,186,792	3,380,819	194,027
厚生労働省科学研究費補助金	180,576	113,940	△66,636	文部科学省科学研究費補助金	5,165,785	5,099,211	△66,574
その他助成金等	58,613	40,765	△17,848	厚生労働省科学研究費補助金	157,020	96,500	△60,520
				その他助成金等	58,613	40,765	△17,848
				間接経費	3,100,454	3,243,379	142,925
				特定経費（電子計算機借料）	785,160	785,160	0
				特定経費（燃料費）	558,925	656,241	97,316
				特定経費（電子ジャーナル経費）	166,257	126,024	△40,233
				部局配分経費	1,590,112	1,675,954	85,842
合 計	104,658,490	107,984,621	3,326,131	合 計	104,658,490	107,984,621	3,326,131

令和4年度 北海道大学収入・支出予算（グラフ）

収入予算全体

107,985百万円

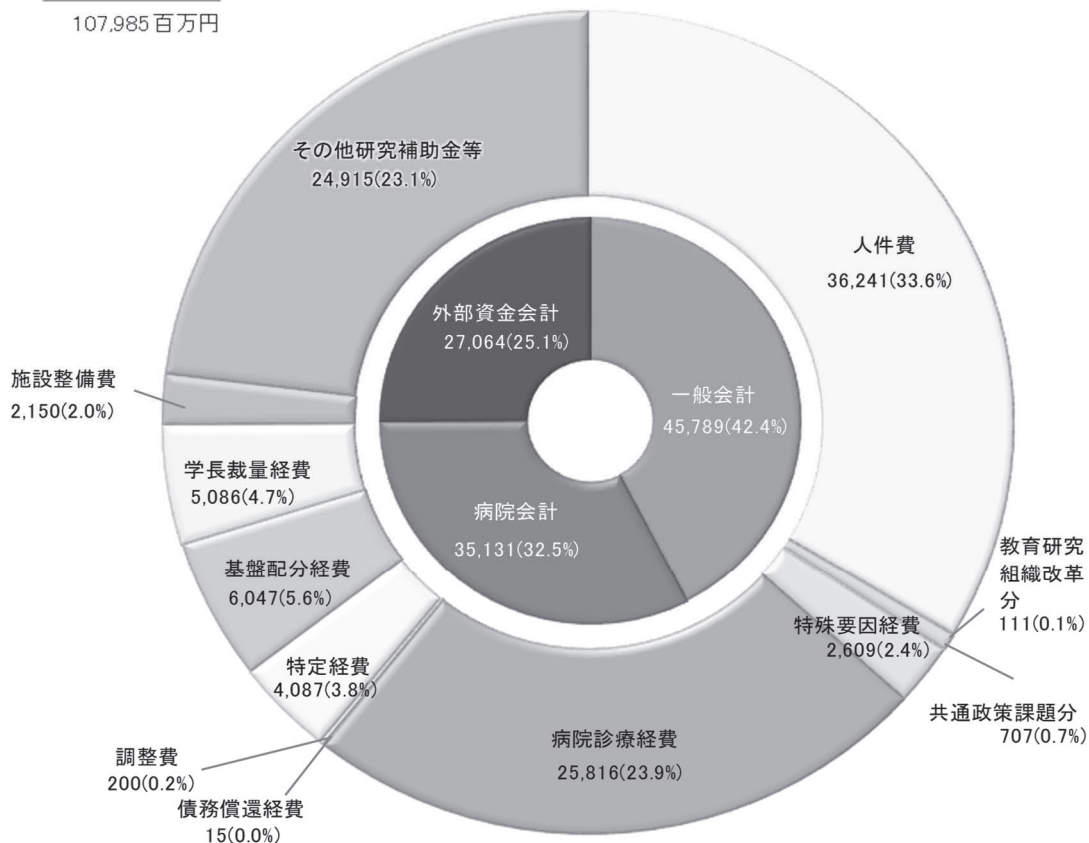
（単位：百万円）



支出予算全体

107,985百万円

（単位：百万円）



※項目毎に四捨五入を行っているため、合計が一致しない場合があります。

（財務部主計課）

北海道大学DX博士人材フェローシップ令和3年度修了者へ、修了式としてメッセージを配信

3月31日（木）、北海道大学DX博士人材フェローシップ令和3年度修了者へ修了メッセージを配信しました。

北海道大学DX博士人材フェローシップ制度は、選抜された優秀な博士課程学生に対し、生活費相当額及び研究費を支給し、さらにキャリア開発・育成コンテンツの提供を行うなど、博士課程の学生が研究に専念できる環境を提供し、研究力の向上を図る支援を行うものです。事業初年度である令和3年度は467名の採択を決定し、うち129名が、令和3年3月末において、大学

院修了や採択期間修了等で本フェローシップを修了しました。修了式はオンデマンドメッセージ方式で実施し、同日12時に、本フェローシップ事業統括の石森浩一郎理学研究院教授のメッセージを掲載しました。

石森事業統括は修了生に向けて、本フェローシップを通じて、本学の博士課程の皆がソサエティ5.0の中でいきいきと活躍する世界を夢めていること、大学と社会は似ているようで異なること、日本の社会がDXにどう向き合っているかを、フェローシップを通

じて伝えていき、それをわかって専門力を活かして活躍してほしい、と激励のメッセージを伝えました。なお、修了者には後日オープンバッジが授与される予定です。

当日のメッセージ動画については、下記ポータルサイトから視聴可能です。

引き続き令和3年度採択生（採択継続者）や令和4年度採択生の取組について発信していきますので、ぜひポータルサイトにてご確認ください。

（学務部学務企画課）

日時：2022年3月31日（木）12：00配信開始

出演者：石森浩一郎事業統括

ポータルサイト掲載ページ

<https://sites.google.com/eis.hokudai.ac.jp/dxphd-fellow/informationevent/event-2021/2021-other>



石森事業統括から修了生へのメッセージ

令和3年度現代日本学プログラム課程学士学位記授与式を開催

外国人留学生を対象とした4年間の学士課程プログラムである現代日本学プログラム課程の第4期生12名が、令和4年3月24日（木）に卒業の日を迎えました。卒業生は、学生交流ステーションにおいて挙行された現代日本学プログラム課程学士学位記授与式に出席しました。

現代日本学プログラム課程学士学位記授与式では、山口淳二理事・副学長（現代日本学プログラム課程長）、高橋 彩総長補佐（現代日本学プログラム副課程長）をはじめ、同課程担当教職員が参列する中、山口理事・副学長から卒業生一人一人へ学位記が授与されました。また、現代日本学プログラム課程最優秀学生賞及び現代日本学プログラム課程特別賞の表彰が併せて行われました。

引き続き、山口理事・副学長から卒業生へ祝辞が贈られ、母国を離れ異国の地での予備課程を含む4.5年間の長く険しい留学生生活を自らの糧にできたこと、またコロナ禍におけるグローバルな変容にも柔軟に対応し、それを乗り越えてきたことに対する労いの言葉に、卒業生は感銘を受けていました。

卒業生の多くは、卒業後に国内外の企業への就職や北大を初めとする国内の国立大学への進学を予定しており、日本の良きパートナーとして日本と世界の架け橋の一端を担ってゆくことが期待されます。

（学務部教育推進課）



山口理事・副学長と現プロ卒業生との記念写真

令和3年度新渡戸カレッジ修了式（学部教育コース）を挙行

令和3年度新渡戸カレッジ修了式（学部教育コース）を3月24日（木）に高等教育推進機構にて挙行了しました。

修了式には修了生42名のうちの19名が出席し、寶金清博校長（総長）、山口淳二校長代理（理事・副学長）、弐副校長（副学長）、新渡戸カレッジ関係教職員から祝福を受けました。

式ではまず初めに修了生を代表し

て、文学部人文科学科卒業の寺本えりかさんに寶金校長から修了証書が授与されました。

続いて、寶金校長から挨拶があり、「皆さんは所属学部と新渡戸カレッジ両方のカリキュラムを修了しました。各自がこの経験をこれからの人生に生かし、グローバルリーダーを目指して活躍してください」と期待の言葉が贈られました。

修了生を代表して、理学部地球惑星科学科卒業の平田 憲さんが、新渡戸カレッジで学んだ経験や今後の抱負などについて、挨拶を行いました。最後にフェローを代表して、井上修平フェローと志済聡子フェローからのビデオメッセージを紹介し、修了生に向けて、激励の言葉が贈られました。

（学務部教育推進課）



修了証書の授与



挨拶する寶金校長



出席者全員での記念撮影

新渡戸カレッジ修了式（大学院教育コース）を挙行

令和3年度新渡戸カレッジ修了式（大学院教育コース）を3月22日（火）に高等教育推進機構にて執り行いました。

基礎プログラムから、留学生9名を含む15名、オナーズプログラムから、留学生6名を含む16名が修了しました。はじめに、弐和順副校長から修了生代表の2名に修了証書が授与されました。また、オナーズプログラム修了生にはアソシエイト（大学院）の称号を授与するとともに、特に優秀と認められた2名に対し、優秀賞を授与し

ました。

続いて、弐副校長から挨拶が行われ、「グローバル化の進む社会で逞しく生き抜き、そして社会に貢献するためには、これまでの時代よりも一層多くの能力が求められる」ことに触れ、基礎プログラム修了生に対しては、「オナーズプログラム入校の上、修得した知識やスキルの応用と発展をめざしてください」との激励の言葉が贈られ、またオナーズプログラム修了生に対しては「高度な専門性とそれらを「活かす力」を存分に発揮して、グロ

ーバル化社会において自らの道を切り拓くと共に、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材となることを心より祈念いたします」との期待の言葉が贈られました。

修了生代表の挨拶として、オナーズプログラム代表のラオ チュンホンさんが、新渡戸カレッジで学んだ経験や今後の抱負などについて挨拶を行い、修了式は終了となりました。

（学務部教育推進課）

優秀賞受賞者

ラオ チュンホン（工学院）

ラジャゴバル ランジャンニ（理学院）

修了証書・優秀賞及び記念品の授与



ウルシーネ ブラガ シルバ フェルナンドさん



ラジャゴバル ランジャンニさん

修了生代表による挨拶



ラオ チュンホンさん

令和3年度北海道大学大塚賞受賞者の決定

この度、令和3年度北海道大学大塚賞受賞者10名を決定しました。

大塚賞は、大学院博士課程を当該年度内に修了し、研究者を目指す優秀な女子学生に授与される奨励金制度です。「大塚賞」という名称は、本学名誉教授の大塚榮子（おおつかえいこ）先生の名に因んでいます。

今回は令和3年度内の博士課程修了

予定者8名及び既修了者2名、計10名が受賞者として選ばれました。今年度の授与式は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止しましたが、受賞者には、賞状と奨励金が贈呈されました。

（学務部学生支援課）

受賞者

文学院	横 山 実 紀
情報科学研究科	キム ゴ ウン
情報科学院	ヨウ キ
理学院	八 城 愛 美
生命科学院	澤 井 恵
生命科学院	眞 木 美 帆
保健科学院	ラヘル メスフィン ケテマ
工学院	シベンディララージャー クリシュニヤー
総合化学院	杉 山 佳奈美
医学院	リントン ナター マリー

令和3年度北海道大学クラーク賞受賞者の決定

この度、令和3年度北海道大学クラーク賞受賞者13名を決定しました。

北海道大学クラーク賞は、平成27年度末で解散した公益財団法人北海道大学クラーク記念財団が、特に優秀な学業成績を修め、かつ、人格に優れた本学学部卒業予定者を対象に実施していたクラーク賞を本学が継承して、平成28年度から北海道大学クラーク賞として制定した新しい賞です。

北海道大学クラーク賞は、本年、北

海道大学を卒業される学部学生の中から、所属の学部において、最も優秀な学生であると推薦された1名を表彰するものです。

今年度の授与式は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止しましたが、受賞者には、所属学部等において賞状盾が手交されるとともに、奨励金が贈呈されました。

（学務部学生支援課）

受賞者

文学部	寺 本 えりか
教育学部	小 林 慧
法学部	牧 真 由
経済学部	龍 嶋 史
理学部	中 西 尋 昭
工学部	地 引 琢 人
農学部	堀 越 瑞 貴
獣医学部	鈴 木 玲 海
水産学部	小 川 日咲乃
医学部医学科	野 田 暉 翔
医学部保健学科	堀 間 雄 登
歯学部	上 田 夏 野
薬学部	三 浦 春 香

令和3年度北海道大学鈴木章記念賞—自然科学実験— 被表彰者の決定

この度、令和3年度北海道大学鈴木章記念賞—自然科学実験—の第2学期被表彰者3名を決定し、第1学期とあわせて今年度7名の受賞が決定しました。

本表彰制度は、鈴木 章名誉教授のノーベル化学賞受賞を記念して平成23年に創設されたもので、今回を含め75名の学生に授与されています。賞の内容は、第1年次学生が履修する全学教

育科目「自然科学実験」において、特に優秀な成績を修め、かつ本学の目指す全人教育の理念にふさわしい学生を表彰するものです。

今年度の授与式は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止しましたが、被表彰者には、賞状と記念品が贈呈されました。

（学務部学生支援課）

被表彰者

【令和3年度第1学期被表彰者】

21組	長谷川 斐 月
29組	兼 田 大 生
29組	酒 井 泰 人
31組	京 野 航 大

【令和3年度第2学期被表彰者】

48組	秋 元 優 花
50組	杉 山 萌 乃
51組	上 井 のり子

令和3年度「北海道大学企業研究セミナー」を開催

3月1日（火）から5日（土）までの5日間、オンラインにて「北海道大学企業研究セミナー」を開催しました。

本セミナーはキャリアセンターと校友会エルクが主催する合同企業説明会であり、平成16年度から毎年開催している本学最大の就職支援イベントです。学生が主体的に企業・業界研究を行うことにより、就職活動へ向けての

礎を築くことを目的としています。

コロナ禍のため、昨年度に続いて2年連続のオンライン開催となりましたが、北大生を積極的に採用したい299社もの企業・団体がZoomミーティングにて参加し、採用担当者が30分の説明を2回行いました。

学生は1日で最大12社の説明を聞くことができ、延べ4,955名の学生が視聴しました。また、北大生限定のた

め、学生は気軽に採用担当者や本学OB・OGに質問することができ、企業・業界の理解をより深める機会になりました。

キャリアセンターでは、引き続き、各種の就職ガイダンス・セミナーや個別相談等を通して、学生の就職支援に努めて参ります。

（学務部キャリア支援課）



セミナーリーフレット表紙

サブサハラ・アフリカ地域向けに「大学院希望者向けオンライン日本留学フェア」を開催

アフリカルサカオフィスでは、2月26日（土）にサブサハラ・アフリカ地域の大学院留学希望者を対象にオンライン「日本留学フェア」を開催しました。本フェアは、同地域の優秀な学生の日本留学誘致を目的とし、文部科学省から受託した「日本留学海外拠点連携推進事業（サブサハラ・アフリカ）」の一環として、在ケニア日本国大使館、JICAケニア事務所、JETROナイロビ事務所、JSPSナイロビ研究連絡センター、国際交流基金、ケニア日本語教師会の後援を得て実施しました。フェア実施は平成24年度より受託している先行の「留学コーディネーター配置事業」時から数え20回目となります。

本フェアでは、昨年実施のサブサハラ・アフリカ地域対象オンライン日本留学フェアに続き大学院留学に焦点を絞り、本学獣医学院、環境科学院、生命科学院を含む22大学35プログラムを

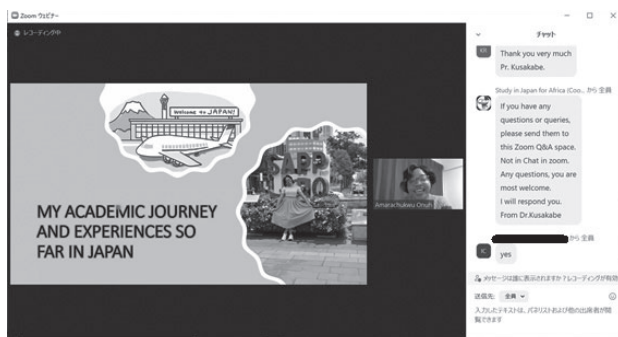
紹介しました。日本留学の全般的情報提供を行う全体説明会と、各大学とのグループ相談会で構成し、全体説明会では環境科学院に在学中の同地域出身学生が、留学に至るまでの経験談を発表しました。本フェアの運営はアフリカルサカオフィス及び同ナイロビサテライトなどが担当しました。

本フェアは、6-9時間の時差があるサブサハラ・アフリカ地域の留学希望者が参加しやすいよう日本時間の土曜日夜に開催したほか、各大学とのグループ相談会への参加率を高めるために、グループ相談会参加方法についてその場で問い合わせ可能なインフォメーションデスクを設置しました。広報活動として、テレビ、新聞、ラジオ等のマスメディア及び本事業のSNSやメーリングリストの活用のほか、後援機関や出展大学、対象地域の在外公館や大学の協力を得たことに加え、ナイロ

ビサテライトが立地するケニアの主だった国立大学（ナイロビ大学、ケニヤッタ大学、ジョモケニヤッタ農工大学）で対面でのプレイベントを開催し、5名のケニア出身の帰国留学生と約300名の学生との交流を成功させました。結果、同地域49カ国中38カ国から407人の参加がありました。

本フェアでは、昨年に引き続き同地域すべてを対象にしてプログラム単位で留学希望者のニーズにあわせた情報提供を目指したほか、現地の大学との協力関係を基盤にオンサイトでのイベントを併催し、オンラインのイベントを盛り立てる試みに挑戦しました。今後同地域から本学及び日本の大学への留学生増加や交流の更なる促進につなげていきます。

（国際部国際連携課）



環境科学院在学学生の発表の様子



ケニヤッタ大学でのプレイベントの様子

フィリピン宇宙庁（フィリピン共和国）との連携協定を締結

本学は、3月4日（金）に、フィリピン共和国の宇宙機関であるフィリピン宇宙庁（PhilSA : Philippine Space Agency）と連携協定を締結しました。

本学は、フィリピン共和国と共同で、同国初の人工衛星である第1号衛星「DIWATA-1」、その後、第2号衛星「DIWATA-2」を開発、運用した実績が、国際貢献上の成果として高く評価されています（内閣府宇宙政策委員会による第4回開発利用大賞において、宇宙航空研究開発機構理事長賞を受賞）。

これらの衛星に搭載された観測機器の開発にあたっては、理学研究院の高橋幸弘教授（創成研究機構・宇宙ミッションセンター長）のもと、理学研究院の光学機器開発経験と工学研究院の熱構造設計技術の融合が大きな役目を果たしています。

搭載された世界最高性能のスペクトル撮像装置を用いた観測手法の確立

や、台風など災害をもたらす気象現象の監視、衛星搭載観測機器の技術開発など、2機の衛星計画を通じた同国の宇宙開発に対する本学の貢献が契機となり、2019年8月にフィリピン宇宙庁が設置されました。

この包括的な連携協定は、今後、本学と同庁が、宇宙人材の育成を含む宇宙開発利用及び科学技術分野全般における更なる協力の強化と発展を推し進めるため、理学研究院及び工学研究院が中心となり締結されました。これは、フィリピン宇宙庁が海外の大学と締結した初めての連携協定となります。

また、上記2機の衛星計画に加え、本学では、フィリピン共和国からの受託研究の実施、留学生の受入れ、同国第3号衛星の開発への協力など、継続して宇宙開発利用分野での協力関係を築いています。得られた衛星データの利用においては、農業分野、気象学分

野を中心に、解析手法の開発や検証のための地上観測を、フィリピン人留学生が、本学学部生・大学院生及び教員と共同で行ってきました。その結果、同国が直面するバナナの伝染病について、その被害地域の宇宙からの同定や、台風を含む雲の詳細な3D撮像に、世界で初めて成功するなど、顕著な学術的成果をあげています。

今後は、本協定にもとづき、衛星バス（衛星の主構造）の開発や、宇宙環境を利用した地球観測と高度なデータ解析、深宇宙探査、宇宙実験装置を含む科学計測機器の開発、推進システムの開発などの分野においても、研究開発、研究者交流、シンポジウムやワークショップ等の開催を共同で進めていく予定です。

（国際部国際連携課）



フィリピン宇宙庁

第11回 定例記者会見を開催

3月17日（木）、本学の特色ある教育研究活動や運営状況等を社会に向けてわかりやすく発信することを目的とした「定例記者会見」をオンライン形式で開催しました。吉見 宏理事・副学長（広報室長）の進行のもと、ロバ

スト農林水産工学国際連携研究教育拠点長で工学研究院の石井一英教授、工学研究院の長谷川靖哉教授、創成研究機構化学反応創成研究拠点（ICReDD）の庄司 淳特任助教が発表し、北海道教育庁記者クラブ加盟社等から6名の

参加がありました。発表内容は以下の通りです。

（社会共創部広報課）

発表事項（発表者）

- ・北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点
北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点長・工学研究院 教授 石井 一英
- ・植物育成を促進する光テクノロジー 波長変換フィルム 工学研究院 教授 長谷川 靖哉
創成研究機構化学反応創成研究拠点（ICReDD）特任助教 庄司 淳



定例記者会見配信会場



発表を行う長谷川教授（写真中央）



当日の発表者と吉見理事・副学長
（左から吉見理事・副学長、石井教授、長谷川教授、庄司特任助教）



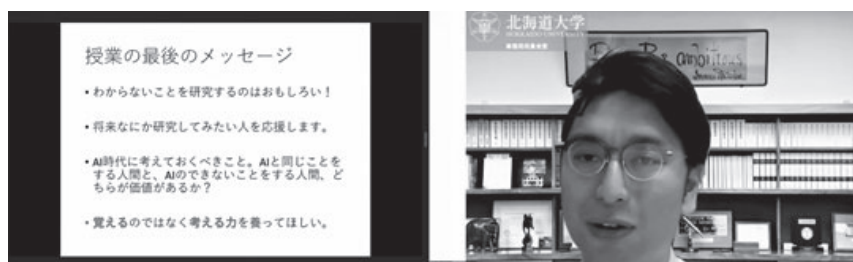
Zoomを用いた発表の様子

「国民との科学・技術対話」支援事業 アカデミックファンタジスタ 札幌龍谷学園高校、小樽潮陵高校、札幌東高校、札幌北高校へ向けて 5名の研究者が講義を実施

2月4日（金）に札幌龍谷学園高等学校、2月9日（水）に小樽潮陵高等学校、2月10日（木）に北海道札幌東高等学校、2月14日（木）に北海道札幌北高等学校に向けて、計5名の研究者がオンライン講義を実施しました。

「医者はAIに勝てるのか？」 医学研究院 平田健司 准教授

ブレイクアウトルームやチャットを活用して、生徒達と双方向にやり取りしながら、AIの学習の仕組みについて解説しました。また、AIを活用した画像診断技術について紹介しました。



「AI時代に向けて考える力を養ってほしい」と語る平田准教授

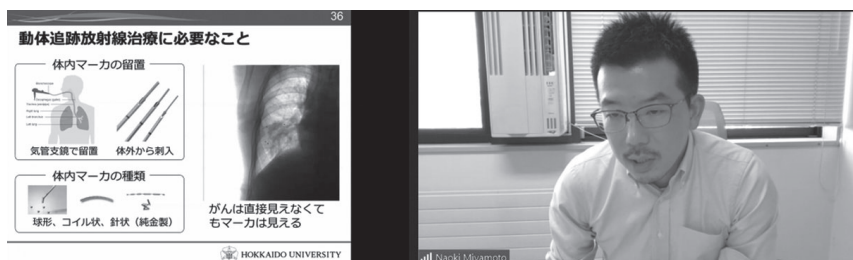
日 時：2022年2月4日（金）13：05－14：45

対 象：札幌龍谷学園高等学校

参加生徒：1，2年生 27名（オンラインにて実施）

「動くがんを狙い撃つ放射線治療技術」 工学研究院 宮本直樹 准教授

工学の立場から、がんの放射線治療技術の研究開発を行っている、医学物理士でもある宮本准教授。研究内容だけではなく、大学進学や、研究者の仕事についても分かりやすく紹介しました。



動体追跡放射線治療技術について解説する宮本准教授

日 時：2022年2月4日（金）13：05－14：45

対 象：札幌龍谷学園高等学校

参加生徒：1，2年生 28名（オンラインにて実施）

「新薬開発で動物をがん・感染症から救う」 獣医学研究院 今内 寛 准教授

獣医学部の概要や、多岐にわたる獣医師の仕事について紹介した後、現在、臨床研究段階にあるペットや家畜を対象とした免疫チェックポイント阻害薬の研究開発について解説しました。



動物の免疫チェックポイント阻害薬について解説する今内准教授

日 時：2022年2月4日（金）13：05－14：45

対 象：札幌龍谷学園高等学校

参加生徒：1，2年生 23名（オンラインにて実施）

日 時：2022年2月10日（木）16：00－17：00

対 象：北海道札幌東高等学校

参加生徒：1，2年生 24名（オンラインにて実施）

「体に優しい高精度陽子線治療をもっと身近に」 医学研究院 橋本孝之 准教授

自身の放射線科医としての歩みとともに、がんの放射線治療の総論について解説しました。また、本学が世界に先駆けて開発した「動体追跡陽子線治療装置」の原理について紹介しました。



生徒からの質問に答える橋本准教授

日時：2022年2月9日（水）15：45－17：00

対象：北海道小樽潮陵高等学校

参加生徒：2年生 16名（オンラインにて実施）

「顕微鏡でみるミクロな水中の世界」 低温科学研究所 木村勇気 准教授

低温のナノ粒子が示す物性や新規現象を明らかにするため、実験的研究を推進している木村准教授。講義では、高校に冷凍庫などを貸出し、生徒達に過冷却状態の水が凍りはじめる現象を観察してもらいました。



過冷却水を用いて実験する生徒たちと木村准教授

日時：2022年2月14日（月）16：00－17：30

対象：北海道札幌北高等学校

参加生徒：1，2年生 14名（オンラインにて実施）

アカデミックファンタジスタとは？

本学の第一線の研究者が、出張講義やオンライン講義などを通じて高校生に研究を伝える「アカデミックファンタジスタ（Academic Fantasista）」。

2021年度はコロナ対策を十分に行って、札幌近郊の高校等を対象に17名の教員が講義を実施しました。

当事業は、内閣府が推進する「国民との科学・技術対話」の一環として、北海道新聞社の協力のもと、平成24年度より実施しています。

研究広報特設サイト「リサーチタイムズ」やFacebookでも講義レポート等を随時更新中です。こちらもぜひご

覧ください。

リサーチタイムズ

<https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/>

Facebook @Hokkaido.univ.taiwa

（社会共創部広報課）

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動をする事としています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報
基金累計額（2月28日現在）

32,713件 5,762,206,303円

2月のご寄附状況

法人等14社、個人157名の方々から25,674,112円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、銘板の掲示について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

一般社団法人 芦別市医師会、遠軽医師会、加藤直子皮膚科スキンクリニック、医療法人社団宏仁会北郷皮膚科医院、
医療法人社団 小林皮膚科クリニック、医療法人寧和会、Far East Eating株式会社、医療法人社団北萌会、三井不動産株式会社

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	青木 俊介	浅井 建基	阿部島滋樹	阿部 雅史	雨宮 紀人	在田 郁子	石井 哲夫
石田 明子	猪股 路子	井原 博	入澤 秀次	岩田 敏裕	上野 貴希	梅本 由佳	縁記 和也
遠藤 公憲	大沢 正人	大原 正範	奥田 英信	小田原一史	小野 汐理	小原 大和	金川 眞行
兼古 学	亀倉 更人	亀田 弘	亀山 明	川嶋 利瑞	河本 充司	菅野 彰一	喜多 司郎
衣川 暢子	木村 祐介	草野 周	工藤 俊哉	久保田祐作	藏田 伸雄	倉元 祥伍	國分 純
後藤 恒生	小林 賢人	齊藤 晋	齋藤 貴子	齋藤 久	齋藤 悠城	坂本 大介	佐藤 英嗣
三升畑元基	志済 聡子	嶋田 幸雄	白鳥 貴久	菅原 英世	菅原 新也	菅原 弘士	杉江 和男
鈴木 貴之	瀬名波栄潤	高木 章好	高橋 彩	高橋 英之	高橋 均	竹内 学	竹田 光介
土家 琢磨	土屋 裕	出倉 嗣康	手代木孝仁	寺澤 睦	天元 志保	戸田 純子	戸田 智弘
飛澤由紀子	豊田 威信	中川 直	長島 健一	中塚 英俊	中西 孝	永原 拓巳	西田 実弘
西村 洋二	野村 晃子	花田 秀一	浜坂 幸吉	原本 寛明	檜垣 直幸	檜澤 伸之	福士 幸治
福永 悟郎	藤澤 俊明	藤澤 裕子	船津 保浩	戸来 真希	北條 敬之	細野 雄太	前田 博
前田 陽子	政氏 伸夫	町田 貴裕	松田 健一	松原 謙一	三田村好矩	宮田 信幸	村上 泰一
村上 幸夫	村瀬徳啓充	村武 直樹	矢嶋 剛	安陵 智代	山下 憲昭	山脇 啓輔	余湖 兼右
横田 篤	横山 考	吉木 咲枝	吉田 広志	吉田 裕子	Lee Abby	和田 敬仁	渡辺明日香

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（個人）

高橋 英之、出倉 嗣康、永原 拓巳、村武 直樹、山脇 啓輔、余湖 兼右

（法人）

医療法人社団 小林皮膚科クリニック、三井不動産株式会社

ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスしてください。
<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書（兼・給与口座からの引落依頼書）」をダウンロードし、ご記入の上、卒業生・基金室基金事務担当に提出してください。

②郵便局または銀行への振り込み

卒業生・基金室基金事務担当にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、卒業生・基金室基金事務担当にご持参ください。

申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書（教職員現金用）」をダウンロードしてご記入いただくか、卒業生・基金室基金事務担当にもご用意していますので、お越しただいてからご記入いただくことも可能です。

④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 卒業生・基金室基金事務担当（事務局・学内電話 2017）

（社会共創部広報課）

北大5附置研究所・化学反応創成研究拠点 (WPI-ICReDD) 合同シンポジウムを開催

化学反応創成研究拠点 (ICReDD／アイクレッド) では、昨年4月の工学研究院・情報科学研究院との合同シンポジウム、及び昨年10月の医学研究院との合同シンポジウムに続き、本学の5つの附置研究所 (電子科学研究所、触媒科学研究所、低温科学研究所、遺伝子病制御研究所、人獣共通感染症国際共同研究所) との合同シンポジウムを3月7日 (月) にオンライン形式により開催しました。本シンポジウムは、ICReDDと5つの附置研究所の最新の研究動向を介して、研究者間の交流を深め、新たな共同研究や連携の機会とすることを目的としています。

シンポジウムは、居城邦治電子科学研究所長の開会挨拶に続き、4つのセッションにICReDDから8名、5附置研究所から各1名ずつ、計13名の講演

者が登壇し、多分野に及ぶ最先端の研究発表を行いました。それぞれの講演では、総勢168名の様々な分野の参加者からの質疑応答を通じて活発な議論が行われ、今後の分野を超えた融合的研究への可能性が期待される良い機会となりました。最後に、前田 理 ICReDD拠点長から閉会挨拶が行われ、シンポジウムは盛会裏に終了しました。

ICReDDでは、様々な分野の研究者との融合研究を展開するため、今後もこのような形で各部局等とのシンポジウムを開催していく予定です。

(電子科学研究所・触媒科学研究所・低温科学研究所・遺伝子病制御研究所・人獣共通感染症国際共同研究所・化学反応創成研究拠点 (ICReDD))



シンポジウム参加者の様子

講演一覧

セッション1

1. 前田 理 教授 (ICReDD)

“Artificial force induced reaction method: A computational approach for exploring chemical reactions based on quantum chemical calculations”

2. 鳥屋尾 隆 助教 (触媒科学研究所) “Machine learning for heterogeneous catalyst design and discovery”

3. ロナルド・ラゾ・レイス 特任助教 (ICReDD)

“Modularly designed supramolecular catalytic assembly for the strategic enantioselective borylation of remote C-H bonds”

セッション2

4. 武次 徹也 教授 (ICReDD)

“Novel quantum chemical approach to chemical reactions: reduced-dimensionality reaction space and natural reaction orbital”

5. 渡部 直樹 教授 (低温科学研究所) “Negative charge delivery in ice at 10 K: the role of surface OH radicals”

6. ヴァスデヴァン・ピライ・ビジュ 教授 (電子科学研究所)

“Transient charging and charge carrier trapping in semiconductor nanocrystals”

セッション3

7. 小松崎 民樹 教授 (ICReDD) “Acceleration of designing chemical reactions by contextual multi-armed bandit algorithm”

8. 井手 雄紀 特任助教 (ICReDD)

“Approaches to construction of chemical reaction image diagnosis system using machine learning”

9. フ・シェン 特任助教 (ICReDD) “Data representations for deep learning and chemistry-related applications”

セッション4

10. 伊藤 肇 教授 (ICReDD) “Mechanochemical organic synthesis: A revolution platform”

11. 茂木 文夫 教授 (遺伝子病制御研究所) “Imaging the mechano-chemical feedbacks in biological patterning”

12. 五十嵐 学 准教授 (人獣共通感染症国際共同研究所) “Structural bioinformatics studies of viral proteins”

13. 山本 哲也 特任准教授 (ICReDD)

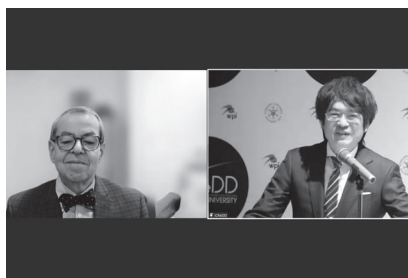
“Physics of gene regulation – Looking at genome from the viewpoint of soft matter physics and chemical reaction researches”

鈴木章賞授賞式及び化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD） 第4回国際シンポジウムを開催

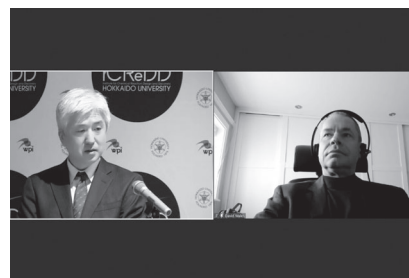
化学反応創成研究拠点（ICReDD／アイクレッド）では、3月12日（土）～3月13日（日）の2日間の日程で、“Toward Interdisciplinary Research Guided by Theory and Calculation”（理論と計算に先導される融合研究を目指して）をテーマに、第4回国際シンポジウムをオンライン形式で開催しました。本シンポジウムは当初、同日程で米国デューク大学での開催を検討していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みオンライン開催へと変更されました。

また、本シンポジウムに併せ、「鈴木章賞」の初代授賞式を、初日の3月12日（土）にフロンティア応用科学研究棟の鈴木章ホールと受賞者2名をオンラインでつなぎ、ホールからの授賞式の様子を配信する形で執り行いました。

（創成研究機構化学反応創成研究拠点（ICReDD））



Buchwald教授（左）と澤村教授
（鈴木章賞組織委員長）



Wales教授（右）と武次教授
（鈴木章賞副組織委員長）



鈴木章賞組織委員メンバー（前列）と各賞選考委員
（スクリーン下段）、受賞者2名（スクリーン上段）

3月12日（土） 鈴木章賞授与式

鈴木章賞は、本学ユニバーシティプロフェッサーである鈴木 章名誉教授の卒寿を記念するとともに、2010年ノーベル化学賞受賞の功績を称え、2021年に鈴木章賞組織委員会によって創設され、広義の化学反応の発見に関する研究への顕著な貢献を表彰し、科学技術の発展に寄与することを目的としています。

鈴木章賞には「アキラ・スズキ・アワード」と「アイクレッド・アワー

ド」の2つの賞があり、アキラ・スズキ・アワードは、実験化学分野の研究者を対象とし、アイクレッド・アワードは、計算（理論）化学・情報科学分野の研究者を対象として、化学反応開発に顕著な功績を収めた研究者にそれぞれ授与されます。

初代となる2021年は、アキラ・スズキ・アワードを、米国マサチューセッツ工科大学のStephen L. Buchwald教授が、アイクレッド・アワードを、英

国ケンブリッジ大学のDavid J. Wales教授がそれぞれ受賞しました。授賞式では、鈴木名誉教授からビデオメッセージによる祝辞が述べられた後、2名の受賞者による受賞講演が併せて行われました。

なお、鈴木章賞授賞式・受賞者講演の録画はシンポジウムウェブサイトより一般公開されています。

鈴木章賞授賞式・受賞者講演：

<https://icredd-symp.com/program/>

3月12日（土）～3月13日（日） 第4回ICReDD国際シンポジウム

3月12日（土）に行われた第一セッションでは主に計算化学、情報科学分野を中心とした講演が行われ、米国テキサス大学オースティン校のRon Elber教授、ジョーンズホプキンス大学のRigoberto Hernandez教授、ICReDD主任研究者の小松崎民樹教授、同主任研究者の武次徹也教授による講演が行われました。

3月13日（日）に行われた第二セッションでは、ICReDD主任研究者であり、2021年ノーベル化学賞受賞者のBenjamin List特任教授（ドイツマックス・プランク石炭研究所教授）、ICReDD主任研究者の伊藤 肇教授による実験化学分野の講演が行われまし

た。

続く第三セッションでは、米国ユタ大学のMatthew S. Sigman教授、ICReDD主任研究者の澤村正也教授、ICReDD拠点長である前田 理教授による計算化学、実験化学分野の講演が行われました。

クロージングセッションでは、前田ICReDD拠点長より、新たな化学反応開発における異分野融合による国際共同研究の必要性について、また、シンポジウム講演者と参加者への感謝と挨拶が述べられ、活況のうちに閉会となりました。今回の国際シンポジウムは、オンライン開催となりましたが、参加登録は550名、ライブでの参加者

（実人数）は255名で、時差の都合でライブに参加できない方のために、各セッションで行われた講演については、参加登録者ページ内にて後日配信を行いました。加えて、シンポジウムウェブサイト内では期間中、総勢27名によるポスター発表も行ったこともあり、日本のみならず世界各地から強い関心が寄せられました。

ICReDDでは今後もこのような国際シンポジウムを毎年開催し、ICReDDにおける研究を世界へ発信するとともに、様々な分野の研究者との融合研究を展開していきます。



List特任教授の講演の様子



質疑応答（Sigman教授の講演）



前田拠点長からの閉会挨拶

国際連携研究教育局（GI-CoRE）バイオサーフィス創薬グローバルステーション（GSD）が「第2回GSD国際シンポジウム・第27回ファーマサイエンスフォーラム・創薬センター合同シンポジウム」を開催

3月17日（木）に第2回GI-CoREバイオサーフィス創薬グローバルステーション（GSD）国際シンポジウム・第27回ファーマサイエンスフォーラム・創薬センター合同シンポジウムをオンラインで開催しました。

午前は、創薬化学分野において顕著な業績のある、GSD教員のProf. Courtney Aldrich（ミネソタ大学、アメリカ）の基調講演（表題：Design of antibiotics to overcome resistance in mycobacteria）、触媒化学研究につ

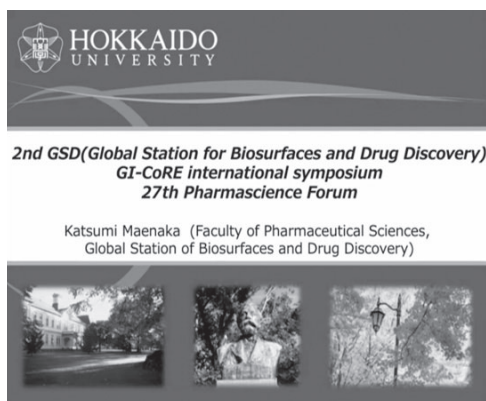
いては招へい教員のProf. Luqing Lin（大連理工大学、中国）の講演（表題：Visible-light promoted carbon-heteroatom bond formation）があり、第一線で活躍中の研究者から直接、最新の知見をお話いただき、創薬へ向けた俯瞰的なストラテジーを知る貴重な機会となりました。さらに、本学のGSD若手教員3名の講演も行われました。

また、午後からは、新たな試みとして、4名の学生による英語での研究発

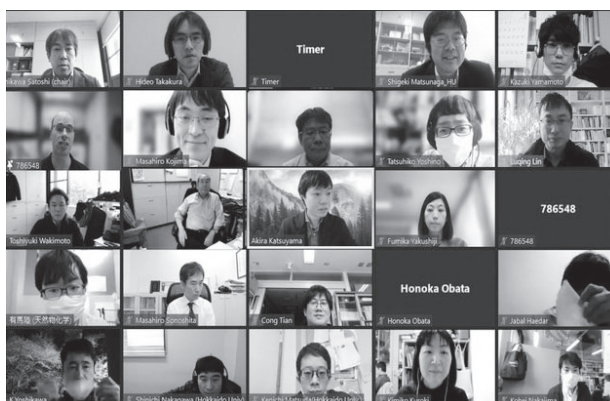
表が行われ、GSD海外教員からの質疑もあり、貴重な交流の機会となりました。

午前、午後ともに、白熱した質疑応答が英語で行われ、発表者だけではなく、参加者もグローバルな意識を持てる有意義な会となりました。参加者は、教職員44名、学生95名となり、盛況なシンポジウムとなりました。

（国際連携研究教育局）



オンラインシンポジウムの様子



参加者の様子

Hokkaido University - The University of Melbourne Virtual Conference on Healthy Ageing (北海道大学・メルボルン大学ヘルシーエイジングに関するバーチャルコンファレンス)を開催

3月8日(火)に「北海道大学・メルボルン大学ヘルシーエイジングに関するバーチャルコンファレンス」を開催しました。本イベントは、令和3年10月に行われたメルボルン大学研究・国際研究担当執行部とのダイアログに基づき実施したもので、両校の更なる研究連携強化のためのキックオフイベントとして位置付けられており、横田 篤理事・副学長(国際担当)の開催趣旨と背景の説明の後、増田隆夫理事・副学長(研究担当)、メルボルン大学ジェイムズ・マクラスキー研究担当DVC(理事相当)、駐日オーストラリア大使館のジャニン・ピット参事官(教育・研究)の挨拶で幕を開けました。

本イベントは、本学人獣共通感染症国際共同研究所の喜田 宏統括・ユニバーシティプロフェッサーと先方微生物学・免疫学科のロリーナ・ブラウン教授、本学電子科学研究所の雲林院宏教授、平井健二准教授と先方ARC Centre of Excellence in Exciton

Science(励起子科学におけるARCセンター・オブ・エクセレンス)のジェイムズ・ハッチソン博士の既存連携を振り返る第一部、今般のテーマであるヘルシーエイジングについての4つのパラレルセッションを行う第二部、日本学術振興会国際統括本部国際事業部の小寺孝太郎研究協力第二課長及びメルボルン大学医学・保健科学系外部資金マネージャーのウェイド・ムーア博士から日豪外部資金の可能性を、先方ジャスティン・ゾベル大学院研究&国際研究担当PVC(副理事相当)から両大学で開設したマッチングファンドの紹介を行う第三部の、三部構成で行いました。

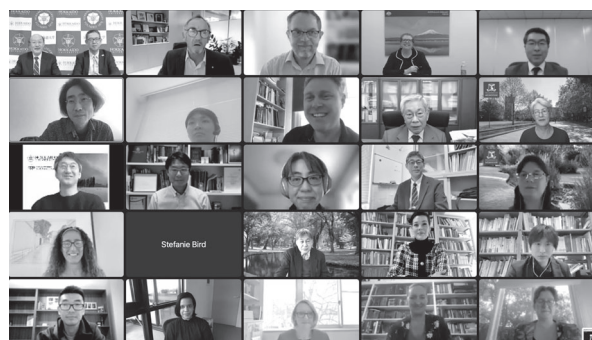
異分野融合で幅広く両大学の研究者が参加し、本学工学、保健科学、農学、文学、環境健康、医学より10名、メルボルン大学建築、医学・歯学・保健科学、病院、法学、教養学より9名の教員、若手研究者、博士学生が意見交換を行ったパラレルセッションはいずれも、話題提供のプレゼンテーショ

ン、聴衆も交えた質疑応答で盛り上がり、今後の新規連携の可能性を感じさせました。

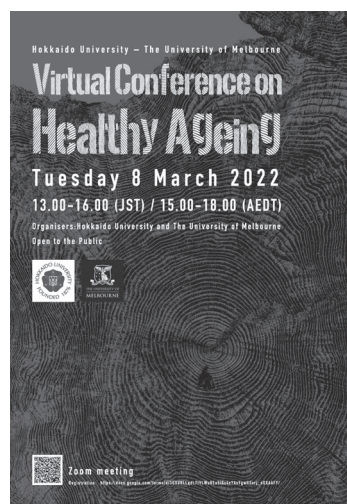
今後の外部機関を交えての連携可能性、対外的に両大学の連携を発信することに鑑み、一般公開とした本イベントでは、参加者100名程度を集めました。日本の高校、オーストラリアヴィクトリア州等の一般参加ほか、ヴィクトリア大学、ディーキン大学、ウェスタン・ヘルス(メルボルン市内公立病院の管轄機関)、北海道科学大学、名古屋大学、九州大学、フィレンツェ大学、ガジヤマダ大学、カセサート大学、香港中文大学、アジア生物工学連合といった両国及び第三国の研究教育機関からの参加者も見られました。

当イベントを契機とし、双方の共同研究ワークショップを支援するマッチングファンドへの応募が期待されます。

(国際連携機構)



参加者集合写真



フライヤー

■ 部局ニュース

経済学院がベスト・チューター賞授与式を開催

経済学院では、令和元年度より、教育・研究の国際化および留学生支援を促進することを目的として、優れたチューターに対して「ベスト・チューター賞」を授与してきました。

今年度は、最優秀賞に博士後期課程

1年生の山口久瑠実さん、優秀賞に博士後期課程1年生の鯉口庄吾さんが選出され、令和4年3月24日（木）に授与式が行われました。

授与式後には、経済学研究院長や国際交流委員を務める教員を交えて、留

学生支援のあり方について意見交換が行われ、次年度に向けての留意点や改善点などが検討されました。

（経済学院）



受賞者との記念撮影



授与式後の意見交換会の様子

2021年度北海道大学物質科学フロンティアを開拓する Ambitiousリーダー育成プログラム修了式を開催

3月10日（木）、北海道大学物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム（以下、ALP）12名の修了式が、理学部大会議室にて学外への同時配信も含めて執り行われました。

ALPとは物質科学を中心に分野横断的に学び、社会人として高い能力を養い、学位取得後には学術・研究機関だけでなく民間企業など社会の広い分野で国際的に活躍する人材を育成するための博士課程大学院教育プログラム

です。2020年3月に文部科学省の補助金事業としての補助期間は終了しましたが、北大の事業として継続して活動しています。

修了証書授与のあと、山口淳二理事・副学長（プログラム責任者）と石森浩一郎教授（プログラムコーディネーター・副学長）より祝辞がありました。

会場となったのは90年以上の歴史がある理学部本館大会議室です。第1期～4期生として修了した12名は、約5

年間のプログラムを振り返り、身につけた能力やスキル、異分野の仲間との絆の大切さについて、一人ずつ答辞を述べました。堂々とした挨拶に会場から大きな拍手が送られました。

詳細は下記のウェブマガジンをご覧ください。

Ph.Discover

<https://phdiscover.jp/phd/article/1342>

（総合化学院・理学院・工学院・
環境科学院・生命科学院）



修了式会場の様子



山口理事・副学長の祝辞



石森プログラムコーディネーターの祝辞



修了生と教員の集合写真

生命科学学院 博士後期課程科目「少人数討論型育成プログラム」 （北大帝人ブレインストーミングワークショップ）を実施

博士後期課程を対象とした大学院生命科学学院選択科目及び大学院共通授業科目として、帝人株式会社と連携して「少人数討論型育成プログラム」（北大帝人ブレインストーミングワークショップ）を実施しました。本講義は平成19年度に初めて開講され、今回で15回目を迎えました。今年度は令和3年10月4日（月）から令和4年3月4日（金）までの間に全10回のワークショップとして開講され、大学院先端生命科学研究院の石原誠一郎助教が担当し、4名の博士後期課程の学生（生命科学学院2名、工学院1名、農学院1名）が受講しました。感染症対策のために、全ワークショップをオンラインで開催しました。

本講義では産学連携によるワークショップ形式の授業を通じて、少人数でアイデアを創出する方法論を学び、新

規技術に関するアイデアを各履修者がまとめ上げ、プレゼンテーションを行うことを目標としました。また帝人株式会社から実際に研究開発に携わっているご担当者の方をお呼びし、マーケティングや企業における研究開発についてご講義いただきました。これらを通して、アイデア創出力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を目指しました。

全10回のワークショップのうち計8回でアイデアの創出とプレゼンテーションのブラッシュアップを行いました。1月21日（金）には、帝人株式会社から3名のご担当者様をお迎えしてワークショップを開催しました。受講生がアイデアについて中間発表を行って内容について議論するとともに、マーケティングについての基礎と企業で研究開発を行う上で鍵となるポイント

について、帝人株式会社における研究開発の実例を挙げてご講義いただきました。3月4日（金）には受講生に加えて帝人株式会社のご担当者様にもご参加いただき最終報告会を開催しました。受講生は各自のアイデアについて最終発表を行い、帝人株式会社のご担当者様から多くのコメント・質問をいただきました。さらに、受講生の将来や進路についてもご担当者様から多くのご助言をいただきました。

本講義を進める上でお力添えいただいた帝人株式会社のご担当者様をはじめ、ご協力いただいたすべての方々に感謝します。受講生の皆様がこの経験を活かし、産学含め、どの進路に進むとしても大いにご活躍いただけることを祈っています。

（生命科学学院・先端生命科学研究院）



最終報告会の様子

総合博物館で第14回「卒論ポスター発表会」を開催

総合博物館では独自の教育プログラム「ミュージアムマイスター認定コース」の一環として、2008年度より「卒論ポスター発表会」を開催しています。学部4年生が卒業研究をA0サイズ1枚のポスターにまとめて、さまざまな年代の市民や観光客の方々、他分野の学生や教職員にわかりやすく発表し、質問に受け答えます。北大生の研究を広く社会に伝えるだけでなく、学生のコミュニケーション能力の向上や他分野の研究への関心の喚起を図ることを目的としています。

14回目を迎えた今年度は、3月5日（土）・6日（日）に博物館1階「知の交流」ホールと「企画展示室」の2会場にて新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで開催されました。

ポスターとホームページで発表者を募集した結果、文学部・理学部・工学部・水産学部から8名が参加しました。発表者は、卒業研究を市民に発表

するために見直し、他学部の発表者や博物館担当教員と議論する中間発表会3回とリハーサルを通して、専門分野外の方々にも伝わるようにポスターの内容やデザイン、発表方法を学びました。発表会が近づくにつれて緊張気味の学生たちでしたが、当日はお子さんの目線に合わせて屈んでプレゼンをしたり、後ろの列に座った方を見やすい前の席へ誘導したりと柔軟に対応しながら、しっかり練習の成果を発揮していました。学生たちの研究に興味を持たれて、発表内容に引き込まれていく方々の姿も数多く見られました。

発表会の運営も例年通り、学生が担当しました。生命科学院・総合化学院・文学部・文学部・法学部・経済学部・理学部・農学部・水産学部から11名が参加しました。運営スタッフとして発表会の広報、プログラム作成、会場運営などをグループワークにより担当

し、また発表会当日には受付や後述する各賞の授賞式の司会を担当した他、今年度は、感染症の感染防止のため2つの会場で広く間隔を確保することを提案し、来館された方々の誘導・案内のためにきめ細やかに対応していました。最終日には、2日間の来場者の投票による「来館者賞」、市民5名と本学教職員3名から成る審査員の評価による「最優秀賞」、ミュージアムマイスター6名が選定する「ミュージアムマイスター賞」が決定された他、今年度はSDGs賞が新設されました。SDGsへの取り組みに各自の研究がいかにつながり、その道筋とビジョンを社会に描けるのかについて全審査員が審査し、その配点により決定されました。受賞者には賞状と記念品が授与されました。

（総合博物館）

発表者と発表題目：

1. 大村 颯（理学部 地球惑星科学科） 「恐竜の聴いていた音～化石から探る聴覚のひみつ～」
2. 阿部 麟太郎（文学部 人文科学科） 「日本のエコミュージアム概念の拡張・発展に関する考察～リヴェールの理念に立ち戻って～」
3. 十塚 響（工学部 環境社会工学科） 「Editorialにみる建築雑誌『VOLUME』の編集方針」
4. 東 祐大（理学部 地球惑星科学科） 「カムイサウルスは美味しいのか！？～ホネに空いた“穴”から探る生命の痕跡～」
5. 米子 拓真（水産学部 海洋資源科学科） 「環境DNA解析によって推定した分布北限域におけるアユの生活史特性」
6. 堤 裕規（理学部 地球惑星科学科） 「獣脚類恐竜アレクトロサウルスの系統学的研究～ひとりぼっちの竜の正体～」
7. 櫻井 七海（理学部 地球惑星科学科） 「京アニ事件での被害者実名報道は道徳的に正しかったのか？～ジャーナリズムの倫理、プライバシー権、ケアの倫理からの検討～」
8. 川本 一陽（理学部 地球惑星科学科） 「穂別産化石の正体は恐竜か鳥類か」

運営担当学生：

安達 寛子（生命科学院博士2年）・堀井 元章（総合化学院修士1年）・三井 和（文学部修士1年）・和田 知里（文学部修士1年）・大橋 弘典（文学部1年）・西山 貢（文学部1年）・工藤 花未（法学部2年）・寺西 ほの花（経済学部2年）・荒川 大地（理学部1年）・土屋 良（農学部2年）・佐々木 健太（水産学部2年）

受賞者：

- *最優秀賞 堤 裕規（理学部 地球惑星科学科）
- *SDGs賞（新設） 米子 拓真（水産学部 海洋資源科学科）
- *ミュージアムマイスター賞・来館者賞（2賞受賞） 東 祐大（理学部 地球惑星科学科）

審査員：敬称略

教職員審査員：内田 努（北海道大学 工学研究院 准教授）
高橋 英樹（北海道大学名誉教授 総合博物館 資料部研究員）
山内 彩加林（北海道大学 低温科学研究所 生物化学部門 冬眠代謝生理発達分野 助教）
市民審査員：浅野目 祥子（NPO法人手と手 代表理事・ミュージアムカフェぼらす・ミュージアムショップ）
中道 洋友（札幌北高校・高文連理科専門委員長）
西村 卓也（北海道新聞 論説委員会主幹）
萩 佑（北海道遺産協議会 理事）
藤田 良治（愛知淑徳大学 創造表現学部 創造表現学科メディアプロデュース専攻准教授）
マイスター審査員：太田 晶（むかわ町役場 穂別総合支所 恐竜ワールド戦略室）
江口 剛（北海道大学 水産科学院 博士課程）
遠藤 優（理学院 自然史科学専攻 修士課程）
野瀬 紹未（北海道大学 文学院 博士課程）
高田 健太郎（北海道大学 理学院 修士課程）
佐々木 悠貴（北海道大学 工学院 修士課程）

担当：小林 快次・湯浅 万紀子・市来 紗都子・渡邊 洋子（総合博物館）

発表会当日の様子や参加した学生の事後考察レポートは当館ホームページで公開しています。

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/list/18222/>



来場者に向けて説明する発表者たち



終了後の記念撮影

医学部が令和3年度最終講義・退職記念式典を挙行政

医学部では、3月17日（木）、医学部学友会館「フラテ」ホールにて、最終講義・退職記念式典を挙行政しました。昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策を取りながら行われ、フラテ「ホール」をオンサイトの会場とし、これにWeb会議システムZoomを用いたオンラインで実施しました。

最終講義終了後に引き続き行われた

退職記念式典では、畠山鎮次医学研究院長、久住一郎同窓会副会長及び教授会代表者として篠原信雄教授から挨拶がありました。続いて、長年の功績をたたえ、感謝の意を込めて、医学部医学科学友会畠山会長と医学部同窓会久住副会長から記念品が、また、学友会及び所属教室からは花束が贈呈されました。

退職者

分子生物学教室 佐邊 壽孝 教授
最終講義題目「私の運・鈍・根、そして未来へ」

腫瘍内科学教室 秋田 弘俊 教授
最終講義題目「難治がん克服への挑戦」

リハビリテーション医学教室

生駒 一憲 教授
最終講義題目「リハビリテーション医学の展開」

療養・就労両立医学教室

白土 博樹 教授
最終講義題目「未来を切り開く放射線医学をめざして」

※本行事は白土教授の勤務延長が決定する前に執り行われました。

（医学部・医学研究院）



最終講義をする佐邊教授



最終講義をする秋田教授



最終講義をする生駒教授



最終講義をする白土教授

医学研究院が「Clinical AI Human Resources Development Program 2nd アニュアルシンポジウム」を開催

医学研究院が中心に推進している文部科学省プロジェクト「Global×Localな医療課題解決を目指した最先端AI研究開発」人材育成教育拠点では、2月15日（火）に、「Clinical AI Human Resources Development Program 2nd アニュアルシンポジウム」をオンラインで開催いたしました。本シンポジウムは、東北大学を主幹に北海道大学と岡山大学が協力し運営している「Global×Localな医療課題解決を目指した最先端AI研究開発」人材育成教育拠点の連携推進を目的に、昨年度の東北大学続き今年度は北海道大学を当番校として開催されました。

総合司会の画像診断学教室の工藤與亮教授の進行により、寶金清博総長に続き、来賓として伊藤史恵・文部科学省高等教育局医学教育課長、富永悌二・東北大学副学長、豊岡伸一・岡山

大学医学部長の後、畠山鎮次・本学医学研究院長からご挨拶がありました。その後に、各大学の取組として東北大学、岡山大学、北海道大学の教育の取り組み、及び各大学の大学院生からAI研究に関する報告がありました。特別講演として本学副学長の長谷山美紀・情報科学研究院長から、『AIの社会実装を加速するデータ駆動型研究と人材育成』と題して、本学のデータ駆動型の医療課題解決AI研究と今後のビジョンについて講演が行われました。本シンポジウムを締めくくるにあたり、もう一つのAI人材育成拠点である『メディカルAI人材養成産学協働拠点』について大野欽司・名古屋大学副総長よりご紹介頂き、秋田弘俊・病院長の挨拶にて終了いたしました。

参加者数は306人と、北海道大学だけでなく東北大学及び岡山大学からも

多数のご参加を頂きました。本シンポジウムは、医療課題解決AIの人材育成を通じて北海道大学、東北大学、岡山大学の連携を深めるとともに、それぞれの大学での今後の医療課題解決AIの人材育成と研究推進を考える大変よい機会となりました。

北海道大学医療AI開発者養成プログラム(CLAP)は令和4年度も受講生を募集します。医療AIの研究、開発に興味のある大学院生や医療従事者の応募をお待ちしています。詳しくはCLAPウェブサイトをご覧ください。

CLAPウェブサイト

<https://ai.med.hokudai.ac.jp/>

（医学研究院）



アニュアルシンポジウムの様子

医学研究院医理工学グローバルセンターが第4回分子医理工学サマースクール及び第8回医学物理サマースクールを開催

医学研究院医理工学グローバルセンターは、2月28日（月）から3月4日（金）まで第4回GI-CoRE GCB分子医理工学サマースクール及び第8回GI-CoRE GCB医学物理サマースクールをオンラインにて開催しました。

医学研究院，工学研究院，保健科学研究院，歯学研究院，理学研究院，北海道大学病院，アイソトープ総合センター，獣医学研究院所属の学内講師に加え，スタンフォード大学・ケンブリッジ大学・オース大学等の世界的な講師がライブで講義を行いました。

今回は医理工学院科目及び大学院共通科目の履修登録者のほか，公募により学外からの参加者も募った結果，世界各国から100名を超える応募がありました。本センターの教員による厳正な選考の結果，タイ，フィリピン，シ

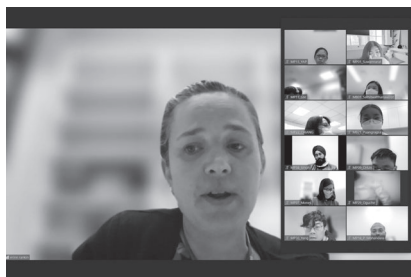
ンガポール，ナイジェリア，インド，台湾，マレーシア，インドネシア，米国，パキスタン，中国，イラン，スリランカ，ガーナ，ベトナム，日本の16ヶ国から医学物理サマースクールには28名，分子医理工学サマースクールには24名が参加しました。

第4回分子医理工学サマースクールでは，放射線生物学や分子イメージング等医理工学の基礎や理論，応用研究，実験実施方法，デモンストレーションを網羅した包括的な講義が実施されました。今回初の試みとなるMRI Virtual Tourでは，実際にMRI装置を使用しながらライブ配信で講義を行いました。その場にいるような臨場感あふれる講義は参加者に特に好評でした。また，第8回医学物理サマースクールでは医学物理を中心とした医理工

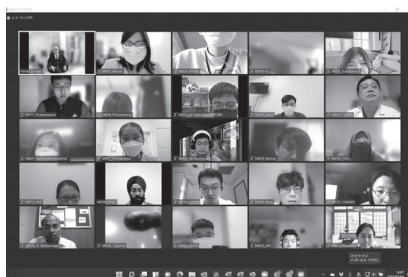
学の理論のみならず最先端技術にふれるデモンストレーションなどの多岐にわたる講義で参加者は知識を深めました。5日間にわたるプログラムのほとんどがライブで行われ，オンライン開催であってもインタラクティブな講義や参加者同士の活発なディスカッション・交流が実現しました。

サマースクール最終日に実施した受講者アンケート調査の結果，時差によるライブ参加の難しさも一部見受けられましたが，従来の現地開催に劣らず大変好評を博しました。今後も留学生の増加やグローバルな人材育成の促進につなげていきます。

（医学研究院・医理工学院）



講義中の様子



MRIツアーの様子

医学研究院医理工学グローバルセンターが国際シンポジウムを開催

医学研究院医理工学グローバルセンターは、3月22日（火）・23日（水）にスタンフォード大学放射線腫瘍学科と合同で第8回GCB国際シンポジウム（The 8th GCB Biomedical Science and Engineering Symposium）をオンラインで開催しました。日本、米国、英国、デンマーク、ドイツから世界をけん引する研究者をオンラインで繋ぎ、時差に配慮した2日間の開催となりました。

1日目は畠山鎮次医学研究院長及びスタンフォード大学のQuynh-Thu Le教授による開会の挨拶に続く、「中枢神経系放射線治療」セッションでは、医学研究院の青山英史教授、スタンフォード大学のScott G Soltys准教授、「核医学と放射線治療」セッションでは、スタンフォード大学のAndrei Iagaru教授、Lucas Vitzthum助教、Daniel Chang教授、「陽子線医学物理」

セッションでは、工学研究院の高尾聖心准教授、宮本直樹准教授、松浦妙子准教授、オーフス大学のPer Rugaard Poulsen教授が講演を行いました。2日目は、「放射線生物」セッションから始まり、ペンシルベニア大学のConstantinos Koumenis教授、医学研究院の小野寺康仁准教授、続く「画像診断」セッションでは医学研究院の工藤興亮教授、Philips GmbHシニア研究員のUlrich Katscher氏による講演が行われました。その後、オックスフォード大学のAmato Giaccia教授による「テクノロジーとバイオロジーの競争が放射線治療に与える影響」と題した特別講演を以てすべての講演が終了しました。各セッションには、それぞれディスカッションの時間が設けられ、座長・講演者に加えて多彩なディスカッサントが登壇し、活発な議論が交わされました。最後に、本センター長の

白土博樹教授から閉会の挨拶があり、本シンポジウムは盛会の内に終了しました。

また、閉会後には、今回初の試みとなるオンライン懇親会を実施しました。終始和やかな雰囲気の中でお互いの近況報告など旧交を温め、長期化するパンデミックの中でもこのような新しい形で国際交流の場を提供することができ、今後の開催にも繋がる有意義な懇親会となりました。

オンサイト開催に比べ、オンライン開催は海外からでも気軽に参加しやすいという利点から、300名を超える方々にご参加いただきました。今後も本シンポジウムの開催により世界の研究者との交流を重ね、国際共同研究を一層推進することが期待されます。

（医学研究院）



ディスカッションの様子



懇親会の様子



運営本部

令和3年度医学部保健学科卒業研究優秀賞表彰授与式を挙

この表彰は、医学部保健学科4年次に在籍する学生で、保健科学における新しい研究課題を積極的に開拓し、優

れた卒業研究を行った個人へ授与されるものです。

このたび下記の方々が表彰者と決定

され、令和4年3月24日（木）に授与式が挙

（医学部保健学科）

専攻	氏名
看護学専攻	佐々木 愛
看護学専攻	鈴木 開智
看護学専攻	古田 柚奈
看護学専攻	和高 一希
放射線技術科学専攻	金澤 聡志
放射線技術科学専攻	泉 駆
検査技術科学専攻	石田航太郎
検査技術科学専攻	竹下 花
理学療法学専攻	舘ヶ澤 翔
作業療法学専攻	畠山 紗衣

※萩野公香さんは都合により欠席



受賞者との記念撮影

令和3年度保健科学院長賞及び保健科学院修士課程研究発表賞授与式を挙

保健科学院長賞は、優れた学業成績と研究業績を挙げた本学院修了年次学生のうち、学業成績及び研究等に関し、優秀な成績かつ顕著な業績等であった学生（原則各コース1名）へ授与されるものです。

また、保健科学院修士課程研究発表賞は、修士論文又は特定課題研究報告書に関する公開発表会において、優れた発表を行った修士課程修了年次学生（若干名）へ授与されるものです。

このたび下記の方々が表彰者と決定

され、令和4年3月24日（木）に授与式が挙行されました。

（保健科学院）

令和3年度保健科学院長賞受賞者

課 程	コース名	氏 名
博士後期課程	保健科学コース	村山 迪史
博士後期課程	保健科学コース	井上 貴博
修士課程	保健科学コース	梁 崇晟



受賞者との記念撮影

令和3年度保健科学院修士課程研究発表賞受賞者

コース 科目群	氏 名
保健科学コース 生体情報科学科目群	青木 菜摘
保健科学コース リハビリテーション科学科目群	池上 遼
保健科学コース 健康科学科目群	賈 佳萍

薬学研究院が「第15回薬学研究院研究発表会」を開催

薬学研究院では、3月9日（水）にZoomによるリモート開催で、「第15回薬学研究院研究発表会」を開催しました。本発表会は、教員のプレゼンテーション能力向上及び、他分野の研究に関する理解を深めることによる共同研究の活性化を目的として、平成24年度に始まり、FD研修会を兼ねて、年2回実施しています。新型コロナウイルス感染予防のためしばらく開催を見合わせていましたが、今回2年振りの開催とな

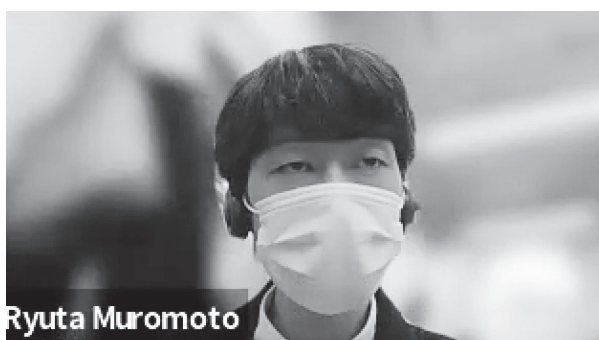
りました。

発表会は、木原章雄薬学研究院長による開会の挨拶の後、衛生化学研究室の室本竜太准教授による「IL-17による転写後遺伝子発現調節と環境化学物質による攪乱」と題する発表及び、臨床薬剤学研究室の古堅彩子助教による「母体-胎児・乳児間の物質移行に関する研究」と題する発表の2件の研究発表が行われました。

本発表会には、教員46名が参加し、

様々な分野の教員から発表者への質問があり、活発な討論が交わされました。教員の異分野への知見の拡大やプレゼンテーション能力の向上に、また共同研究の活性化に繋がる非常に良い機会であり、大変有意義な会となりました。次回は令和4年8月に開催予定です。

（薬学研究院・薬学部）



発表する室本准教授



発表する古堅助教

国際広報メディア・観光学院が留学生（研究生）オンライン説明会を実施

国際広報メディア・観光学院では、2月13日（日）に留学生向け中国説明会を実施しました。今年も昨年と同様にオンラインでの開催となり、52名の参加がありました。

河合 靖学院長の挨拶に続き、大学院の全体説明、研究生と大学院生としての学修システム、本学院独自の書類審査応募の注意点など、留学希望者にとって必要な情報の提供、また、在学生4名と修了生14名による、自らの体験をもとにした留学や学修に関するアドバイスを行いました。

Zoomのブレイクアウトルームを利用した個別相談では、広報・メディア・観光・公共ジャーナリズム・言語など分野ごとに別れての時間を設け、担当の教員が参加者からの質問に対応

しました。説明会終了後に参加者より提出されたアンケートでは、教員による親切な対応と丁寧な説明、在学生・修了生によるアドバイス、日本語・中国語併用の資料などについて評価をいただきました。

以前のような北京や上海での現地開催は叶いませんでしたが、オンライン

で開催することによって様々な地域から参加者を迎えることができました。今後は、対面とオンラインの良いところを組み合わせた説明会を開催していければと考えています。

（国際広報メディア・観光学院）



参加者集合写真

メディア・ツーリズム研究センターでワークショップ 「平和研究と観光研究の接続のありかを問い直す」を開催

メディア・コミュニケーション研究院のメディア・ツーリズム研究センターは、3月14日（月）に広島大学平和センターとの共催により、高等教育推進機構において領域横断ワークショップ「平和研究と観光研究の接続のありかを問い直す」を開催しました。

メディア・コミュニケーション研究院は平成29年12月に国際シンポジウム「平和観光研究の可能性」を開催して以来、広島大学平和センター（当時は「平和科学研究センター」）との協働により、平和研究と観光研究の接続の可能性を追求してまいりました。中でも、令和元年7月に広島大学平和センターが主催した国際シンポジウム「HIROSHIMAとピースツーリズム」および国際会議「Weaving Peace Through Heritage Tourism」においては、ピースツーリズムという新しい概念を提唱しつつ研究成果を広く世に

問いました。

今回のワークショップは、広島大学平和センターとの協働によるこのような領域横断的研究が、どのような可能性を切り開いてくれるのかについてあらためて確認する主旨で開催されました。前半部においては、4つの研究発表（ファンデルドゥース・ルリ広島大学平和センター准教授による「『再訪』が示唆する可能性～2021年学生平和意識調査と全国ピースツーリズム意識調査結果から」、西川克之メディア・コミュニケーション研究院教授による「北海道豊富温泉における訪問者と場所との関係」、川野徳幸広島大学平和センター長・教授による「「ヒロシマ」の課題と平和観光の可能性」、山田義裕メディア・コミュニケーション研究院教授による「あらためて「他者との出会い」を考える——ベシヤワール会の活動を事例に」）があり、そ

れに引き続く総合討議においては、岡本亮輔メディア・コミュニケーション研究院准教授・メディア・ツーリズム研究センター長、及び金成政メディア・コミュニケーション研究院准教授がディスカッサントとして加わり、広島での平和観光の参加者がしばしば抱く「楽しむことへの罪悪感」に折り合いを付けながら、被爆者の記憶、思い、願いを国内外で共有するための手段としての平和観光の可能性を追求していくあり方や意義について、多様な観点から意見交換がなされました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために最大限の配慮を払いつつ、20名を超える参加者を得て、対面でのリアルな関係性の感覚を伴った場における意見交換の重要性を再認識する貴重な機会となりました。

（メディア・コミュニケーション研究院）



広島大学平和センター長 川野教授の発表



メディア・コミュニケーション研究院
山田教授の発表



総合討議の様子

スラブ・ユーラシア研究センター緊急セミナー 「経済制裁とロシア：緊迫するウクライナ情勢」を開催

2022年2月24日（木）のロシアによるウクライナの侵略を受け、スラブ・ユーラシア研究センターは翌25日（金）に緊急アピールを出すとともに、（共同研究員を含む）研究スタッフの分析を次々と発信しています。

その先鞭として、3月4日（金）に、緊急セミナー「経済制裁とロシア：緊迫するウクライナ情勢」を開催しました。セミナーでは、欧米や日本が新たに課す経済制裁が今後のロシアにどのような影響を及ぼすか、緊迫するウクライナ情勢を睨みながら、突っ込んだ

やりとりが行われました。服部倫卓所長（ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所）と田畑伸一郎教授（スラブ・ユーラシア研究センター）の報告は、当時あまり語られていなかった様々な論点を網羅しており、研究コミュニティの諸分析に大きなインパクトを与えたと思われます。セミナーの様子は動画でいつでもご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=BDQZHPWCEQc&feature=youtu.be>

今回の事態に関するスラブ・ユーラシア研究センターの発信は、ホームペ

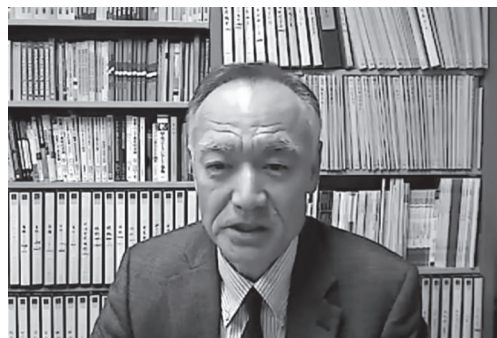
ージ上で随時更新されており、メディアを含む社会のさまざまな場所でも取り上げられています。

このたびのロシアのウクライナ侵攻により、世界が揺れ動いています。スラブ・ユーラシア研究センターは、今年4月から新しいプロジェクトとして生存戦略研究を始動させますが、そのプレセミナーも兼ねた緊急セミナーとなりました。

（スラブ・ユーラシア研究センター）



服部倫卓所長（ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所）



田畑伸一郎教授（スラブ・ユーラシア研究センター）



司会：岩下明裕教授（スラブ・ユーラシア研究センター）

環境健康科学研究教育センターが令和3年度後期「社会と健康」修了生にディプロマ授与

環境健康科学研究教育センターは、3月10日（木）に令和3年度後期「社会と健康」ディプロマ授与を行いました。今回は1名（医学院：金 紫萍）のプログラム修了生に対して、小笠原克彦環境健康科学研究教育センター長名のディプロマが授与されました。

本プログラムは、北海道大学大学院のすべての専攻・学院・研究科に在籍する大学院生に開かれたプログラムです。本プログラムでは、北海道大学大学院共通授業「社会と健康」から5領域20単位以上（うち、必修科目11単位以上）を体系的に学ぶカリキュラムを編成しており、また、大学院共通授業「社会と健康」に加えて、これまでに各学院・研究科が提供する科目、ある

いは「社会と健康」として提供されている科目以外の65科目が、ディプロマプログラムへの振替科目として認められています（令和4年3月15日現在）。「社会と健康」領域において、環境要因と健康・予防に関する知識、研究技法を学ぶ意欲がある大学院生に対して、豊かな人間性、高い倫理観及び国際的視野を備え、研究課題に必要なPublic Healthにかかわる知識を得るため科目選択の指針を与えています。本プログラムの指針に沿って科目選択し、単位が認められた学生に対して、「社会と健康」に関する知識と実践教育を受けたことを証明するディプロマを授与します。

「社会と健康」ディプロマは、平成

27年3月に第1回目の授与を行い、今回は第9回目の授与となり、累計16名の方がプログラムを修了しました。これまでに、医学院、教育学院、保健科学院、文学研究科、農学院、獣医学院、工学院所属の学生が参加しており、研究分野の垣根を越えた文理融合型の人材育成となっています。留学生の参加も増え、今後ますます多様な人材の輩出が期待されます。

令和4年度前期「社会と健康」ディプロマプログラムの登録申請は、本年6月末まで受け付けており、本年9月に前期授与を予定しています。

（環境健康科学研究教育センター）



左から小笠原センター長、修了証書を手にする金さん

脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第18期修了生に修了証書授与

3月24日（木）、本学修士・専門職学位・博士学位授与式後に、エンレイソウ第一会議室において、脳科学研究教育センターが設置する発達脳科学専攻教育プログラム修了生に対し、渡邊雅彦センター長から修了証書が授与されました。

今年度は第18期生として、修士課程6名（単 炳鋒、松田直祥：教育学院、王 シン：文学院、穴田理紗：保健科学院、加茂駿翼、木内和秀：生命科学学院）及び博士（後期）課程2名（李 遠霖：情報科学研究科、澤頭亮：医学院）が所属学院の学位取得に加えて発達脳科学専攻の定める修了要件を満たし、修了が認定されました

（李さんについては9月修了のため修了証書授与は7名）。

センターでは、脳科学に関する大学院共通授業科目の開設に加え、研究分野の垣根を越えた融合的研究指導の一環として、札幌近郊での合宿研修、脳科学シンポジウムの開催、複数部局の基幹教員による修了論文の審査などを行っています。中でも、合宿研修や修了論文の公開発表会では、できるだけ専門用語を使わず、他専攻の院生・教員に自分の研究を分かりやすく紹介し、議論することを重視しています。

発達脳科学専攻は、文理融合型の脳科学研究のバーチャル専攻として、平成15年度に発足しました。現在は、学

内6学院にわたる大学院生を対象として複雑な機能をもつ脳に関する分野融合的な教育プログラムを提供し、広い視野をもった次世代を担う人材の育成を進めています。これまでに修士課程121名及び博士（後期）課程26名、計147名の修了生を送り出しています。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で多くの講義がオンライン授業となったり、実習が取りやめになったりしましたが、制限された中で多くの履修生が脳科学の勉強や研究に励んでいます。

（脳科学研究教育センター）



渡邊センター長から修了証書の授与



今年度の修了生と基幹教員

今年も、昨年に引き続き「基礎編」

参加者のアンケート回答では「満足」の回答数が「基礎編」で80%以上、「応用編」では90%を超え、「どちらかといえば満足」を合わせると、「基礎編」「応用編」とともに100%となりました。また、その理由として「講義から自分の書いている英語論文のミスに気づくことができ、参考になった」「これから論文を書く身として非常に勉強になった」「英語論文の書

講習会開催後には、「基礎編」「応用編」それぞれの当日の講義動画を期間限定で学内希望者に配信しました。受付開始から1週間で約200名の申し込みがあり、本講習会への関心の高さが伺えました。

(附屬圖書館)

開催告知ポスター

■お知らせ

令和4年度人間ドック・特定健康診査の実施について

文部科学省共済組合北海道大学支部では、文部科学省共済組合本部の指導の下、保健事業の一環として健康管理の推進を目的に人間ドック・特定健康診査を次のとおり実施しております（任意継続組合員を含む）。

なお、受付等については専門業者へ外部委託となり、組合員が直接文部科学省共済組合ホームページから申込みしていただくこととなります。

1. 申込期間

令和5年1月10日（火）まで

2. 受診期限

令和5年1月31日（火）まで

3. 対象者

①人間ドック

令和4年4月1日現在満35歳以上となる組合員及びその被扶養配偶者、任意継続組合員本人及びその被扶養配偶者

②特定健診

令和5年3月31日までに40歳以上となる組合員の被扶養者、任意継続組合員本人及びその被扶養者

③生活習慣病予防健診

令和5年3月31日までに40歳以上となる組合員の被扶養者、任意継続組合員本人及びその被扶養者

※人間ドック、特定健診、生活習慣病予防健診は、受診期限内にいずれか1回受診できます。

※特定健診、生活習慣病予防健診は、組合員は受診できません。

（任意継続組合員は除く。）

※申込日及び受診日の両時点において、組合員資格または被扶養者資格があることをご確認ください。

4. 補助額

①人間ドック

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、

組合員（任意継続を含む） 30,000円（上限・税込）

被扶養配偶者（任意継続を含む） 25,000円（上限・税込）

※補助額を超えた料金は、自己負担となります。

※オプション検査料は、ドック本体料金と合わせ、補助額を超過した分は自己負担になります。

※受診料の自己負担額は、当日医療機関で支払います。

②特定健診

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、全額補助（自己負担なし）

③生活習慣病予防健診

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、全額補助（自己負担なし）

※オプション検査料は、全額自己負担となります。

※受診料の自己負担額は、当日医療機関で支払います。

5. 申込方法 ※本年度より一部変更あり

文部科学省共済組合ホームページ内の「ベネフィット・ステーション」よりお申し込み願います。事前に「ベネアカウント」の登録が必要となります。ご不明な点は所属部局等の担当事務へお問い合わせ願います。

健診申込方法は「人間ドック・特定健康診査のご案内」をご確認願います。

6. 個人情報について

平成20年度から健康保険組合に「特定健康診査」が義務づけられたことに伴い、今回実施する健康診断結果のうち、法定健診及び特定健診項目に関する診断内容及び問診結果等の個人情報については保有・利用させていただきます（目的外利用はいたしません）。

健診お問い合わせ先

（株）ベネフィットワン・ヘルスケア健診予約受付センター

T E L 0800-8888-009（フリーコール）

受付時間：平日10～20時，土日10～17時，祝日・年末年始休

文部科学省共済組合HP <http://www.monkakyosai.or.jp>

（文部科学省共済組合北海道大学支部）

■ 研修

令和4年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修（一般職）

開催日：令和4年4月7日～8日

開催場所：北海道大学学術交流会館第一会議室

研修目的：北海道地区国立大学法人等の職員としての心構えを自覚させるとともに、初任職員として必要な基礎的知識を付与することを目的とする。

主催部局：総務企画部人事課



訓示（寛金清博総長）



受講風景



特別講話（行松泰弘理事）



グループワーク

■ 博士学位記授与

3月24日（木）に本学大学院研究科等の所定の課程を修了した課程博士は344人、及び本学に学位論文を提出してその審査、試験等に合格した論文博士は7人でした。なお、被授与者の氏名と論文題目等は次のとおりです。

（学務部学務企画課）

課程博士

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（法学）	すずき しげもと 鈴木 繁元	司法優越主義の限界と対話理論の可能性－アメリカ憲法学における議論を手掛かりに－ 主査：教授 佐々木 雅寿
博士（水産科学）	あべ さとる 阿部 悟	クロマグロ養殖生産管理効率化のためのモニタリング技術開発に関する基礎的研究 主査：教授 木村 暢夫
	おおかど じゅんぺい 大門 純平	ウトウの採餌行動と給餌・親の体重維持に関する研究 主査：教授 高津 哲也
	くらもと ようすけ 蔵本 洋介	ゼニガタアザラシとサケ定置網漁業の共存のための手法に関する研究 主査：教授 木村 暢夫
	グエン ミンキム NGUYEN MINH KHIEM	Study on applying machine learning into Vietnamese shrimp aquaculture （ベトナムのエビ養殖業を対象とした機械学習による魚病と価格形成の予測に関する研究） 主査：教授 藤森 康澄
	とくひろ こうき 徳弘 航季	北極海におけるカイアシ類の季節変動と食性の種間比較に関する研究 主査：教授 高津 哲也
	はせがわ ゆうや 長谷川 祐也	チョウザメ類における卵成熟誘起ステロイドの同定とその産生制御機構に関する研究 主査：教授 都木 靖彰
	みやこ けい 宮古 圭	二次代謝物で探るホヤのケミカルコミュニケーション 主査：教授 細川 雅史
	わたり ひろみ 辺 浩美	海綿由来タンパク質ThCから視る糖鎖を介したトロンボエチン受容体活性化機構 主査：教授 細川 雅史
	たにもと ゆうたろう 谷本 憂太郎	賦形剤が金属有機構造体賦形体の環境汚染物質吸着特性に与える影響解析 （Analysis of the impact of a diluent on adsorption properties of environmental pollutants in shaped metal-organic frameworks） 主査：教授 野呂 真一郎
博士（環境科学）	ソン ギョクテツ SUN Yujie	Tourism-led socioenvironmental changes in Sagarmatha National Park, Nepal Himalaya （ネパール・ヒマラヤ、サガルマータ国立公園における観光がもたらした社会的・環境的变化） 主査：教授 渡邊 悌二
	シム シャーミン Simu Sharmine Akter	Study on the origin of atmospheric water-soluble organic aerosols at the high-altitude observatory, Réunion island in the tropical Indian Ocean （熱帯インド洋レユニオン島の高高度観測所における大気水溶性有機エアロゾルの起源に関する研究） 主査：教授 力石 嘉人
	シャクマトフ Shakhmatov Ruslan	Effects of snow manipulation on larch trees in the taiga forest ecosystem in northeastern Siberia （積雪量変化が北東シベリアのカラマツタイガ林生態系に及ぼす影響） 主査：教授 山本 正伸
	やまざき かいへい 山崎 開平	Poleward transport of Circumpolar Deep Water off East Antarctica （東南極沖における周極深層水の極向き輸送） 主査：准教授 青木 茂

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（環境科学）	エーアー Ayer クリストファー Christopher ガードナー Gardner	Ecological study of the micropredator, <i>Taimenobdella amurensis</i> , a piscivorous leech: filling the gap between predation and parasitism (魚類捕食性エゾビルの生態学的研究：捕食と寄生の間を埋めるマイクロプレデーション) 主査：准教授 小泉 逸郎
	とみた かんじ 富田 幹次	Causes and consequences of animal behavior changes in a human-modified world:A case study of brown bear digging for cicada nymphs (人為環境改変下での動物行動の変化の原因と帰結：ヒゲマによるセミ幼虫の捕食行動を例に) 主査：准教授 小泉 逸郎
	いとう あべ 伊藤 (阿部) みなこ 美菜子	Variation in phenology, biological traits, and associated epifaunal community between native and non-native populations of the seagrass <i>Zostera japonica</i> (海草コアマモの在来集団と移入集団の間における季節性、形質、葉上動物群集の変異) 主査：教授 仲岡 雅裕
	よなみね りな 與那嶺 里菜	Studies on cell wall structure during morphological changes in brown algae (褐藻の形態形成に伴う細胞壁構造の変化に関する研究) 主査：教授 長里 千香子
	なかの ありさ 中野 有紗	Establishment and application of endosperm culture systems to produce polyploid plants in Amaryllidaceae (ヒガンバナ科植物における倍数体作出を目的とした胚乳培養系の開発と応用に関する研究) 主査：教授 星野 洋一郎
	さいとう ゆうき 齋藤 結大	Synthesis of covalent cluster frameworks based on ligand-mediated reactions (配位子間の反応に基づいた共有結合性クラスター構造体の構築) 主査：教授 小西 克明
	むらかみ みどり 村上 碧	可溶性一次元金チオレート配位高分子の合成と溶液中での特性 (Synthesis and solution properties of soluble one-dimensional gold(I)-thiolate coordination polymers) 主査：教授 小西 克明
博士（理学）	いしい ひろし 石井 宙志	Spatio and temporal dynamics of solutions for reaction-diffusion equations with nonlocal effect (非局所効果を持つ反応拡散方程式における解の時空間ダイナミクスについて) 主査：教授 栄 伸一郎
	おつと ゆうだい 乙戸 勇大	Two Constructions of Hopf Algebroids Based on the FRT Construction and Their Relations (FRT構成法に基づくホップ重代数の2つの構成法とそれらの関係性) 主査：准教授 澁川 陽一
	くわた けん 桑田 健	Representation of Geometric Objects by Path Integrals (経路積分による幾何的対象の表現) 主査：教授 石川 剛郎
	やぶ としふみ 矢不 俊文	Explicit logarithmic formulas of hypergeometric functions ${}_3F_2$ (超幾何関数 ${}_3F_2$ の明示対数公式) 主査：教授 朝倉 政典
	ワ ン チ ョ ン WANG Chung シュエン Hsuan	Congruence relations for p -adic hypergeometric functions $\mathcal{F}_{a,\dots,a}^{(\sigma)}(t)$ and its transformation formula (p 進超幾何関数の合同関係と変数変換公式) 主査：教授 朝倉 政典
	きりこし あきみつ 桐越 研光	Functional Renormalization Group Study for Continuous Symmetry Breaking Phases (汎関数繰り込み群に基づく連続対称性の破れた相の研究) 主査：教授 北 孝文
	みうら こうすけ 三浦 孝祐	Compatibility of Carnot efficiency and finite power in an underdamped Brownian Carnot cycle (Underdamped Brown粒子CarnotサイクルにおけるCarnot効率と有限のパワーの両立について) 主査：教授 根本 幸児

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	やつしろ めぐみ 八城 愛美	Classification of Multipole in Magnetic Point Group and Exploration of Augmented Odd-Parity Multipole Physics (磁気点群のもとでの多極子の分類論と拡張奇パリティ多極子物理の開拓) 主査：教授 北 孝文
	アルゴドン ALGODON, メリル レジ Meryl Regine レナル サス Llenaresas	3D Reconstruction of Typhoon and Isolated Cumulonimbus Clouds Using Satellite, Airborne and Ground Cameras (衛星, 航空機および地上での撮像に基づく台風と積乱雲の3次元構造推定) 主査：教授 高橋 幸弘
	ニルミット ディーパク Nirmit Deepak サクレ Sakre	Massive core/star formation triggered by cloud-cloud collision: Effects of magnetic fields and collision speeds (分子雲衝突によって引き起こされる大質量コアおよび大質量星形成：磁場と衝突速度の影響) 主査：教授 俣 和夫
	すずき よしき 鈴木 祥輝	中性子魔法数28の消失に伴う多様な核変形の研究 主査：教授 木村 真明
	たかだ しんたろう 高田 慎太郎	4D Effective Action from Non-Abelian DBI Theory with Magnetic Background (背景磁場の存在する非可換DBI理論の次元削減による4次元有効理論) 主査：教授 小林 達夫
	みやざき あやね 宮崎 彩音	光刺激脱離—共鳴多光子イオン化法を用いた低温H ₂ O氷表面におけるOHラジカルの挙動に関する研究 主査：教授 渡部 直樹
	やじま よしゆき 矢島 義之	Observational Studies on Physical Properties of Molecular Gas in Nearby Galaxies (近傍銀河における分子ガスの物理状態に関する観測的研究) 主査：教授 俣 和夫
	あおき だいすけ 青木 大輔	Studies on historical biogeography of the Japanese avifauna and the evolutionary history of avian migration (日本産鳥類の歴史生物地理学的シナリオの構築と、それに基づく渡りの進化に関する研究) 主査：教授 高木 昌興
	こいずみ みつよ 小泉 光世	A Practical Study on Improving Classroom Communication Using Transactional Analysis in Classrooms with Many Psychological Games (心理ゲーム多発学級における交流分析を用いた授業コミュニケーションの改善に関する実践研究) 主査：教授 池田 文人
	ダー DHAR ディバンジャナ Dipanjana	Elucidation of mitogenomic adaptation and structural characteristics of big defensin in molluscs using bioinformatics and computational biology (バイオインフォマティクスと計算生物学を用いた軟体動物におけるミトゲノムの適応とビッグデフィエンシンの構造特性の解明) 主査：准教授 Helena Fortunato
	チョウ ヨウ 張 揚	Phylogeny and evolution of mycophagy in Drosophilidae (キノコ食ショウジョウバエの系統関係と食性の進化) 主査：准教授 加藤 徹
	はぎわら ゆうき 萩原 雄貴	Evaluation of factors controlling laser heating phenomena of inclusions during Raman spectroscopy and their influence on quantitative analysis (ラマン分光法における包有物のレーザー加熱現象の制御因子とその定量分析への影響の評価) 主査：教授 塚本 尚義
	ホアン ウェンツェン 黄 文成	三重県中央構造線における花崗岩マイロナイトの微細構造発展史と歪の局所化 (Microstructural evolution and strain localization in granitic mylonite along the Median Tectonic Line in Mie prefecture, central Japan) 主査：准教授 亀田 純

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	やなぎや かず き 柳谷 一輝	Abrupt permafrost thaw processes after wildfire revealed by InSAR and on-site observations at Batagay, Northeastern Siberia (シベリア北東部バタガイにおける山火事後の急激な永久凍土融解プロセス: InSARと現地観測による解明) 主査:教授 古屋 正人
	よこうち こう 横内 洸	Studies on diversity and chloroplast reduction in <i>Paragymnodinium</i> (Dinophyceae) (パラギムノディニウム属(渦鞭毛藻綱)における多様性と葉緑体の縮小進化の研究) 主査:教授 堀口 健雄
博士（農学）	あおの よしゆき 青野 桂之	ジャガイモ黒あし病菌の検出法および生態に関する研究 主査:客員准教授 大木 健広
	ア ドン ト ヤ 敖敦図雅	内モンゴルにおける牧民の人口・世帯動態と家畜の飼養形態の変化に関する研究－東部赤峰市アルホルチン旗の牧畜ガチャーを事例として－ 主査:教授 坂爪 浩史
	スン ジュンホ 承 俊鎬	穀物の価格伝達に関する計量経済学的研究－韓国と日本の比較分析－ 主査:教授 近藤 巧
	テイ カシヨウ 鄭 海晶	中国における中規模酪農経営の生乳販売行動の展開メカニズム 主査:教授 坂爪 浩史
	おさだ あり さ 長田 亜梨沙	数種北方系小果樹果実の抗酸化性に影響する諸要因の解析 主査:教授 鈴木 卓
	あさい さやか 浅井 さやか	明治・大正期の国立博物館が収集した鳥類標本史とその現代的意義に関する研究 主査:教授 大原 昌宏
	ほうじょう あい 北條 愛	Analyses on the stocks and flows of Hokkaido forest based on above-ground biomass estimation and forest ecosystem account (地上部バイオマス推定と森林生態系勘定に基づく北海道の森林ストックとフロー分析) 主査:教授 中村 太士
	あべ ひろ き 安部 大樹	Advances in predictive modeling for bacterial behaviors from food processing to human consumption: application to quantitative microbial risk assessment (食品加工から喫食に至る過程における細菌挙動の予測モデリング:定量的微生物リスク評価への応用) 主査:教授 小関 成樹
	ア リ ユ ALIYU モ ハ メ ッ ド MOHAMMED	Production of sustainable solid biofuel from waste and lignocellulosic biomass by hydrothermal carbonization (水熱炭化による廃棄物とリグノセルロース系バイオマスからの持続可能な固体バイオ燃料の生産) 主査:教授 岩渕 和則
	チヨウ ジョウメイ 張 城銘	Genetic basis of ionomic variations in rice and its implication for the sulfate transporter gene contributing to the sulfur accumulation (イネにおけるイオノーム変動の遺伝的基盤とそれが示唆した硫黄蓄積に寄与する硫酸トランスポーター遺伝子) 主査:准教授 渡部 敏裕
	ディ サ ナ ヤ カ ゲ Disanayakage ス ラ キ シ Surakshi ウィ マ ン ギ カ Wimangika ラ ジャ バ ク シ ャ Rajapaksha	Integrated approach for valorisation of polyphenols in spent black tea: extraction, microencapsulation, and development of functional packaging film (紅茶殻ポリフェノール類高付加価値化のための統合的アプローチ: 抽出, マイクロカプセル化, 機能性包装フィルムの開発) 主査:准教授 清水 直人
	なおい たかし 直井 崇	ジャガイモやせいもウイルスの病原性と宿主トマトにおける病徴発現に関する研究 主査:教授 増田 税
	マツ ダ ケンイチ 松田 賢一	赤色系大粒ブドウ‘ルビーロマン’(<i>Vitis labrusca</i> × <i>vinifera</i>)の着色不良果発生原因の解明と着色促進技術の開発に関する研究 主査:教授 鈴木 卓

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（農学）	モ ハ メ ッ ド MOHAMMED イ バ ー ヒ ム シ ャ バ Ibrahim Shaba	Development of sustainable bioenergy system by integrating hydrothermal carbonization and anaerobic digestion processes (水熱炭化と嫌気性消化プロセスの統合による持続可能なバイオエネルギーシステムの開発) 主査：准教授 清水 直人
	やまもと たかし 山本 貴志	Development of a characterization method for food-related bacteria using Raman spectroscopy and machine learning (ラマン分光法と機械学習による食品関連細菌の特性評価手法の開発) 主査：教授 小関 成樹
	ヤマモリ コウイチ 山森 晃一	イネの低温ストレスによる攪乱反応の理解と育種学的ゲノミクス研究 主査：教授 貴島 祐治
	ヨシダ ナオト 吉田 直人	北海道に発生する carrot motley dwarf に関する病原学的研究 主査：教授 増田 税
	アイゼア ユーハク Isaiah Youhak ソン Song	Physiological and genomic characteristics of <i>Eubacterium</i> sp. c-25 and their implications on the diversity of deoxycholic acid producers in the human gut (<i>Eubacterium</i> sp. c-25の生理学的特徴とヒト腸内のデオキシコール酸生産菌の多様性における意義) 主査：准教授 吹谷 智
	うえなか いちむら 上仲 (市村) えみ 恵美	The mechanism of myosin replacement in the thick filament of the skeletal muscle (骨格筋筋原線維内の太いフィラメントにおけるミオシン分子の置換機構) 主査：教授 西邑 隆徳
	きむら しゅんすけ 木村 駿介	苦味受容体の口腔以外の組織における発現プロファイル及び脂肪細胞における機能解析 主査：准教授 加藤 英介
	くに い ひろき 國井 宏樹	ウシ胚由来因子インターフェロン τ の子宮頸部への移行および生体防御への関与 主査：准教授 川原 学
	こまつ まさや 小松 雅也	ウシミトコンドリアDNAの混在がマウス個体発生間の遺伝子発現に及ぼす影響 主査：准教授 川原 学
	たかつ ゆうた 高津 祐太	北方圏における亜酸化窒素消去微生物の探索 主査：教授 橋本 誠
	ホ コ イ テ イ ウ HO Khoi Thieu	Study on the effect of <i>Asparagus officinalis</i> stem extract on the induction of molecular chaperone and cellular function of bovine granulosa cells (牛顆粒膜細胞への分子シャペロン誘導と細胞機能発現に及ぼすアスパラガス茎抽出物の作用) 主査：教授 小林 泰男
	ほりこし しゅう 堀越 秀	植物由来GH1 β -グルコシダーゼ類の基質特異性の分子基盤 主査：教授 森 春英
	みうら ひろと 三浦 広卓	黒毛和種牛の生産性とリンクする第一胃共生細菌群に関する研究 主査：准教授 小池 聡
	うえだ りんたろう 上田 麟太郎	Research on Residual Strength Performance of Deteriorated Existing Timber Housing and New Seismic Strengthening Methods (既存木造住宅の劣化時残存性能と耐震補強方法に関する研究) 主査：教授 佐々木 貴信
	サイ エイ 崔 鋭	Variations in biomass, production, and respiration of fine roots in a young larch forest (カラマツ若齢林における細根のバイオマス、生産量および呼吸の変動) 主査：教授 平野 高司
	すずき はるひこ 鈴木 春彦	市町村森林行政の現状と施策過程に関する実証的研究 主査：教授 柿澤 宏昭
博士（生命科学）	きやま りゅうじ 木山 竜二	Development of Nano-scale Direct Observation Method for Hydrogel Network Structure and Study on Fracture Mechanism of Hydrogel (ハイドロゲル網目直接観察法の開発及びハイドロゲル破壊メカニズム究明に関する研究) 主査：教授 龔 劍萍

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（生命科学）	いのうえ なつみ 井上 夏実	CDKA regulates light signaling responses in <i>Physcomitrium patens</i> (ヒメツリガネゴケにおけるCDKAの光応答制御) 主査：教授 藤田 知道
	イフエレ IFERE ヌネケ Nwuneke オケレケ Okereke	Spatial perception through active sensing by cricket antennal mechanosensory system (コオロギ触角機械感覚系のアクティブセンシングによる空間知覚) 主査：教授 小川 宏人
	エギー フェブリアント Eggie Febrianto ギナンジャール Ginanjjar	Characterization of Rapid Alkalinization Factors (RALFs) in <i>Physcomitrium patens</i> (ヒメツリガネゴケにおけるRALFペプチドホルモンの解析) 主査：教授 藤田 知道
	さなき みほ 真木 美帆	Studies on transcription factors regulating plant growth in response to nutrient availability (栄養シグナルによる植物成長制御に関わる転写因子の研究) 主査：准教授 佐藤 長緒
	たかだ ゆうき 高田 裕貴	Molecular Biological Studies on the Post-Transcriptional Regulation of <i>Pou5f1/Oct4</i> mRNA during Mouse Oogenesis and Embryogenesis (マウス卵形成と胚発生における <i>Pou5f1/Oct4</i> mRNAの転写後制御の分子生物学的研究) 主査：准教授 小谷 友也
	のぞわ こうすけ 野沢 紘佑	熱活性型レトロトランスポゾンの転写制御解析 主査：准教授 伊藤 秀臣
	はせがわ ようこ 長谷川 陽子	Analysis of ubiquitin signaling and membrane traffic regulation in plant C/N-nutrient responses (植物のC/N 栄養応答におけるユビキチンシグナルと膜交通制御の解析) 主査：准教授 佐藤 長緒
	まえだ はなき 前田 華希	光化学系IIの構築に関わるONE-HELIX-PROTEIN1複合体の解析 主査：教授 田中 亮一
博士（薬科学）	リン ギョウチ 林 暁智	<i>In silico</i> and <i>in vitro</i> investigations on the molecular mechanism of steroid hormone response of elephant shark, <i>Callorhynchus milii</i> , progesterone receptor (<i>In silico</i> 及び <i>in vitro</i> 解析を用いたゾウギンザメのプロゲステロン受容体のホルモン応答性の分子基盤解明) 主査：教授 勝 義直
	ロ ヨンミン 羅 永茗	Studies on ubiquitin ligases and deubiquitinating enzymes involved in nutrient and phytohormone signaling in <i>Arabidopsis</i> (シロイヌナズナの栄養および植物ホルモンシグナル伝達に関与するユビキチンリガーゼおよび脱ユビキチン化酵素の研究) 主査：准教授 佐藤 長緒
	うえむら けんたろう 上村 健太郎	新興・再興ウイルス感染症に対する広域的治療薬の創製研究 主査：教授 前仲 勝実
	くりはら たくまる 栗原 拓丸	第9族遷移金属と有機触媒の協働による触媒的不斉C-H官能基化法の開発 主査：教授 松永 茂樹
	さいとう はるか 齋藤 遥	内在性分子由来ペプチドを用いた新規アルツハイマー病治療法の開発 主査：特任教授 鈴木 利治
	ジャバーラー マト Jabal Rahmat ハエダル Haedar	Studies on Natural Products from Untapped Bacterial Resources (未開拓細菌類を起源とする天然物に関する研究) 主査：教授 脇本 敏幸
	のじり こうき 野尻 光希	皮膚透過性バリア形成におけるセラミド分解経路の関与とその異常による病態の解明 主査：教授 木原 章雄
	はしば かろう 橋場 (加藤) あかり 月	バクテリアによるナノ粒子の腫瘍移行性の改善とその併用療法への応用 主査：教授 原島 秀吉
博士（薬科学）	まつおか けいたろう 松岡 慶太郎	高活性超原子価ヨウ素化合物を用いた反応開発研究 主査：教授 松永 茂樹

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（薬科学）	マ ハ モ ド MAHMOUD マ ン ソ ル MANSOUR ア ブ ド ワ キ ル ABDELWAKIL	Design and <i>In vivo</i> Evaluation of Novel mRNA Lipid Nanoparticles Beyond the Hepatocytes Towards a New Era of Personalized Gene Therapies (肝実質細胞を越えるmRNA搭載脂質ナノ粒子の設計とin vivo評価による個別化遺伝子治療の幕開け) 主査：教授 原島 秀吉
博士（生命科学）	ゆ も と 湯本 こうへい 航平	狂犬病ウイルスの細胞侵入に寄与する糖タンパク質RABVGの特性解析 主査：教授 前仲 勝実
博士（ソフトマター科学）	おくむら つよし 奥村 剛士	Study on Composite Materials with Macroscopic Double Network Structures (巨視的なダブルネットワーク構造を有する複合材料に関する研究) 主査：教授 龔 劍萍
	さとう ゆうじ 佐藤 優次	The molecular factors derived from potent bactericidal activity of reduced cryptdin-4 (還元型cryptdin-4の強力な殺菌活性の分子機構に関する研究) 主査：教授 相沢 智康
	チョウ ヨウ 張 暉	Study on Crack Propagation Behaviors of Double Network Hydrogels under High Stretch (高延伸下におけるダブルネットワークゲルの亀裂進展挙動に関する研究) 主査：教授 龔 劍萍
博士（臨床薬学）	さわい めぐみ 澤井 恵	アシルトランスフェラーゼAwat1およびAwat2が生み出すマイバム脂質多様性とドライアイ防止における役割 主査：教授 木原 章雄
	せきの ともゆき 関野 智行	光/コバルト協働触媒の特性を活用したアリル位置換反応の開発 主査：教授 松永 茂樹
	なだい たかのぶ 灘井 崇宜	MCTsに着目した効果的な乳がん治療戦略の構築に関する研究 主査：教授 小林 正紀
	ひびの みつゑ 日比野 光恵	臨床応用を目指したミトコンドリア標的型コエンザイムQ ₁₀ 搭載ナノカプセル注射剤の創製 主査：准教授 山田 勇磨
博士（教育学）	うの ともき 宇野 智己	文字や単語に対する早い処理過程とその発達－事象関連電位を用いた検討－ 主査：教授 関 あゆみ
	おおにし りゅうた 大西 竜太	育児課題への対応における母親のデジタルリソース使用の意味－母子保健におけるデジタル社会での育児支援の再考に向けて－ 主査：教授 宮崎 隆志
	かもざわ あかね 鴨澤 あかね	SCT® (Systems-Centered Therapy / Training / Approach) の考え方とその実践の特徴－理論の記述と実際のグループの検討を通じて－ 主査：准教授 渡邊 誠
	なかじま としひろ 中島 寿宏	体育授業における教師の関与と生徒の集団内での言語的コミュニケーション－可視化データによる実証的・実践的研究－ 主査：准教授 川田 学
博士（学術）	カツ キョク 葛 旭	突発事件における中国政府の危機コミュニケーション戦略－2015年から2020年の「政務ニューメディア」を事例にして－ 主査：教授 渡邊 浩平
	オ ン イー シュエン ONG Yi Xuan	Effectiveness Study of Social Media Influencers for Destination Marketing: Application of the Self-Congruity Theory on Generational Comparison (デスティネーション・マーケティングのためのソーシャル・メディア・インフルエンサー効果研究－セルフ・コングリュイティ理論の世代比較への適用－) 主査：准教授 張 ジュヒョク
	ソン トウ 孫 涛	Understanding How Online Travel Reviews Impact Young Chinese Tourists' Perceived Risk and Destination Visit Intention: A Longitudinal Study Pre-and During COVID-19 Era (オンライン・クチコミが中国若者観光者の知覚リスクや目的地訪問意向に与える影響－新型コロナウイルス流行前・中の調査比較の視点から－) 主査：准教授 張 ジュヒョク

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（学術）	ミツイ ユウスケ 三井 祐介	行政広報におけるチャンネル最適化戦略に関する研究 自治体協働意識と住民意識への影響と効果について 主査：教授 辻本 篤
	いのうえ たかひろ 井上 貴博	GABA受容体を標的とする薬理的神経制御と運動療法が脳卒中後の機能回復に与える影響 主査：教授 境 信哉
博士（保健科学）	おおば けんすけ 大場 健裕	筋腱粘弾性反応に着目した効果的ストレッチングプロトコルの確立 主査：教授 遠山 晴一
	むらやま みちと 村山 通史	心不全患者における心エコー法を用いた血行動態評価法に関する研究 主査：教授 石津 明洋
	ラヘル メスフィン ケ テマ KETEMA	Human biomonitoring of phthalates and their effect on respiratory and allergic symptoms in Japanese children (フタル酸エステル類のヒトバイオモニタリングおよび呼吸器・アレルギー症状との関連) 主査：教授 山内 太郎
	キム ダギョン 金 多景	Physics of J=3/2 superconductors (角運動量J=3/2の電子が担う超伝導現象の理論的研究) 主査：准教授 浅野 泰寛
博士（工学）	よしひろ たつや 吉弘 達矢	乱れた構造を利用したフォノンニックデバイスに関する基礎研究 主査：教授 矢久保 考介
	よね た けん た 米田 謙太	太陽系外惑星の直接検出のための空間光変調器を用いた波面制御技術に関する研究 主査：教授 長谷川 祐司
	さかい ひろき 坂井 浩紀	Study on high-temperature latent heat storage using Al-Si alloy (Al-Si合金を用いた高温潜熱蓄熱に関する研究) 主査：准教授 能村 貴宏
	ソウ ミン ジア SAW MIN JIA	Anisotropic Growth of Metal Rods and Wires without Organic Capping Agents for Transparent Conducting Materials (有機キャッピング剤を用いない金属ロッド・ワイヤの異方性成長および透明導電性材料としての応用) 主査：教授 米澤 徹
	たかはし ゆうき 高橋 優樹	ガルバニック水中結晶光合成による光機能ヘテロナノ構造の作製 主査：教授 渡辺 精一
	なり た くにひろ 成田 国広	Novel synthetic strategies towards atomically precise cationized Au cluster compounds (原子精度カチオン性金クラスター化合物の新規合成手法の確立) 主査：教授 米澤 徹
	ホ ジョン ウ Heo Jeongwoo	Development of F82H-based composite materials with a high thermal conductivity (高熱伝導率を有するF82H複合材料の開発) 主査：教授 橋本 直幸
	むらかみ しゅんたろう 村上 俊太郎	鉄腐食に伴うイオン分離現象とそれを利用した水中結晶光合成 主査：教授 渡辺 精一
	た べ ひろふみ 田部 広風海	Molecular Dynamics Analyses of Non-equilibrium Evaporation of Impacting Nanodroplet on Heated Wall and Liquid Film in Vapor-gas Binary Mixtures (高温壁上での衝突ナノ液滴および混合気体中での液膜の非平衡蒸発に関する分子動力学解析) 主査：准教授 小林 一道
	ないとう ゆうしん 内藤 雄心	質量およびエンタルピーを保存する液滴内部分布を考慮した多成分燃料用液滴蒸発モデルの開発と精度検証 主査：准教授 橋本 望
	ビスコア トール Viscor TOR	Applicability of scaled testing for CAMUI-type hybrid rocket regression modelling (CAMUI型ハイブリッドロケットの燃料後退モデルにおけるスケール則の適用性) 主査：教授 永田 晴紀
	いんなみ みちお 印南 信男	Blended layerを含む繊維強化複合材積層板の面内・面外振動の解析と最適化に関する研究 主査：教授 佐々木 克彦

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（工学）	ひる た としき 比留田 稔樹	ソフトアクチュエータを応用した構造加振/振動制御技術の構築 主査：教授 梶原 逸朗
	やまぎ まさひろ 山崎 方弘	プラズマを用いたガス転換プロセスにおける振動励起状態分子の効果に関する研究 主査：教授 佐々木 浩一
	かね としなち 金戸 俊道	日本海における津波の将来想定および津波検知・到達予測手法の開発 主査：教授 渡部 靖憲
	チー ヒエウ マー Chi Hieu MA	Multi-stage fatigue analysis of an orthotropic steel bridge deck reinforced with UHPFRC overlay considering crack bridging and interfacial bond stiffness degradations (架橋応力と界面付着の劣化を考慮した UHPFRC合成直交異方性鋼床版の多段階疲労解析) 主査：教授 松本 高志
	わだ しゅうへい 和田 脩平	道路と連携した自動走行の高度化に向けたドライバの認知行動特性に関する基礎的研究 主査：教授 萩原 亨
	いしい あきら 石井 旭	東日本大震災における地域のレジリエンスを高める住宅復興計画手法の構築 主査：教授 瀬戸口 剛
	つばうち けん 坪内 健	東日本大震災のコミュニティ移転における環境移行の臨床学的アプローチに関する研究 主査：教授 森 傑
	かく だ たかゆき 角田 貴之	MBR汚泥ろ過性に影響を及ぼす成分の消長および特性に関する研究 主査：教授 木村 克輝
	ファイサル ビン Faisal Bin アリフィン Ariffin	A New Approach for Promoting Resource Recycling and Residual Waste Reduction in Malaysia (マレーシアにおける資源リサイクルと埋立ごみ削減促進のための新しいアプローチ) 主査：教授 石井 一英
	アフフファイク Afif Faiq ムハマト Muhamad	Development of Waste Management Strategies based on Recycling and Energy Recovery in Indonesia (資源・エネルギー回収に基づくインドネシア廃棄物管理戦略の構築) 主査：教授 石井 一英
	いし だ たかと 石田 崇人	熱硬化性アクリル系ウレタン架橋樹脂のマルチスケール劣化解析及び脱ゲル化現象を中心とした材料寿命予測—光劣化に伴って起こるPolymer Network Architectureの変化— 主査：准教授 エラクネス ヨガラジャ
	シベンディララージャー Siventhirarajah クリシュニャー Krishnya	Multi-stage model for predicting the mechanical and durability characteristics of cement-based material (マルチステージモデルによるセメント系材料の力学特性及び耐久性予測) 主査：准教授 エラクネス ヨガラジャ
	しんばし みさと 新橋 美里	高アルカリ環境における二次鉱物の生成に関するナチュラアナログ研究 主査：教授 佐藤 努
	トゥム TUM セレイロワット Sereyroith	Geochemical Iron Dynamics and Passive Treatment of Acid Mine Drainage with High Dissolved Iron Concentration for Sustainable Green Mining (持続可能なグリーンマイニングに向けた高濃度溶存鉄含有酸性鉱山廃水の地球化学的な鉄ダイナミクスの理解とパッシブトリートメント) 主査：教授 佐藤 努
	なかむら しんさく 中村 晋作	Study on dispersion of lead-zinc-bearing mine wastes by considering local weather conditions and waste properties in the Kabwe mine, Zambia (ザンビア国カブウェにおける気象条件および鉱滓性状を考慮した鉛・亜鉛系鉱山廃棄物飛散に関する研究) 主査：教授 五十嵐 敏文
	やまぐち こうへい 山口 耕平	坑道充てんによる休廃止鉱山の酸性坑廃水の水量削減と水質改善に関する研究 主査：教授 五十嵐 敏文
博士（総合化学）	さとう ゆうき 佐藤 優樹	Studies on Corrosion Resistance and its Mechanism of Carbon Nanofibers in Alkaline Electrolyte (カーボンナノファイバーのアルカリ電解液中における耐食性と耐食機構に関する研究) 主査：特任教授 安住 和久

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	いし い さつき 石井 さつき	Microtubule Swarm Programmed with <i>p-tert</i> -Butyl Substituted Azobenzene Tethered DNA (<i>p-tert</i> -ブチル置換アゾベンゼン修飾DNAによってプログラムされた微小管の集団運動) 主査：教授 石森 浩一郎
	いとう しょうご 伊藤 祥吾	Study on the Substrate Recognition and the Novel Substrate Identification Method of Mn^{2+}/Mg^{2+} -dependent Ser/Thr Phosphatase PPM Family (Mn^{2+}/Mg^{2+} 依存的Ser/ThrホスファターゼPPMファミリーの基質認識と新規基質同定法に関する研究) 主査：教授 村上 洋太
	おおつか ひろ き 大塚 晃喜	Studies on Photofunctional Ruthenium(II)-Complexes for Hole-Mediator-Functionalized Photodriven Oxygen Evolution System (正孔輸送部を修飾した光駆動酸素発生システムのための光機能性ルテニウム (II) 錯体に関する研究) 主査：教授 村越 敬
	イレム スル Irem Nur ガンゼ Gamze オズビルギン OZBILGIN	Synthesis and Characterization of Water-Soluble Silicon Quantum Dots for Photothermal Therapy and Fluorescence Imaging of Cancer Cells (がん細胞の蛍光イメージングと光温熱治療を指向した水溶性シリコン量子ドットの合成と分析) 主査：教授 村越 敬
	おぼら かず ま 小原 一馬	青色光照射下での自励振動により駆動する薄板状微結晶の水中遊泳とその粗視化モデルによる理解 主査：教授 石森 浩一郎
	カオ シュ 曹 思雨	Study on Electroactive Soft Actuators Based on Nanostructured Columnar Liquid-Crystalline Polymer Electrolytes (ナノ構造カラムナー液晶性高分子電解質に基づく電気活性ソフトアクチュエータに関する研究) 主査：教授 佐田 和己
	きし じゅんいちろう 岸 惇一郎	New Methods for the Construction of Polycyclic Skeleton Directed toward <i>Daphniphyllum</i> Alkaloid Synthesis (ユズリハアルカロイドの全合成を指向した多環性骨格の新規構築法) 主査：特任教授 及川 英秋
	さいとう ひろ き 斎藤 優輝	Construction of Seven-Membered Carbocycles via 8π Electrocyclic Reactions (8π 系電子環状反応による炭素7員環の構築法) 主査：教授 澤村 正也
	しまじり たくや 島尻 拓哉	The Nature of Ultralong C-C Bonds: Demonstration of the Longest Csp^3-Csp^3 Single Bond beyond 1.8 Å and Discovery of Flexible Covalent Bonds (極度に長いC-C結合の性質：1.8 Åを超える世界最長の Csp^3-Csp^3 単結合の実証と共有結合の柔軟性の発見) 主査：教授 谷野 圭持
	シュ コウケツ 朱 浩傑	Unraveling the Mechanism of Functional Switching of Trigger Factor Chaperone (トリガーファクターシャペロンにおける機能変換機構の解明) 主査：教授 坂口 和靖
	ショウ ウ ロ 蔣 雨露	Studies on Unusual Oxidative Transformations in Fungal Natural Product Biosynthesis (糸状菌由来天然物の生合成に関与する特異な酸化変換に関する研究) 主査：教授 谷野 圭持
	すぎやま か な ゐ 杉山 佳奈美	Theoretical Studies on Heterogeneous Catalysis Based on Reaction Route Network and Kinetic Analysis (反応経路ネットワークと速度論解析を用いた不均一系触媒反応の理論研究) 主査：教授 武次 徹也
	つきい かず き 月井 一輝	Study on Functions of Histone Variant H2A.Z for the Maintenance of Heterochromatin Integrity (ヘテロクロマチンにおけるヒストンバリエントH2A.Zの機能に関する研究) 主査：教授 坂口 和靖

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	ヤヤティ ナレシュ Yayati Naresh バライ Palai	Transformation of Sugar-Derived Compounds over Supported Metal Catalysts (担持金属触媒による糖化合物の変換) 主査：教授 長谷川 淳也
	ヤン ホン 顔 翊	Flux Crystal Growth, Crystal Structures and Optical Properties of Ga/Ge-Based Oxides and Oxysulfides (Ga/Ge酸化物および酸硫化物のフラックス結晶育成と結晶構造および光学特性) 主査：教授 上野 貢生
	ゆくたけ ゆう き 行武 悠樹	Synthetic Studies toward Tubiferal A (ツビフェラルAの合成研究) 主査：特任教授 及川 英秋
	ヨウ テイ 楊 程	Catalytic Conversion of Biomass-Derived Sugars to Renewable Chemicals (バイオマス由来糖から再生可能化学品への触媒変換の研究) 主査：教授 長谷川 淳也
	わたなべ ひろたか 渡邊 裕貴	正常上皮細胞とp53変異細胞間に生じる細胞競合を制御する分子メカニズムの研究 主査：教授 村上 洋太
博士（工学）	お ぞわ ゆう 友 小澤 友	Development and Computational Analysis of Copper(I)-Catalyzed Stereoselective Borylation Reactions (銅 (I) 触媒による立体選択的なホウ素化反応の開発と計算化学を用いた解析) 主査：教授 大熊 毅
	オニイニエチクウー Onyinyechukwu ジャスティナーオ ジリ Justina Oziri	Topology-Dependent Complexation of Cyclic Poly (Ethylene Glycol) with Nanoparticles and Proteins (環状ポリエチレングリコールのトポロジーに基づいたナノ粒子およびタンパク質との複合化) 主査：教授 松本 謙一郎
	こばやし さぶろう 小林 三朗	Synthesis of End-Functionalized π -Conjugated Polymers by Suzuki-Miyaura Catalyst-Transfer Polycondensation of Triolborate Salt-Type Monomers (トリオールボレート塩モノマーの鈴木-宮浦触媒移動型連鎖重縮合による 末端官能基化 π -共役系高分子の合成) 主査：教授 松本 謙一郎
	ジョン ソン ウ 鄭 成佑	Studies on Thin Film Protonic Ceramic Fuel Cells (プロトン伝導性セラミックス薄膜燃料電池に関する研究) 主査：特任教授 安住 和久
	スウ シン ロ ナ 苏 辛罗娜	Diffusion Mechanism of Aromatic Hydrocarbons within Zeolites in Liquid Phase and Sub-and Super-critical Fluids (液相・亜臨界・超臨界流体中のゼオライトの芳香族炭化水素の拡散機構) 主査：教授 向井 紳
	たかはし り な 高橋 里奈	Mechanochemical Synthesis of Organometallic Compounds and Their Applications to Organic Synthesis (有機金属化合物のメカノケミカル合成と有機合成への応用) 主査：教授 大熊 毅
	フェレイラ ダ Ferreira da ローサ ペドロ Rosa Pedro パウロ Paulo	Study on Control of Electronic and Structural Parameters in Luminescent Seven-coordinate Lanthanide Complexes (発光性七配位希土類錯体の電子および立体構造の制御に関する研究) 主査：教授 島田 敏宏
	ふるこし ま や 古越 真耶	Studies on the Effects of Chemical Treatments of in-Body-Formed Collagenous Tissue Tubes on Vascular Implantation Performance (体内形成コラーゲン組織管の化学処理が血管移植性能に及ぼす効果に関する研究) 主査：教授 渡慶次 学
	やまぐち あきのり 山口 晃巨	Development of Analytical Technology to Improve the Ability to Detect and Identify Toxic Substances Used in Terrorism and Crime (テロや犯罪で使用する有毒物質の検知・同定能力向上のための分析技術の開発) 主査：教授 佐藤 敏文

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（経営学）	イン ケン 尹 琚	The effect of the paradox mindset on individual unlearning and work engagement: A mixed study (パラドックスマインドセットが個人のアンラーニングとワークエンゲージメントに及ぼす影響：混合研究) 主査：准教授 阿部 智和
	よねなが こうしろう 米永 航志朗	Functionals of a Wishart matrix and a normal vector and its application to linear discriminant analysis. (ウィッシュャート行列と正規ベクトルの関数とその線形判別分析への応用) 主査：教授 柿沢 佳秀
博士（経済学）	ラ ス ル マ ナ ナ RASOLOMANANA ウ シ ジ ャ ニ エ シ ONJANIAINA ミ ア ニ ン ハ リ ズ MIANIN'HARIZO	Bankruptcy Prediction Model Using Machine Learning (機械学習による倒産予測モデル) 主査：准教授 春日部 光紀
	リ ム タン 李 夢丹	Essays on wage inequality and COVID-19 control in China (中国の賃金格差に関する研究とCOVID-19制御の実証研究) 主査：教授 今井 晋
	あそ う く に ゆ き 麻生 邦之	難治性自己免疫性疾患の病態解明と新規治療薬の開発 (A novel therapeutic approach for refractory autoimmune diseases) 主査：准教授 外丸 詩野
博士（医学）	ア ブ ド ラ ブ ABDRABOU シ ャ イ マ セ イ ド Shimaa Said モ ハ メ ド ア リ Mohamed Ali	Diagnosis and Characterization of Endoscopic Findings in XIAP Deficiency (XIAP欠損症の診断と内視鏡所見の特徴に関する研究) 主査：教授 坂本 直哉
	あ べ ゆ き 阿部 結希	慢性気道疾患の臨床経過・予後に対する経年変化データの影響に関する研究 (Association of annual changes in biomarkers with clinical course and prognosis of chronic airway diseases) 主査：教授 佐藤 典宏
	あんどう あきこ 安藤 明子	低出生体重児における睡眠の質と知的発達の関係に関する研究 (Studies on Correlation between Sleep Quality and Cognitive Development in Low Birth Weight Infants) 主査：教授 藤村 幹
	い かり とも お 猪狩 智生	がん患者の死亡直前期予後予測におけるSurprise Questionの有用性に関する検討 (A study of the usefulness of the surprise question in predicting prognosis of cancer patients with impending death) 主査：教授 松野 吉宏
	い し い や す し 石井 保志	免疫プロテアソーム機能低下が腎虚血再灌流傷害に与える影響 (Impaired immunoproteasomal function exacerbates ischemia-reperfusion injury) 主査：教授 佐邊 壽孝
	い し が き た か ひ ろ 石垣 隆弘	非虚血性機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する弁下処置を追加した僧帽弁置換術の有効性に関する研究 (Studies on the effects of mitral valve replacement with submitral procedures for non-ischemic functional mitral valve regurgitation) 主査：准教授 兵頭 秀樹
	い し ざ か す け 石坂 傑	心エコー法による血行動態の先進的洞察：超高齢社会で問題となる循環器疾患への適用 (Challenges to establish the assessment strategy in cardiovascular diseases occurring in elderly patients using echocardiography) 主査：教授 若狭 哲
	い とう けん 伊藤 憲	消化器がんに対するがん薬物療法で味覚異常を発症した症例に関する多施設共同医師主導前向き観察研究 (HGCSG1902: multicenter, prospective, observational study of chemotherapy-induced dysgeusia in gastrointestinal cancer) 主査：准教授 七戸 俊明

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	いまふく けいすけ 今福 恵輔	重層扁平上皮におけるタイトジャンクション関連タンパク（Zonula occludens-1）の分布は上皮ターンオーバー速度に依存する （The distributions of zonula occludens-1 in stratified squamous epithelium depend on the turnover interval） 主査：教授 大場 雄介
	いりえ ともよ 入江 朋世	腰椎椎弓根壁におけるCT値の3次元的分布 （Three-dimensional distribution of CT attenuation in the lumbar spine pedicle wall） 主査：教授 高橋 誠
	いわはら なおや 岩原 直也	腎移植患者における慢性活動性抗体関連型拒絶反応早期診断法の開発 （Development of immune response monitoring system to predict chronic active antibody mediated rejection in kidney transplant recipients） 主査：准教授 北村 秀光
	えぐち かつき 江口 克紀	脳深部刺激療法施行下におけるパーキンソン病の病態解析研究 （Studies on the pathophysiology in Parkinson's disease under deep brain stimulation） 主査：教授 生駒 一憲
	えばた たく 江畑 拓	摩耗軟骨片活性化マクロファージによる変形性関節症進行メカニズムの解明研究 （Research on the mechanism of progressive osteoarthritis mediated by inflammatory macrophages activated by cartilage wear） 主査：教授 渥美 達也
	おかもと みちなり 岡本 迪成	¹⁸ F-fluorodeoxyglucose/ ¹⁸ F-fluoromisonidazole-PETを用いた膠芽腫における低酸素下糖代謝の重要分子を探索する研究 （Studies on exploration a potent key molecule of hypoxic glucose metabolism of glioblastoma derived from the depiction of ¹⁸ F-fluoromisonidazole and ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography） 主査：教授 久住 一郎
	おくま あきら 小熊 昂	閉塞性肺疾患におけるCT画像指標を用いた臨床経過予測に関する検討 （A study on prediction of clinical course of obstructive lung diseases using CT imaging indices） 主査：教授 工藤 興亮
	おだ よしたか 小田 義崇	ハイドロゲルを用いた髄膜腫がん幹細胞マーカーの検索 （Development of novel stem cell marker for meningioma using hydrogels） 主査：教授 青山 英史
	かわた しんいちろう 川田 晋一朗	グルコキナーゼ活性化薬による血糖降下作用の持続性消失機序の解明 （Elucidation of the mechanism underlying the lack of sustainable hypoglycemic effect of glucokinase activator） 主査：教授 本間 明宏
	きくち かすみ 菊地 香澄	Spontaneously Diabetic Torii fattyラットにおける糖尿病眼合併症に関する研究 （Diabetic ocular complications in Spontaneously Diabetic Torii fatty rats） 主査：教授 久住 一郎
	きしだ なおき 岸田 直樹	抗菌薬耐性率の低下の加速：感染症コンサルタントが実施した介入プログラムの有効性に関する研究 （Accelerating reductions in antimicrobial resistance: Evaluating the effectiveness of an intervention program implemented by an infectious disease consultant） 主査：教授 今野 哲
	くさじま えりか 草島 英梨香	マウス血管柄付リンパ節移植モデルにおける悪性黒色腫の動態と制御に関する研究 （Studies on the dynamics and regulation of malignant melanoma using a mouse model of vascularized lymph node transfer） 主査：准教授 北村 秀光

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	こうや 甲谷 太郎	神経型一酸化窒素合成酵素の抑制を介したSmall-conductance Ca^{2+} -activated K^{+} チャネルの活性化の機序と心房細動基質への影響の検討 (Investigation of the mechanism and the influence on the atrial arrhythmogenesis of small conductance Ca^{2+} -activated potassium channel activation via neuronal nitric oxide synthase inhibition) 主査：教授 森本 裕二
	こすゐ 小住 英之	Wnt/ β -cateninシグナルが表皮角化細胞のヘミデスモソームを安定化する (Wnt/ β -catenin signaling stabilizes hemidesmosome formation in keratinocytes) 主査：教授 佐邊 壽孝
	こばやし 小林 英之	急性骨髄炎に対する骨吸収抑制薬による骨保護効果と安全性に関する研究 (Study on the osteoprotective effect and safety of antiresorptive agents in acute osteomyelitis) 主査：教授 藤山 文乃
	さいとう 斎藤 里佳	オキサリプラチンによる類洞閉塞症候群の早期予測における腹部超音波検査の有用性を検討する単施設前向き観察研究 (A Single-Center Prospective Observational Study Investigating the Utility of Abdominal Ultrasonography in Early Prediction of Sinusoidal Obstruction Syndrome induced by Oxaliplatin) 主査：准教授 七戸 俊明
	さいとう 斎藤 涼平	Studies on quantitative assessment of countermeasures during a hepatitis A virus outbreak using renewal equation model (再生方程式モデルによるA型肝炎のアウトブレイク対応策の定量的評価に関する研究) 主査：教授 荒戸 照世
	さとう 佐藤 太貴	抗リン脂質抗体症候群の治療と病態機序に関する研究 (Treatment and pathophysiology in antiphospholipid syndrome) 主査：教授 橋野 聡
	さわがしら 澤頭 亮	視覚探索課題を用いた作業記憶の定量化と中枢神経作用薬の影響 (Evaluation of multiple components of working memory using visual search paradigm and the effects of psychotropic agents) 主査：准教授 乗本 裕明
	しばた 柴田 有花	遺伝カウンセリング来談時のメタ認知状態が不安レベルに与える影響～来談者の特性を踏まえた検討～ (Effects of metacognitive status on anxiety level at genetic counseling visits based on the characteristics of clients) 主査：教授 田中 真樹
	しばやま 柴山 惟	ステロイドホルモンによる生理的状态および肥満病態における代謝制御機構の解明 (Novel insights into steroid hormone induced nuclear receptor transcriptional activity in physiology and in obesity) 主査：教授 神谷 温之
	しみず 清水 一紀	Estimation of the diagnosed proportion of people living with HIV/AIDS among foreign residents in Japan (日本における外国籍HIV感染者・AIDS患者診断割合の推定) 主査：教授 玉腰 暁子
博士（理学）	しもだ 霜田 佳彦	エンドサイトスコピーによる食道腫瘍生体内組織診断の有用性に関する検討 (Efficacy of endoscopic in vivo histological diagnosis of esophageal tumors by using an endocytoscopy) 主査：教授 平野 聡
	ジョン スン モク JUNG Sungmok	Infection dynamics of coronavirus disease 2019 (COVID-19) (新型コロナウイルス感染症の感染動態に関する研究) 主査：教授 豊嶋 崇徳

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	すずき ともあき 鈴木 智亮	修復型シュワン細胞の細胞学的および分子学的特徴と軸索再生効果 (Cellular and molecular characterization of repair Schwann cells and their effect on promoting axonal regeneration) 主査：教授 神谷 温之
	セキ シュシュン 石 妹珣	自然免疫応答を活性化する新規リガンドとしての環状ADPRの同定 (Identification of Cyclic ADP-Ribose as a Novel Ligand for Innate Immune Activation) 主査：教授 福原 崇介
	たかみや そういちろう 高宮 宗一朗	急性期脊髄損傷に対する羊膜由来間葉系幹細胞静脈投与の脊髄-腸相関への関与 (Amnion-derived mesenchymal stem cells intravenous injection for acute spinal cord injury influences the spinal-gut axis) 主査：准教授 乗本 裕明
	ただ あつし 多田 篤司	心不全患者における診断精度の向上および新規予後指標に関する研究 (Study on improvement of diagnostic accuracy and novel prognostic indicator in patients with heart failure) 主査：教授 藤村 幹
	たなか いっこう 田中 一光	<i>Helicobacter pylori</i> 除菌後異時性胃癌症例の臨床病理学的特徴とDNAメチル化異常に関する検討 (Evaluation of clinicopathological features and aberrant DNA methylation after <i>Helicobacter pylori</i> eradication focused on metachronous gastric cancer) 主査：教授 武富 紹信
	ちば やすゆき 千葉 泰之	前毛細管性肺高血圧症における心エコーを用いた左室拡張機能評価に関する研究 (Studies on evaluation of left ventricular diastolic function using echocardiography in pre-capillary pulmonary hypertension) 主査：教授 若狭 哲
	つじおか たかお 辻岡 孝郎	心筋細胞のミトコンドリアを標的としたリポソームによる薬剤送達治療に関する研究 (Studies on drug-encapsulating liposomal delivery therapy targeting myocardial mitochondria) 主査：教授 安斉 俊久
	つづき あつし 續木 惇	消化管内分泌細胞におけるグルカゴン様ペプチド-1 (GLP-1) 分泌制御因子に関する研究 (Studies on regulation factors of glucagon-like peptide-1 secretion in intestinal endocrine cells) 主査：教授 渡邊 雅彦
	つづき よおこ 都築 陽欧子	良性疾患で腹腔鏡下子宮全摘出術を実施した女性における膣断端感染の危険因子に関する研究 (Studies on risk factors of vaginal cuff infection in women undergoing laparoscopic hysterectomy for benign gynecological diseases) 主査：教授 村上 正晃
	なかお もと 中尾 元基	光遺伝学を用いた心臓電気生理学に関する研究 (Investigations of cardiac electrophysiology using optogenetics) 主査：教授 森本 裕二
	なかがわ しんぺい 仲川 心平	プロテアソーム機能低下が白色脂肪組織慢性炎症に与える影響 (Decreased proteasomal function exacerbates obese-related chronic inflammation in adipose tissue) 主査：教授 近藤 亨
	なかじょう こう 中條 航	Epidemiological studies on effective reproductive number and asymptomatic infections of COVID-19 (COVID-19の実効再生産数及び不顕性感染についての疫学的研究) 主査：准教授 倉島 庸
	にながわ けいた 蜷川 慶太	強皮症並びに関節リウマチの病態評価および病態解明に関する研究 (Research on evaluation and elucidation of the pathogenesis of scleroderma and rheumatoid arthritis) 主査：教授 岩崎 倫政

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	はまだ せいじろう 浜田 誠二郎	頭頸部扁平上皮癌におけるDNA障害型抗がん薬の効果予測マーカーとしてのSLFN11の有用性に関する研究 (Studies on SLFN11 as the prognostic marker of head and neck squamous cell carcinoma patients treated with platinum-based chemoradiotherapy) 主査：教授 谷口 浩二
	ハ ラ カ ナ ダ ナスロ Nada Nasr ア フ デ ル モ ネ モ Abdelmoneim サイ ド ア ホ メ ド Sayed Ahmed	Development of Remote Inflammation through Interneuron Network in the Spinal Cord (脊髓の介在ニューロンネットワークを介した遠隔炎症の発症) 主査：教授 石田 晋
	ハン 韓 ナ ヌ ミ	インターロイキン34の転写メカニズム及び腫瘍微小環境における治療抵抗性誘導に関する研究 (Studies on the transcription mechanism of interleukin-34 and its role in the induction of treatment resistance in tumor microenvironment) 主査：教授 小林 弘一
	ひえだ てつや 稗田 哲也	ラット虚血性心筋症モデルにおける左室形成術後の左室リモデリングに対するトレハロースの効果 (Effects of trehalose on left ventricular remodeling after surgical ventricular reconstruction in a rat model of ischemic cardiomyopathy) 主査：教授 渡邊 雅彦
	ひらた はじめ 平田 甫	胆膵領域癌に対する近赤外線照射光免疫治療の基礎的研究 (Basic study on near infrared photoimmunotherapy for biliary and pancreatic cancer) 主査：准教授 神山 俊哉
	ふくい たかふみ 福井 隆史	リポソームを用いた中枢神経への低侵襲薬物輸送システムの開発 (Development of a minimally invasive drug delivery system for the central nervous system using liposomes) 主査：教授 田中 真樹
	みづかわ りゅうたろう 古川 龍太郎	ERCP後膵炎におけるIL-6アンプ活性化および炎症制御機構に関する研究 (Study on the mechanism of IL-6 amplifier activation and inflammation control in post-ERCP pancreatitis) 主査：教授 氏家 英之
	ふるみ どう じゅん 古御堂 純	前立腺がん悪性化に関わるBiglycanの役割に関する研究 (Studies on the role of Biglycan in prostate cancer progression) 主査：教授 渡利 英道
	ほそかわ よしあき 細川 吉暁	¹⁷ O標識水を水トレーサーとして用いたMRIによる関節軟骨の新たな質的評価法の確立 (Establishment of a new qualitative evaluation method for articular cartilage by MRI using a ¹⁷ O labeled water as a water tracer) 主査：教授 藤山 文乃
	ほりかわ めい 堀川 芽衣	がん細胞が腫瘍微小環境に与える影響とそのメカニズムの解明 (Studies on the effect of cancer cells on the tumor microenvironment and its mechanisms) 主査：教授 近藤 亨
博士（医学）	ま い ようすけ 真井 洋輔	Dipeptidyl peptidase-IV阻害薬関連水疱性類天疱瘡の自己抗体プロファイル解析及びマウスにおける抗BP180自然自己抗体の発見 (Autoantibody profiling in dipeptidyl peptidase-IV inhibitor-associated bullous pemphigoid and detection of anti-BP180 natural autoantibody in mice) 主査：教授 石田 晋
	まつまえ げん 松前 元	チミジンホスホリラーゼが人工関節術後無菌性緩みの局所骨溶解に及ぼす影響に関する研究 (Study on thymidine phosphorylase as a potential therapy for bone loss associated with periprosthetic osteolysis) 主査：准教授 外丸 詩野

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	みうら たかひろ 三浦 隆洋	ラットを用いた顔面神経麻痺モデルにおける新たな評価法の確立に向けた研究 ～BASS: The Black light Assisted Scoring System～ (Studies on a novel method for the assessment of facial palsy in a rat model: the black light-assisted scoring system) 主査：教授 矢部 一郎
	やまうち ゆう き 山内 裕貴	SGLT2阻害薬による膵β細胞保護作用の機序の解明 (Elucidation of the mechanism underlying the preservation of pancreatic beta-cell mass and function by sodium glucose co-transporter 2 inhibitor) 主査：教授 本間 明宏
	やま だ れん 山田 錬	腎臓移植後のB型肝炎ウイルス再活性化の検討 (Investigation of hepatitis B virus reactivation in kidney transplant patients) 主査：教授 武富 紹信
	よこやま しょうた 横山 翔大	次世代シーケンシングを用いた急性骨髄性白血病におけるFLT3-ITD変異の解析 (Next-generation sequencing based analysis of the FLT3-ITD mutation in acute myeloid leukemia) 主査：教授 佐藤 典宏
	よしかわ まさと 吉川 仁人	MRI定量的磁化率マッピングによる肝硬変および肝線維化進行度の評価 (Evaluation of liver cirrhosis and liver fibrosis using quantitative susceptibility mapping of MRI) 主査：教授 谷口 浩二
	よし だ ゆういち 吉田 祐一	肝がん患者における肝内および末梢血NK細胞のマサイトメトリーを用いた表現型に関する研究 (Study on Phenotypic Characterization by Single-Cell Mass Cytometry of Human Intrahepatic and Peripheral NK Cells in Patients with Hepatocellular Carcinoma) 主査：教授 清野 研一郎
	かめ だ れいな 亀田 玲奈	高血圧症合併2型糖尿病患者におけるDPP4阻害薬からSGLT2阻害薬ルセオグリフロジンへの切り替えによる夜間血圧・脈拍への影響 (Effect of Switching from DPP-4 Inhibitor to SGLT2 Inhibitor Luseogliflozin on Nighttime Blood Pressure and Pulse Rate in Patients with Type 2 Diabetes and Hypertension) 主査：教授 安斉 俊久
博士（歯学）	さかもと ようへい 坂本 洋平	Studies on transmission dynamics of viral infectious disease by using mathematical model (数理モデルを用いたウイルス感染症の感染動態に関する研究) 主査：教授 渥美 達也
	きむら いっせい 木村 一誠	睡眠時ブラキシズム患者の臨床所見-顎関節症患者および睡眠時無呼吸症候群患者との比較- 主査：教授 山口 泰彦
	さわ だ むさし 澤田 武蔵	歯科治療時に麻酔管理の併用が必要な障害者の口腔管理に関する研究 主査：教授 八若 保孝
	ジョ イ コン 徐 易 坤	Single-walled carbon nanotube membrane accelerates active osteogenesis in the bone defect. -the possibility for guided bone regeneration membrane- (単層カーボンナノチューブを用いた骨誘導再生膜の開発と骨再生能の評価) 主査：教授 横山 敦郎
	えんどう りょうしゅん 遠藤 諒俊	Development of novel drug-releasing glass ionomer cements using nanoporous silica (ナノ多孔質シリカを用いた新規薬剤放出性グラスアイオノマーセメントの開発) 主査：教授 吉田 靖弘
	く ぼ た けいすけ 久保田 恵亮	Histochemical examination of peri-implant bone induced by a combination material of phosphorylated pullulan and beta-tricalcium phosphate in a rat bone defect model (ラット骨欠損モデルを用いたリン酸化プルラン/βTCP複合材料によるインプラント周囲骨の組織化学的検索) 主査：教授 網塚 憲生
	こだま あす か 古玉 明日香	全部床義歯の人工歯材料が口腔関連QOLに与える影響の検討：非盲検ランダム化比較試験 主査：教授 横山 敦郎

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（歯学）	たかはし そうた 高橋 奏多	咀嚼筋筋電図による咬合力推定システムの構築に関する検討 主査：教授 山口 泰彦
	たかはし めばえ 高橋 萌	シングルチャンネル筋電図検査による睡眠時ブラキシズム評価に適した解析区間に関する研究 主査：教授 山口 泰彦
	ぬまもと しんいちろう 沼本 真一郎	<i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> におけるマイクロパターンの表面性状が骨系細胞に与える影響について 主査：教授 横山 敦郎
	まるおか はるひ 丸岡 春日	Histochemical distribution of α SMA immunoreactive cells in the periodontal ligament during tooth eruption and extrusion of first molars in murine maxillae (マウス上顎第一臼歯の萌出および挺出時における歯根膜 α SMA陽性細胞の組織化学的分布について) 主査：教授 網塚 憲生
	くどう あい 工藤 愛	睡眠時ブラキシズムの臨床診断を受けた患者における睡眠時咬筋筋電図波形振幅と波形数の度数分布 主査：教授 山口 泰彦
	アラム アレフィン Alam Arefin	Cause-effect relationship of varying bonding thicknesses in dentine adhesion of universal adhesives (ユニバーサル接着材の象牙質接着における接着厚さの変化が及ぼす因果関係) 主査：教授 佐野 英彦
	うちざわ えいさく 内沢 英作	根管の直径と数が高周波電流の焼灼効果に及ぼす影響 主査：教授 菅谷 勉
	おくま ひでとし 小熊 英敏	カルボキシ基を含む接着性分子の臨床応用へ向けた基礎的研究 主査：教授 井上 哲
	しらは せ りゅういち 白波瀬 龍一	The relationship between oral hypofunction and sarcopenia in patient with no dental complaint: A cross-sectional study (歯科的主訴の無い患者における口腔機能低下症とサルコペニアの関連：横断研究) 主査：教授 山崎 裕
	すずき かずや 鈴木 一矢	次亜塩素酸ナトリウム処理時間が4-META/MMA-TBBレジンセメント接着に及ぼす影響とCPN及びアクセル処理併用時の影響 主査：教授 佐野 英彦
	すなかわ ゆうすけ 砂川 裕亮	Relationship between weight loss and regular dental management for older individuals residing in long-term care insurance facilities: 1-Year multicenter longitudinal study (介護保険施設入所者への定期的歯科管理と体重減少との関連：1年間の多施設縦断研究) 主査：教授 山崎 裕
	ただ えいいちろう 多田 瑛一朗	難治性根尖性歯周炎に対する高周波電流の有効性に関する後ろ向き観察研究 主査：教授 菅谷 勉
	チョウ ホン ボ 張 洪 波	Antibacterial potential of colloidal platinum nanoparticles against <i>Streptococcus mutans</i> (ストレプトコッカスミュータンスに対する白金ナノコロイドの抗菌性) 主査：教授 佐野 英彦
	ひらた こういちろう 平田 広一郎	ボレート/スルホン酸基含有ポリマー系新規重合開始剤を応用したMMA接着性レジンセメントの開発 主査：教授 吉田 靖弘
	みうら かずひと 三浦 和仁	地域在住高齢者におけるCOVID-19関連ストレスおよび運動習慣の欠如と口腔関連QOLの関連 主査：教授 山崎 裕
	やました こうじ 山下 航司	新規微小引張試験法開発への予備的検討 主査：教授 佐野 英彦
	リョウ ウン チン 劉 雲 青	Functional Study of Pyk2-related signaling for developing novel bone anabolic drugs (骨形成促進薬の新規開発に向けたPyk2シグナルの機能解析) 主査：教授 飯村 忠浩
	あらい えり 新井 絵理	後期高齢者におけるオーラルフレイルと医療費との関連 主査：教授 山崎 裕

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（歯学）	かわい だいし 河合 大史	接着性シーラーを用いた根管充填が垂直歯根破折の抵抗性に及ぼす効果 主査：教授 菅谷 勉
	すずき かい 鈴木 魁	メタクリル酸エステル系接着性シーラーの封鎖性と生体親和性に及ぼす水の影響 主査：教授 菅谷 勉
	はまもと あさこ 浜本 朝子	金銀ナノクラスター／ローズベンガル含有キトサンナノゲル複合体の創製と抗菌性の評価 主査：教授 菅谷 勉
	もり あつし 森 厚志	高周波電流による歯髄の焼灼 主査：教授 菅谷 勉
	もりもと やすひと 森本 康仁	Histochemical and ultrastructural assessment of bone regeneration induced by a combination of β TCP and phosphorylated pullulan grafted in rat tibial bone defects （ラット脛骨骨欠損に埋入した β TCPとリン酸化プルランのコンビネーションマテリアルによる骨再生の組織化学的・微細構造的検索） 主査：教授 網塚 憲生
	やまだ けいた 山田 慧太	高周波電流の周波数が骨形成に及ぼす影響 主査：教授 菅谷 勉
	よしの ゆうと 吉野 友都	β -TCP配合ヒトI型コラーゲン様リコンビナントペプチドスキャフォールドの歯周組織再生効果－イヌ3壁性骨欠損モデルにおける検討－ 主査：教授 菅谷 勉
	さとう たかのり 佐藤 孝紀	A quantitative analysis of bone lamellarity and bone collagen linearity induced by distinct dosing and frequencies of teriparatide administration in ovariectomized rats and monkeys （卵巣摘出ラットおよびサルにおけるテリパラチドの投与量および投与頻度の違いにより生じる、骨の層板構造および骨コラーゲンの直線性の変化の定量的解析） 主査：教授 飯村 忠浩
	つみた たくや 積田 卓也	酸化LDL受容体LOX-1シグナルを介した腫瘍血管内皮細胞による好中球遊走促進とがん転移誘導 主査：教授 樋田 京子
	ながもと かなこ 長本 香菜子	リン酸化プルランを用いた新しいインプラント表面改質の検討 主査：教授 田村 正人
	にいやま たかし 新山 宗	口腔扁平上皮癌における高内皮細静脈と臨床的因子との関連 主査：教授 樋田 京子
博士（獣医学）	ふじた なおまさ 藤田 尚正	RNA-sequencing を用いた骨細胞におけるメカニカルストレス応答機構の解析 主査：教授 田村 正人
	はっとり みちひろ 服部 倫寛	顎関節変性疾患におけるバイオマーカーに関する研究 主査：教授 北川 善政
	アリス ラオ Alice Lau チン チン Ching Ching	Molecular survey of tick microbiome and tick-borne pathogens in ixodid ticks and rodents collected in Sarawak, Malaysian Borneo （マレーシアボルネオ島サラワク州におけるマダニ微生物叢ならびにマダニおよびネズミ類でのマダニ媒介性病原体の分子調査） 主査：教授 石塚 真由美
	こじま かずき 小島 一輝	犬におけるイソフルラン麻酔下でのノルアドレナリンを用いた循環管理に関する実験的研究 （An Experimental Study on Cardiovascular Management with Noradrenaline under Isoflurane Anesthesia in Dogs） 主査：教授 乙黒 兼一
	サイ シ ホウ CAI Zimeng	Study on the regulation of CD8 ⁺ T cell immune response through nuclear receptor ROR α and REV-ERB （核内受容体ROR α およびREV-ERBを介したCD8 ⁺ T細胞免疫応答の制御に関する研究） 主査：教授 稲波 修
	ソン SUNG クワンヨン Koangyong	A study on radio-resistance mechanism of cancer stem-like cells using a property of low proteasome activity in canine tumor cell lines （犬腫細胞株におけるプロテアソーム活性を用いて分離したがん幹細胞の放射線耐性機序に関する基礎的研究） 主査：教授 木村 享史

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（獣医学）	たかえす のぼる 高江洲 昇	The studies on establishment of artificial insemination protocol in the Japanese macaque (ニホンザルにおける人工授精プロトコル確立に向けた研究) 主査：教授 坪田 敏男
博士（医理工学）	く が ゆうま 久我 悠馬	BaTiO ₃ 誘電体を用いた新たな線量測定システムの開発 (Development of a novel dose measurement system using BaTiO ₃ dielectric) 主査：教授 石川 正純
	シ ラ ジャン パ SIRA JAMPA- ン グ NGERN	Study on Quick Prediction of Dose Volume Statistics in Proton Beam Therapy using Deep Learning (深層学習を用いた陽子線治療における線量体積統計量の迅速予測に関する研究) 主査：教授 白土 博樹
	た 村 ひろし 田村 弘詞	前立腺癌に対する強度変調陽子線治療における適応放射線治療に関する研究 (Studies of adaptive radiotherapy in intensity-modulated proton therapy for prostate cancer) 主査：教授 白土 博樹
	ば ば けんたろう 馬場 健太郎	Geant4-DNAを用いた水放射線分解生成種の定量評価 (Quantitative estimation of G-value of water radiolysis species using Geant4-DNA) 主査：教授 石川 正純
	にしおか そういちろう 西岡 蒼一郎	膠芽腫の放射線抵抗性における低分子量GTPase Rabの役割に関する研究 (Studies on the roles of small GTPase Rab in the radioresistance of glioblastoma) 主査：准教授 小野寺 康仁
	リ シンナン 李 忻南	Exploring the brain's microstructure by using diffusion spectrum imaging and double diffusion encoding magnetic resonance imaging (拡散スペクトラムイメージングとダブル拡散エンコーディング磁気共鳴画像を用いた脳の微細構造の評価) 主査：准教授 タ キンキン
博士（感染症学）	お が た しょうへい 小方 昌平	Studies on genetic diversity and transmission dynamics of <i>Spiroplasma</i> in ixodid ticks (マダニにおける <i>Spiroplasma</i> の遺伝的多様性と伝播動態に関する研究) 主査：教授 莉和 宏明
博士（獣医学）	ガン バ ー タ ル GANBAATAR オ ト ゴ ン ツ ヤ Otgontuya	Studies on programmed death-ligand 1 in equine and swine diseases (ウマおよびブタ疾病におけるPD-L1に関する研究) 主査：教授 迫田 義博
博士（感染症学）	シ ャ ヲ SHAWA ミ シ ャ ッ ク Misheck	Genetic analysis of extended-spectrum β -lactamase-producing <i>Enterobacteriaceae</i> from humans and poultry in Zambia. (ザンビアのヒトおよび家禽から分離された基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ産生腸内細菌の遺伝学的解析) 主査：教授 鈴木 定彦
	ゾ リ グ ト ZORIGT ト ッ プ シ ン ザ ヤ ー Tuvshinzaya	Serological and spatio-temporal analysis of anthrax in Mongolia (モンゴルにおける炭疽の血清学的解析と時空間分析) 主査：教授 鈴木 定彦
	チ ジ ム CHIZIMU ヤ ム ウ エ カ Yamweka ジョ セ フ Joseph	Molecular epidemiological study of multidrug-resistant <i>Mycobacterium tuberculosis</i> in Lusaka, Zambia (ザンビア、ルサカ市における多剤耐性結核の分子疫学的研究) 主査：教授 中島 千絵
博士（獣医学）	チ ャ タ ン ガ CHATANGA エ リ ー シ ャ Elisha	Molecular detection and characterization of tick-borne pathogens of domestic animals in Malawi (マラウイの家畜におけるマダニ媒介性病原体の分子学的解析) 主査：教授 大橋 和彦
博士（感染症学）	チ ャ ン バ ロ CHAMBARO ヘ ル マ ン モ ー ゼ ス Herman Moses	Molecular Characterization and Serological Epidemiology of Viral Diseases of Humans and Animals in Zambia (ザンビアにおけるウイルス感染症の血清疫学および分子疫学解析) 主査：教授 迫田 義博

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（獣医学）	ふじさわ 藤澤 宗太郎	Studies on modulation of immune responses by poultry red mite, <i>Dermanyssus gallinae</i> , and development of the novel control strategies (ワクモによる宿主免疫応答の調節と新規制御法の開発に関する研究) 主査：教授 野中 成晃
博士（感染症学）	ブワリヤ BWALYA プリシャス Precious	Streptomycin and ethambutol resistance associated mutations of multidrug-resistant <i>Mycobacterium tuberculosis</i> clinical isolates in Lusaka, Zambia (ザンビアで分離された多剤耐性結核菌におけるストレプトマイシンおよびエタンブトール耐性関連遺伝子変異の特徴) 主査：教授 東 秀明
	ボンフェイス ロンベ Boniface Lombe ボンゴンボ PONGOMBO	Study on serological diagnostic assays for Crimean-Congo hemorrhagic fever (クリミア・コンゴ出血熱の血清診断法に関する研究) 主査：教授 迫田 義博
	ムトウシンハ MUTHUSINGHE ブンギリイェ Bungiriye デヴィンダ Devinda シャミーラ Shameera	Studies on rodent-borne zoonotic diseases circulating among small mammals and humans in urban and rural settings in Sri Lanka: hantavirus infection and leptospirosis (スリランカ都市部および農村部で小型哺乳類とヒトの間で循環しているげっ歯類媒介性人獣共通感染症に関する研究：ハantaウイルス感染症とレプトスピラ症) 主査：教授 荻和 宏明
	ムワンガラ Mwangala ロナー Lonah アカペルワ AKAPELWA	Molecular characterization of <i>Mycobacterium avium</i> clinical isolates from Japan and development of diagnostic tools. (日本の臨床分離トリ型結核菌株の遺伝子解析と診断法開発) 主査：教授 中島 千絵
博士（獣医学）	リトラング キエン LE Trung Kien	Study on the control of high pathogenicity and low pathogenicity avian influenza in Vietnam (ベトナムにおける高病原性および低病原性鳥インフルエンザの制御に関する研究) 主査：教授 高田 礼人
	わたり 渡 けい 慧	Studies on the immunotherapy targeting immune checkpoint molecule CTLA-4 in veterinary medicine (獣医療におけるCTLA-4を標的とした免疫療法に関する研究) 主査：教授 鈴木 定彦
博士（文学）	たけうち こうすけ 竹内 洪介	太閤記物の研究－権力と文学の関わりに注目して－ 主査：教授 富田 康之
博士（学術）	チン ユワイ 陳 由瑋	アイヌ文化とアイヌ文化財制度の研究－台湾先住民族文化財との事例比較－ 主査：准教授 落合 研一
博士（文学）	まえだ りょうたろう 間枝 遼太郎	諏訪明神縁起の研究－諏訪信仰の神話世界－ 主査：教授 金沢 英之
	むらい りょう 村井 涼	Proof-Theoretic Study of Distributed Knowledge (分散知識の証明論的研究) 主査：准教授 佐野 勝彦
	よしだ たくや 吉田 拓矢	日本古代における暦法の研究 主査：准教授 小倉 真紀子
博士（人間科学）	まえざわ ともき 前澤 知輝	Processing Symmetry and Commonalities between Visual and Auditory Working Memory during Spatial Updating (空間表象更新における視聴覚作業記憶の共通性と対称性) 主査：教授 河原 純一郎
	よこやま みき 横山 実紀	NIMBY問題における段階的合意形成過程の検討：決定プロセスの公正さに関する実証研究 主査：教授 大沼 進
	リ 李 キニウ 弓	EFFECTS OF OPEN CAPTION TELOP COLOR ON NEWS VALUE PERCEPTION IN THE SPECIFIC CONTEXT (OCTの色彩が特定の文脈におけるニュース・バリューの認知に及ぼす影響) 主査：教授 川端 康弘

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（人間科学）	リー ブン 李 文ショウ	HOW DOES SOCIAL ECOLOGY SHAPE PEOPLE'S TENDENCY TO CONCEAL PROSOCIAL BEHAVIORS? THE ROLE OF RELATIONAL MOBILITY (社会生態はどのように向社会的行動の秘匿傾向を形成するのか？関係流動性の役割に関する検討) 主査：教授 結城 雅樹
	しろうづ だいこ 白水 大吾	理念なき絶対観念論－F. H. Bradleyの形而上学についての試論－ 主査：教授 藏田 伸雄
博士（文学）	ソ ユアン 蘇 有安	Proof-Theoretic Study of Epistemic Logic from an Intuitionistic Viewpoint (直観主義的観点からの認識論理の証明論的研究) 主査：准教授 佐野 勝彦
	やす だ まさる 安田 将	キケロの政治哲学とその認識論的基礎 主査：准教授 近藤 智彦
	た な か ゆ み 田中 佑実	フィンランドの樹木とともに生きる世界－死者のカルシッコに見る「エラマ」の物語－ 主査：教授 小田 博志
	ふくしま れい か 福島 令佳	自然栽培が織りなすケアの場：農福連携を行う生活介護・就労継続支援B型事業所のエスノグラフィ－ 主査：教授 小田 博志
	キン ハクダン 金 博男	明清時代の時間意識 主査：特任教授 武田 雅哉
	ゴ 呉 シュウケン 呉 秀娟	「殺狗勸夫」物語の研究－中国戯曲における犬文化から 主査：特任教授 武田 雅哉
	マ チョウジョウ 馬 長城	日本語と中国語の対照から見たアイヌ語の時間表現－中国語の「過」とアイヌ語の「a」を中心として－ 主査：教授 佐藤 知己
	きんじょう たくじ 金城 卓司	q-一般化割引モデルによる異時点間選択およびリスク下の選択における非整合性の検討 主査：教授 高橋 伸幸
博士（情報科学）	かなもり けん たろう 金森 憲太朗	Studies on Explainable Machine Learning Based on Integer Linear Optimization (整数計画法に基づく説明可能な機械学習) 主査：教授 有村 博紀
	はたもと こうへい 幡本 昂平	A Study on Provider Support with Value Inference in Service Design (サービス設計における価値の推定を用いた提供者支援に関する研究) 主査：教授 川村 秀憲
博士（工学）	と ぐ ち まさちか 渡久地 政周	Photo-electrochemical Etching of Nitride Semiconductors for Electron Device Application (窒化物半導体に対する光電気化学エッチングと電子デバイス応用) 主査：教授 本久 順一
	ヨウ キ 楊 倩	Solid-State Electrochemical Protonation / Redox reaction induced Control of Physical Properties of SrCoO _x and SrFeO _x (固体電気化学的プロトン化/酸化還元反応によるSrCoO _x およびSrFeO _x の物理的性質の制御) 主査：教授 葛西 誠也
	なかおか りり こ 中岡 梨々子	電子常磁性共鳴分光装置の高感度化と固形腫瘍pHイメージングへの応用 主査：教授 平田 拓
	オウ イツシュウ 王 一州	A Study on Design of heterogeneous step-index single-mode multi-core fibers with the standard cladding diameter of 125-μm (標準クラッド外径異種ステップインデックス型シングルモードマルチコアファイバの設計に関する研究) 主査：教授 齊藤 晋聖
	か せ ゆうや 加瀬 裕也	深層学習を用いた電波の到来方向推定 主査：教授 大鐘 武雄
	さわ だ ゆうすけ 澤田 祐甫	波面整合法設計モード制御デバイスに関する研究 主査：教授 齊藤 晋聖

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（工学）	せきぐち てつや 関口 徹也	多重反射環境の電波伝搬損失特性評価に関する研究 主査：准教授 山本 学
博士（情報科学）	ホー Hor Mangseang	A Study on Gain Enhancement of Leaf-Shaped Bowtie Slot Antenna for Use in Quasi-Millimeter Wave Frequency Band (準ミリ波帯に向けた葉状ボウタイスロットアンテナの高利得化に関する研究) 主査：准教授 山本 学
	おおとも よしつぐ 大友 佳嗣	電気機器の3次元トポロジー最適化および解析に関する研究 主査：教授 五十嵐 一
博士（工学）	こだか わたる 小高 渉	高周波出力マトリックスコンバータを用いた絶縁型AC-DC変換器に関する研究 主査：教授 小笠原 悟司
	デン エイ 田 穎	Absent Colors and their Application to Image Matching (非顕在性色特徴とその画像照合への応用) 主査：教授 田中 孝之
博士（情報科学）	ハオ セイ 郝 晟	Vibration Control for Nonlinear Mechanical Systems with Relative Information (非線形メカニカルシステムに対する相対情報を用いた制振制御) 主査：教授 山下 裕
	すずき けんじ 鈴木 健司	ユーザ体験を小規模で短期間に検証し改善するマイクロUX法に関する研究 主査：准教授 坂本 大介
	なかむら けいすけ 中村 圭佑	プラズモン誘起電荷分離を用いた全固体光電変換デバイスに関する研究 主査：特任教授 三澤 弘明
	にしだ かずひろ 西田 和弘	後方散乱光空間分解計測を用いた高精度な生体内層状吸収分布再構成アルゴリズムの開発と二次元イメージングへの応用 主査：准教授 工藤 信樹
	かわかみ けん 川上 健	光電容積脈波による血流の流量と抵抗指標に基づく血圧の推定に関する研究 主査：教授 長谷山 美紀
博士（工学）	すずき たかひろ 鈴木 高礼	電動圧縮機向け永久磁石同期モータ駆動システムにおける高効率駆動制御に関する研究 主査：教授 小笠原 悟司
	たかはし ともひろ 高橋 朋平	EV・HEV向けフェライト磁石アキシシャルギャップモータの高出力密度化に関する研究 主査：教授 小笠原 悟司
博士（情報科学）	リュウ タクエキ 劉 倬驛	Wind speed and wind power forecasting system based on data decomposition and deep learning neural network (データ分解と深層学習ニューラルネットワークに基づく風速・風力発電出力予測システム) 主査：准教授 原 亮一
博士（食資源学）	ウオン ブーヤー 翁 子雅	Assessment of drought tolerance in <i>Miscanthus</i> spp. and <i>Saccharum</i> x <i>Miscanthus</i> intergeneric hybrids (miscanes) (ススキ属およびサトウキビ x ススキ属間雑種（ミスケーン）の耐乾性評価) 主査：教授 山田 敏彦
	おおはし けいすけ 大橋 慧介	Discovery and functional characterization of multiple hemicellulose-responsive transcriptional regulators in the cellulolytic <i>Streptomyces</i> sp. SirexAA-E. (セルロース分解性放線菌における、ヘミセルロース資化関連遺伝子の転写調節因子の探索および機能解析) 主査：准教授 高須賀 太一
	ヒューン ティ HUYNH Thi Kim Uyen	The impact of natural disaster on households' decision in Vietnam -Analysis of food consumption and migration decision- (ベトナムにおける自然災害が世帯の意思決定に与える影響 ―食料消費と労働移動に関する分析―) 主査：教授 井上 京
	よこち みのも 横地 稜	Studies on subsidence-related issues under paddy land use in boreal peatlands (水田利用のなされた泥炭地の地盤沈下に伴う諸課題に関する研究) 主査：教授 井上 京

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（食資源学）	リ 李 爽	Development of Absorbents for Removal of Pollutants from Hydrosphere (水圏からの汚染物質除去のための吸着材料の開発) 主査：准教授 川口 俊一

論文博士

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（環境科学）	なが の ひろのり 長野 宏則	イネ科植物におけるシークエンス情報からみた自然変異と作物育種への利用 (Natural variations from sequence information in the family Poaceae, and their utilization for crop breeding) 主査：教授 星野 洋一郎
博士（農学）	はまむら としふみ 濱村 寿史	土地利用型酪農におけるTMRセンターの機能に関する研究 主査：教授 東山 寛
	しらishi とむひろ 白石 知弘	衛星リモートセンシングを利用した土地利用変化および森林火災による二酸化炭素放出量の推定手法の開発 主査：教授 平野 高司
博士（生命科学）	おおやま ひろし 大山 洋	Study on stiffness of culture substrate for astrocytic differentiation of mouse embryonic neural stem cells (胎生期マウス神経幹細胞のアストロサイト分化に作用する培養基盤の硬さに関する研究) 主査：教授 芳賀 永
	まき ゆうこ 真木 祐子	Studies on Plant Root-promoting Activity for 3-Phenyllactic Acid Identified from Bokashi Fertilizer (ぼかし肥料より同定された3-フェニル乳酸の植物発根促進活性の機能解析) 主査：教授 山口 淳二
博士（医学）	なかはし すずむ 中橋 奨	機械的陽圧換気（人工呼吸）に関連する呼吸器有害事象の防止に関する研究 (Studies on the prevention measures against mechanical-ventilation-associated adverse consequences) 主査：教授 生駒 一憲
	ふくだ あつし 福田 篤	後天性中耳真珠腫に対する診断および治療戦略とNotchシグナルに関する研究 (Studies on diagnostic and therapeutic strategies and Notch signaling in acquired middle ear cholesteatoma) 主査：教授 矢部 一郎

■表敬訪問

海外

年月日	来 訪 者	来 訪 目 的
4.3.29	英領バージン諸島香港オフィス Ricardo Wheatley ディレクター	今後の交流に関する懇談（オンライン）



Ricardo Wheatley 英領バージン諸島香港オフィスディレクター（左）

（国際部国際連携課）

■人事

令和4年3月30日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【役員】 （転出） 文部科学省大臣官房付	村 田 善 則	理事

令和4年3月31日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【教授】 （定年）	吉 田 邦 彦	大学院法学研究科教授
	尾 島 孝 男	大学院水産科学研究院教授
	関 秀 司	大学院水産科学研究院教授
	鈴 木 仁	大学院地球環境科学研究院教授
	神 保 秀 一	大学院理学研究院教授
	中 川 光 弘	大学院理学研究院教授
	日 置 幸 介	大学院理学研究院教授
	堀 口 健 雄	大学院理学研究院教授
	松 島 俊 也	大学院理学研究院教授
	山 下 博	大学院理学研究院教授
	山 下 正 兼	大学院理学研究院教授
	秋 元 信 一	大学院農学研究院教授
	木 村 淳 夫	大学院農学研究院教授
	小 林 泰 男	大学院農学研究院教授
	鮫 島 良 次	大学院農学研究院教授
	金 城 政 孝	大学院先端生命科学研究院教授
	姚 関	大学院先端生命科学研究院教授
	浅 川 和 幸	大学院教育学研究院教授
	伊 藤 直 哉	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	江 口 豊	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	寺 田 龍 男	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	山 田 義 裕	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	渡 邊 浩 平	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	浅 賀 忠 義	大学院保健科学研究院教授
	佐 藤 洋 子	大学院保健科学研究院教授
	小 川 英 之	大学院工学研究院教授
	郷 原 一 壽	大学院工学研究院教授
	丹 田 聡	大学院工学研究院教授
	WRIGHT OLIVER BERNARD	大学院工学研究院教授
	園 信太郎	大学院経済学研究院教授
	長谷川 光	大学院経済学研究院教授
	米 山 祐 司	大学院経済学研究院教授
	佐 邊 壽 孝	大学院医学研究院教授
	田 村 正 人	大学院歯学研究院教授
	藤 澤 俊 明	大学院歯学研究院教授
	安居院 高 志	大学院獣医学研究院教授
	大 西 郁 夫	大学院文学研究院教授
	清 水 誠	大学院文学研究院教授
	荒 木 健 治	大学院情報科学研究院教授
	小笠原 悟 司	大学院情報科学研究院教授
	宮 脇 淳	大学院公共政策学連携研究部教授

(辞職)	秋 田 弘 俊	北海道大学病院教授
	生 駒 一 憲	北海道大学病院教授
	香 内 晃	低温科学研究所教授
	大 谷 文 章	触媒科学研究所教授
	西 田 まゆみ	触媒科学研究所教授
	水 田 正 弘	情報基盤センター教授
	佐 藤 冬 樹	北方生物圏フィールド科学センター教授
	山 田 敏 彦	北方生物圏フィールド科学センター教授
	細 川 敏 幸	高等教育推進機構教授
	西 茹	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	清 水 賢一郎	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	藤 井 義 明	大学院工学研究院教授
	韓 載 香	大学院経済学研究院教授
	大 橋 和 彦	大学院獣医学研究院教授
【准教授】 (定年)	中 山 隆 一	大学院理学研究院准教授
	松 山 秀 生	大学院理学研究院准教授
	FORTUNATO MARTOS MARIA HELENA	大学院理学研究院准教授
	政 氏 伸 夫	大学院保健科学研究院准教授
	恵良田 知 樹	大学院工学研究院准教授
	及 川 俊 一	大学院工学研究院准教授
	樋 口 幹 雄	大学院工学研究院准教授
	岩 永 ひろみ	大学院医学研究院准教授
	石 川 誠	北海道大学病院准教授
	GAUTAM PITAMBAR	創成研究機構准教授
【講師】 (定年)	高牟禮 逸 朗	大学院農学研究院講師
【助教】 (定年)	本 郷 博 久	大学院歯学研究院助教
	藤 本 純 子	大学院文学研究院助教
	山 口 博 雄	北海道大学病院助教
【部長等】 (定年)	大 道 元	企画調整役（兼）監事支援室長
	河 野 孝 紀	総務企画部長
	長谷川 康 弘	研究推進部長
	佐 藤 浩 司	医学系事務部長
【課長・事務長】 (定年)	根 本 恒 秀	総務企画部情報企画課長
	八 卷 雅 彦	薬学事務部事務長
	岩 松 正 一	医学系事務部会計課長
	佐 藤 陽 一	医学系事務部保健科学研究院事務課長
	井 上 直 樹	獣医学系事務部事務長
	池 田 徹	文学事務部事務長
	三 浦 順 一	北海道大学病院経営企画課長
	石 井 進	北海道大学病院管理課長
【課長補佐】 (定年)	渡 辺 修	総務企画部人事課課長補佐
	浪 塚 良 平	理学・生命科学事務部事務課課長補佐
	高 瀬 吉 晴	北海道大学病院医事課課長補佐
【係長】 (定年)	斎 藤 由美子	農学・食資源学事務部係長

	浅 野 美 穂	北海道大学病院医事課係長
【主任】 (定年)	吉 井 洋	北海道大学病院管理課主任
【技術職員等】 (定年)	吉 岡 正 昭 森 岡 和 子 高 橋 久美子 新 岡 郁 子 石 川 薫 笠 松 美 紀 菊 池 宏 子 松 橋 正 子 三 浦 優 子 山 本 英津子 池 田 美 貴 竹 村 明 美 田 中 千代子 原 千 晴 西 田 睦 西 川 圭 吾 室 田 宏 之 榊 本 浩 志 林 忠 一	大学院歯学研究院学術専門職 大学院文学研究院U R A 北海道大学病院看護部長 北海道大学病院看護部副看護部長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院医療技術部長 北海道大学病院医療技術部歯科技工士 遺伝子病制御研究所附属動物実験施設技術専門員 北方生物圏フィールド科学センター技術専門員 北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員

令和4年4月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【役員】 理事 (副学長) (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (副学長) (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (副学長) (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (副学長) (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (副学長) (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (期間：令和6年3月31日まで) 理事 (期間：令和6年3月31日まで)	山 口 淳 二 横 田 篤 吉 見 宏 増 田 隆 夫 山 本 文 彦 菅 原 修 孝 行 松 泰 弘 梅 原 俊 志	理事 (副学長) 理事 (副学長) 理事 (副学長) 理事 (副学長) 理事 (副学長) 理事 科学技術振興機構副理事 理事
【副学長】 副学長 (期間：令和6年3月31日まで) 副学長 (期間：令和6年3月31日まで) 副学長 (期間：令和6年3月31日まで)	渥 美 達 也 弐 和 順 石 森 浩一郎	北海道大学病院教授 副学長 副学長

(期間：令和5年3月31日まで)

大学力強化推進本部特任教授

(期間：令和6年3月31日まで)

大学院先端生命科学研究院教授

(期間：令和6年3月31日まで)

一般社団法人SDGs市県

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事

(期間：令和6年3月31日まで)

大学院教育学研究院教授

大学院保健科学研究院長 大学院保健科学院長 (期間：令和6年3月31日まで)	伊 達 広 行	大学院保健科学研究院教授
大学院総合化学院長 (期間：令和6年3月31日まで)	佐 田 和 己	大学院理学研究院教授
大学院経済学研究院長 大学院経済学院長 経済学部長 (期間：令和6年3月31日まで)	久保田 肇	大学院経済学研究院教授
大学院歯学研究院長 大学院歯学院長 歯学部長 (期間：令和6年3月31日まで)	網 塚 憲 生	大学院歯学研究院教授
大学院文学研究院長 大学院文学院長 文学部長 (期間：令和6年3月31日まで)	藤 田 健	大学院文学研究院教授
大学院情報科学研究院長 大学院情報科学院長 (期間：令和6年3月31日まで)	長谷山 美 紀	大学院情報科学研究院教授
北海道大学病院長 (期間：令和7年3月31日まで)	渥 美 達 也	北海道大学病院教授
低温科学研究所長 (期間：令和6年3月31日まで)	渡 部 直 樹	低温科学研究所教授
遺伝子病制御研究所長 (期間：令和6年3月31日まで)	村 上 正 晃	遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所長 (期間：令和6年3月31日まで)	清 水 研 一	触媒科学研究所教授
人獣共通感染症国際共同研究所長 (期間：令和5年3月31日まで)	鈴 木 定 彦	人獣共通感染症国際共同研究所教授
スラブ・ユーラシア研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	野 町 素 己	スラブ・ユーラシア研究センター教授
量子集積エレクトロニクス研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	本 久 順 一	大学院情報科学研究院教授
北方生物圏フィールド科学センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	宮 下 和 士	北方生物圏フィールド科学センター教授
アイヌ・先住民研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	加 藤 博 文	国際連携研究教育局・アイヌ・先住民研究センター教授
環境健康科学研究教育センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 内 太 郎	国際連携研究教育局・大学院保健科学研究院教授
脳科学研究教育センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	田 中 真 樹	大学院医学研究院教授
数理・データサイエンス教育研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	長谷山 美 紀	大学院情報科学研究院教授
大学文書館長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 本 文 彦	理事（副学長）
技術支援本部長 (期間：令和6年3月31日まで)	行 松 泰 弘	理事
アドミッションセンター長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 口 淳 二	理事（副学長）
創成研究機構長 (期間：令和6年3月31日まで)	増 田 隆 夫	理事（副学長）
高等教育推進機構長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 口 淳 二	理事（副学長）

安全衛生本部長 (期間：令和6年3月31日まで)	菅 原 修 孝	理事
産学・地域協働推進機構長 (期間：令和6年3月31日まで)	増 田 隆 夫	理事（副学長）
総合IR室長 (期間：令和6年3月31日まで)	長谷山 美 紀	副学長
国際連携機構長 (期間：令和6年3月31日まで)	横 田 篤	理事（副学長）
アイヌ共生推進本部長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 本 文 彦	理事（副学長）
大学院教育推進機構長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 本 文 彦	理事（副学長）
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 口 淳 二	理事（副学長）
大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター長 (期間：令和5年3月31日まで)	辻 康 夫	国際連携研究教育局・大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授
大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	青 山 裕	大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授
大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	木 村 真 明	大学院理学研究院教授
大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター長 (期間：令和5年3月31日まで)	松 本 伊智朗	大学院教育学研究院教授
薬学部附属薬用植物園長 (期間：令和6年3月31日まで)	脇 本 敏 幸	国際連携研究教育局・大学院薬学研究院教授
水産学部附属練習船おしよろ丸船長 (期間：令和6年3月31日まで)	亀 井 佳 彦	水産学部附属練習船おしよろ丸准教授
低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	西 岡 純	低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター教授
遺伝子病制御研究所附属動物実験施設長 (期間：令和6年3月31日まで)	清 野 研一郎	遺伝子病制御研究所教授
遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	園 下 将 大	国際連携研究教育局・遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所附属触媒連携研究センター長 (期間：令和6年3月31日まで)	中 野 環	触媒科学研究所教授
附属図書館長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 本 文 彦	理事（副学長）
附属図書館北図書館長 (期間：令和6年3月31日まで)	稲 葉 睦	大学院獣医学研究院教授
【副研究科長・副研究院長等】		
大学院法学研究科副研究科長 (期間：令和6年3月31日まで)	曾 野 裕 夫	大学院法学研究科教授
大学院水産科学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	綿 貫 豊	大学院水産科学研究院教授
大学院水産科学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	細 川 雅 史	大学院水産科学研究院教授
大学院教育学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	近 藤 健一郎	大学院教育学研究院教授
大学院保健科学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	矢 野 理 香	大学院保健科学研究院教授
大学院経済学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	久 保 淳 司	大学院経済学研究院教授
大学院歯学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	八 若 保 孝	大学院歯学研究院教授

大学院文学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	川 端 康 弘	大学院文学研究院教授
大学院文学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	加 藤 重 広	大学院文学研究院教授
大学院情報科学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	浅 井 哲 也	大学院情報科学研究院教授
大学院情報科学研究院副研究院長 (期間：令和6年3月31日まで)	近 野 敦	大学院情報科学研究院教授
北海道大学病院副病院長 (期間：令和4年11月15日まで)	本 間 明 宏	大学院医学研究院教授
北海道大学病院副病院長 (期間：令和7年3月31日まで)	平 野 聡	大学院医学研究院教授
北海道大学病院副病院長 (期間：令和7年3月31日まで)	佐 藤 嘉 晃	大学院歯学研究院教授
北海道大学病院副病院長 (期間：令和7年3月31日まで)	南須原 康 行	北海道大学病院教授
北海道大学病院副病院長 (期間：令和7年3月31日まで)	岡 林 靖 子	北海道大学病院看護部看護部長
低温科学研究所副所長 (期間：令和6年3月31日まで)	山 口 良 文	国際連携研究教育局・低温科学研究所教授
遺伝子病制御研究所副所長 (期間：令和6年3月31日まで)	茂 木 文 夫	遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所副所長 (期間：令和6年3月31日まで)	浦 口 大 輔	触媒科学研究所教授
人獣共通感染症国際共同研究所副所長 (期間：令和5年3月31日まで)	澤 洋 文	人獣共通感染症国際共同研究所教授
【教育研究評議会評議員】		
(期間：令和6年3月31日まで)	川 端 康 弘	大学院文学研究院教授
(期間：令和6年3月31日まで)	藤 森 康 澄	大学院水産科学研究院教授
(期間：令和6年3月31日まで)	近 藤 健一郎	大学院教育学研究院教授
(期間：令和6年3月31日まで)	久 保 淳 司	大学院経済学研究院教授
(期間：令和6年3月31日まで)	八 若 保 孝	大学院歯学研究院教授
【教授】		
大学院法学研究科教授	中 村 督	(採用)
大学院法学研究科教授	三 宅 新	大学院法学研究科准教授
大学院地球環境科学研究院教授	越 川 滋 行	大学院地球環境科学研究院准教授
大学院理学研究院教授	柁 原 宏	大学院理学研究院准教授
大学院理学研究院教授	木 村 敦	大学院理学研究院准教授
大学院理学研究院教授	永 木 愛一郎	京都大学准教授
大学院理学研究院教授	古 畑 仁	大学院理学研究院准教授
大学院理学研究院教授	宮 尾 忠 宏	大学院理学研究院准教授
大学院農学研究院教授	奥 山 正 幸	大学院農学研究院講師
大学院農学研究院教授	小 池 聡	大学院農学研究院准教授
大学院農学研究院教授	近 藤 則 夫	北方生物圏フィールド科学センター教授
大学院農学研究院教授	吹 谷 智	大学院農学研究院准教授
国際連携研究教育局・大学院メディア・コミュニケーション研究院教授	EDELHEIM JOHAN RICHARD	(採用)
大学院保健科学研究院教授	鷲 見 尚 己	大学院保健科学研究院准教授
大学院工学研究院教授	菊 地 隆 司	東京大学准教授
大学院工学研究院教授	北 垣 亮 馬	大学院工学研究院准教授
大学院工学研究院教授	松 田 理	大学院工学研究院准教授
大学院工学研究院教授	森 太 郎	大学院工学研究院准教授
大学院歯学研究院教授	大 廣 洋 一	大学院歯学研究院准教授
大学院獣医学研究院教授	森 松 正 美	大学院獣医学研究院准教授

大学院文学研究院教授 国際連携研究教育局・大学院文学研究院教授 大学院文学研究院教授 大学院文学研究院教授 大学院文学研究院教授 大学院文学研究院教授 大学院公共政策学連携研究部教授 大学院公共政策学連携研究部教授 大学院公共政策学連携研究部教授 北海道大学病院教授 触媒科学研究所教授 量子集積エレクトロニクス研究センター教授 北方生物圏フィールド科学センター教授 北方生物圏フィールド科学センター教授 総合博物館教授 高等教育推進機構教授 大学院教育推進機構教授 国際連携研究教育局教授 (転出) 東北大学教授 大阪大学教授 旭川工業高等専門学校校長 東京大学教授	李 連 珠 笹 岡 正 俊 竹 澤 正 哲 戸 田 聡 村 松 正 隆 LA FAY MICHELLE KAY 宇 野 二 朗 齋 藤 久 光 須 賀 宣 仁 渥 美 達 也 中 島 清 隆 石 川 史太郎 高 木 健太郎 藤 野 介 延 江 田 真 毅 FIRKOLA PETER 吉 原 拓 也 KUZNETSOV SERGEY ILYICH 正 宗 淳 吉 永 正 彦 五十嵐 敏 文 遠 藤 乾	大学院文学研究院准教授 国際連携研究教育局・大学院文学研究院准教授 大学院文学研究院准教授 大学院文学研究院准教授 大学院文学研究院准教授 大学院文学研究院准教授 (採用) 大学院経済学研究院准教授 大学院経済学研究院准教授 大学院医学研究院教授 触媒科学研究所准教授 愛媛大学准教授 北方生物圏フィールド科学センター准教授 大学院農学研究院教授 総合博物館准教授 高等教育推進機構准教授 (採用) (採用) 大学院理学研究院教授 大学院理学研究院教授 大学院工学研究院教授 大学院公共政策学連携研究部教授
【理事】 (転出) 高知大学理事・事務局長	大 淵 学	財務部長
【部長・次長】 総務企画部長 総務企画部次長(兼) 総務課長 財務部長 学務部長 研究推進部長 施設部長 社会共創部長事務取扱 医学系事務部長 (転出) 大学改革支援・学位授与機構評価事業部長(兼) 高等教育資格承認情報センター副センター長(兼) 企画室員 京都大学施設部長	奥 山 敏 之 平 松 亨 加賀谷 次 朗 平 田 公 明 原 田 直 基 濱 田 智 長谷川 康 弘 入 澤 秀 次 吉 田 勇 人 新 保 昌 人	電気通信大学総務部長 総務企画部総務課長 大学改革支援・学位授与機構大学連携・支援部長 東京大学本部次長 研究推進部研究支援課長 群馬大学施設運営部長 研究推進部長 農学・食資源学事務部事務長 学務部長 施設部長
【課長・事務長・室長】 監査室長(兼) 監事支援室長 総務企画部総務課安全衛生室長 総務企画部情報企画課長 財務部資産運用管理課長 学務部学務企画課大学院教育改革推進室長 学務部入試課長 学務部国際交流課長 研究推進部研究振興企画課長 研究推進部研究振興企画課研究公正推進室長 研究推進部研究支援課長 国際部国際企画課長 社会共創部社会連携課長 社会共創部産学連携課長	吉 田 茂 里 真理子 對 馬 秀 俊 島 谷 知 克 川 崎 直 山 本 透 菅 原 暢 廣 竹 内 佑 介 阿 部 成 剛 吉 田 年 克 佐 藤 哲 也 辻 賢 司 浅 野 智 裕	総務企画部総務課安全衛生室長 北海道大学病院総務課課長補佐 経済学事務部事務長 財務部主計課課長補佐 学務部教育推進課課長補佐 教育学事務部事務長 学務部入試課長 大分大学研究推進部研究推進課長 研究推進部研究公正推進担当課長 研究推進部産学連携課長 北陸先端科学技術大学院大学研究推進課長(兼) 研究資金戦略課長 工学系事務部経理課長 財務部資産運用管理課長

社会共創部広報課長（兼）社会共創部広報課卒業生・基金室長	菊 池 洋 美	総務企画部広報課長（兼）総務企画部広報課卒業生・基金室長
附属図書館管理課長	樋 口 秀 樹	東京大学図書館柏地区図書課長
薬学事務部事務長	奴 賀 修	学務部国際交流課長
農学・食資源学事務部事務長	鴨志田 敏 則	歯学事務部事務長
教育学事務部事務長	及 川 晃 男	北海道大学病院総務課人事労務管理室長
工学系事務部総務課長	原 田 由 美	工学系事務部総務課課長補佐
工学系事務部経理課長	松 橋 和 哉	工学系事務部総務課長
経済学事務部事務長	花 嶋 純	北海道大学病院医事課長
医学系事務部会計課長	小笠原 美 勝	財務部経理課課長補佐
獣医学系事務部事務長	羽 澤 明 文	国際部国際企画課長
文学事務部事務長	佐々木 尊	監査室長
北海道大学病院総務課長	壬 生 篤 志	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室室長補佐
北海道大学病院管理課長 （出向復帰）	八木澤 学	旭川工業高等専門学校総務課長
医学系事務部保健科学研究所事務課長	蟹 口 宏 幸	室蘭工業大学研究協力課長
歯学事務部事務長	高 橋 貴代美	旭川医科大学経営企画課長
北海道大学病院総務課人事労務管理室長	船 曳 康 徳	北海道教育大学総務企画部人事課長
北海道大学病院経営企画課長	小守林 訓	小樽商科大学会計課長
北海道大学病院医事課長 （出向）	折 田 朋 子	小樽商科大学学術情報課長
北海道教育大学総務企画部人事課長 （転出）	久 米 繁 輝	医学系事務部総務課課長補佐
文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命科学専門官	中川原 秀 樹	研究推進部研究振興企画課長
文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官 （併）生徒指導室児童虐待防止・対策専門官	井 川 恭 輔	北海道大学病院総務課長
東北大学図書館事務部総務課長	佐 藤 初 美	附属図書館管理課長
小樽商科大学事務部企画総務課長	小 島 清 志	文学事務部係長
小樽商科大学事務部管理課長	木 村 勉	獣医学系事務部係長
小樽商科大学事務部学術情報課長	高 野 直 樹	附属図書館利用支援課課長補佐
旭川医科大学会計課長	石 川 裕 司	北海道大学病院管理課係長
旭川工業高等専門学校総務課長	遠 藤 克 紀	北海道大学病院医事課係長

役員新体制紹介

令和4年4月1日現在



理事に

ゆきまつ やすひろ
行松 泰弘 氏

令和4年3月31日限りで村田善則理事が退任され、その後任として行松泰弘氏が発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

担 当

事務統括（職員人事、労務管理等）、リスク管理統括（防災、情報推進・セキュリティ管理等）、行政対応

兼務する職

技術支援本部長

略 歴

生 年 月 日 昭和41年2月
昭和63年3月 立命館大学法学部法学科卒業
昭和63年4月 科学技術庁
平成7年7月 科学技術庁原子力局技術振興課核融合開発室長補佐
平成8年7月 科学技術庁研究開発局宇宙利用課長補佐
平成9年4月 在ロシア日本国大使館二等書記官
平成12年7月 科学技術庁研究開発局ライフサイエンス課長補佐
平成13年1月 文部科学省放射線医学総合研究所企画室総括研究企画官
平成15年1月 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長
平成16年9月 文部科学省大臣官房総務課企画官
平成18年1月 文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学習活動推進室長
平成19年7月 独立行政法人科学技術振興機構理数学習支援部長
平成20年7月 （国際機関派遣）国際科学技術センター事務局次長
平成22年8月 文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課長
平成24年8月 北海道大学大学院工学研究院教授
平成26年6月 文部科学省研究振興局基礎研究振興課長
平成28年1月 内閣府宇宙戦略室参事官
平成30年1月 内閣府宇宙開発戦略推進事務局審議官
令和2年8月 文部科学省大臣官房サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官
令和3年7月 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事



副学長・北海道大学病院長に

あつ み たつ や
渥美 達也 氏

令和4年3月31日限りで秋田弘俊北海道大学病院長が任期満了となり、その後任として渥美達也教授が発令されました。

任期は、令和7年3月31日までです。

併せて、令和4年4月1日付けで、副学長として発令されました。

担 当

病院経営

略 歴

生 年 月 日 昭和37年12月14日
昭和63年3月 北海道大学医学部卒業
平成4年3月 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了
平成4年3月 博士（医学）（北海道大学）
平成6年7月 } 英国聖トーマス病院レイン研究所
平成9年8月 }
平成10年6月 北海道大学医学部附属病院助手
平成11年6月 北海道大学医学部講師
平成22年4月 北海道大学大学院医学研究科准教授
平成24年4月 北海道大学大学院医学研究科教授
平成27年4月 北海道大学大学院医学研究科副研究科長
平成29年4月 北海道大学大学院医学研究院教授
平成31年4月 北海道大学大学病院副病院長



副理事に

やの りか
矢野 理香 氏

矢野理香教授は、令和4年4月1日付で副理事に発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和40年7月13日
昭和62年3月 北海道大学医療技術短期大学部卒業
昭和63年3月 聖路加看護大学卒業
平成4年3月 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了
平成22年9月 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了
平成22年9月 博士（看護学）（聖路加看護大学）
平成5年4月 北海道大学医療技術短期大学部助手
平成9年4月 天使女子短期大学講師
平成12年4月 天使大学看護栄養学部講師
平成16年4月 北海道大学医学部保健学科講師
平成20年4月 北海道大学大学院保健科学研究院講師
平成23年4月 北海道大学大学院保健科学研究院准教授
平成30年2月 北海道大学大学院保健科学研究院教授
令和元年4月 } 北海道大学人材育成本部女性研究者支援室長
令和2年3月 }
令和2年4月 ~ 北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室長
令和3年7月 }
令和4年3月 } 北海道大学総長補佐



副理事に

たかはし あや
高橋 彩 氏

高橋 彩教授は、令和4年4月1日付で副理事に発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和42年3月2日
平成4年3月 国士舘大学政経学部卒業
平成6年11月 MA in Women's History（ロンドン大学）
平成11年9月 PhD（ロンドン大学）
平成12年4月 いわき明星大学人文学部専任講師
平成15年3月 北海道大学留学生センター助教授
平成22年7月 北海道大学国際本部留学生センター准教授
平成24年3月 放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了
平成26年4月 佐賀大学国際交流推進センター教授
平成27年4月 北海道大学国際本部留学生センター教授
平成28年1月 } 北海道大学総長補佐
令和4年3月 }
平成28年3月 北海道大学国際本部グローバル教育推進センター教授
平成28年10月 北海道大学国際連携機構国際教育研究センター教授
平成30年8月 北海道大学高等教育推進機構教授
平成30年8月 ~ 北海道大学高等教育推進機構副機構長
令和3年3月 ~ 北海道大学国際連携機構副機構長



副理事，
社会共創部長事務取扱に

は せ がわ やすひろ
長谷川 康弘 氏

長谷川康弘特任教授は，令和4年4月1日付で副理事，社会共創部長事務取扱に発令されました。

任期は，令和5年3月31日までです。



副理事に

あ べ ひろし
阿部 弘 特任教授

阿部弘特任教授は，令和4年4月1日付で副理事に発令されました。

任期は，令和5年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日	昭和36年 4 月
昭和59年 4 月	北海道大学
平成13年 4 月	小樽商科大学会計課司計係長
平成16年 4 月	北海道大学財務部主計課第一予算掛長
平成17年 4 月	北海道大学財務部主計課総括予算掛長
平成18年 4 月	北海道大学財務部主計課予算第一係長
平成19年 4 月	北海道大学病院経営企画課課長補佐
平成21年 4 月	北海道大学財務部主計課課長補佐
平成23年 4 月	北海道大学研究推進部産学連携課長
平成25年 4 月	北海道大学総務企画部企画課長
平成28年 4 月	北海道大学総務企画部次長（兼）企画課長
平成30年 4 月	北海道大学研究推進部長

略 歴

生 年 月 日	昭和33年 4 月12日
昭和56年 3 月	東京理科大学理学部卒業
昭和58年 3 月	筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了
平成24年 3 月	工学博士（東京工業大学）
昭和58年 4 月	積水化学工業株式会社
平成 6 年 4 月	積水化学工業株式会社 主任技術員
平成 8 年10月	Sekisui Chemical Europe Ltd. 技術開発室長
平成12年 7 月	株式会社積水インテグレートリサーチ 主席研究員
平成24年 1 月	積水化学工業株式会社 環境経営グループ長
平成29年 4 月	積水化学工業株式会社 渉外グループ長
平成30年10月	積水化学工業株式会社 シニアアドバイザー
令和元年10月	北海道大学 大学力強化推進本部 URAステーション長・特任教授

役員等（再任）紹介

令和4年4月1日付

理事・副学長，経営戦略室長，教育改革室長，
高等教育推進機構長，アドミッションセンター長，
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部長に

やまぐち じゅんじ
山口 淳二 氏

山口淳二氏は，令和2年10月1日から理事・副学長，教育改革室長，人材育成本部長，高等教育推進機構長，アドミッションセンター長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

最高教育責任者で，担当は総括理事（プロボスト），教育統括（教育戦略，学生支援，入試・高大連携等），教員人事，中期目標・中期計画，ダイバーシティ・インクルージョン，障害者差別解消，同窓会・校友会です。

理事・副学長，国際連携機構長に

よこた あつし
横田 篤 氏

横田 篤氏は，令和2年10月1日から理事・副学長，国際連携機構長，サステナブルキャンパスマネジメント本部長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

最高国際責任者で，国際統括（国際戦略，GI-CoRE関連統括，国際競争力強化，国際大学連携，国際交流，海外オフィス等），SDGs統括です。

理事・副学長，広報・社会連携室長に

よし み ひろし
吉見 宏 氏

吉見 宏氏は，令和2年10月1日から理事・副学長，広報室長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

最高財務責任者で，財務統括（財務戦略，運営費交付金，概算要求等），広報・社会連携統括，ブランディング，コンプライアンス，ハラスメント対応です。

理事・副学長，研究戦略室長，創成研究機構長，
産学・地域協働推進機構長に

ます だ たか お
増田 隆夫 氏

増田隆夫氏は，令和2年10月1日から理事・副学長，研究戦略室長，創成研究機構長，産学・地域協働推進機構長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

最高研究責任者で，担当は研究統括（研究戦略，研究支援，研究公正，知的財産等），産学官連携統括，アントレプレナー教育・スタートアップ支援です。

理事・副学長，評価室長，アイヌ共生推進本部長，
大学院教育推進機構長，附属図書館長，大学文書館長に

やまもと ふみ ひこ
山本 文彦 氏

山本文彦氏は，令和2年10月1日から理事・副学長，評価室長，附属図書館長，大学文書館長，技術支援本部長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

最高改革責任者で，担当は改革統括（大学院改革，業務改善・働き方改革DX化，人事制度改革（全学運用教員，教員評価）等），リカレント教育，評価です。

理事，施設・環境計画長，安全衛生本部長に

すがわら のぶよし
菅原 修孝 氏

菅原修孝氏は，令和2年10月1日から理事，施設・環境計画室長，安全衛生本部長を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

担当は資産管理運用統括（施設・環境，病院再開発，資産管理・運用，安全衛生，フロンティア基金等）です。

理事に

うめ はら とし ゆき
梅原 俊志 氏

梅原俊志氏は，令和2年10月1日から理事を務め，令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが，引き続き同氏が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

担当は経営改革，道外企業等連携です。

副学長に

ゆはず かずより
弐 和順 氏

弐 和順教授は、令和2年10月1日から副学長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

担当は新渡戸カレッジ、同窓会（業務補佐）です。

副学長に

いしもり こういちろう
石森 浩一郎 氏

石森浩一郎教授は、令和2年10月1日から副学長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

担当はWPI（ICReDD）です。

副学長，総合IR室長に

はせやま みき
長谷山 美紀 氏

長谷山美紀教授は、令和2年10月1日から副学長，総合IR室長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。任期は令和6年3月31日までです。

担当はIR，データ駆動型研究創発拠点（D-RED），数理データサイエンス，行政連携（中央）です。

新任部局長等紹介

令和4年4月1日付

水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長に



たかぎ やすあき
都木 靖彰 教授

令和4年3月31日限りで木村暢夫水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長が任期満了となり、その後任として都木靖彰教授が発令されました。任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和36年6月11日
昭和59年3月 北海道大学水産学部卒業
昭和61年3月 北海道大学大学院水産学研究科修士課程修了
平成元年4月 日本学術振興会特別研究員
平成2年3月 北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了
平成2年3月 水産学博士（北海道大学）
平成3年5月 東京大学海洋研究所附属大槌臨海研究センター助手
平成14年4月 北海道大学大学院水産科学研究科教授
平成17年4月 北海道大学大学院水産科学研究院教授
平成30年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員
令和2年3月 }
令和2年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員
令和4年3月 }
令和4年4月 北海道大学大学院水産科学研究院長・大学院水産科学院長・水産学部長

教育学研究院長・教育学院長・教育学部長に



よこい としろう
横井 敏郎 教授

令和4年3月31日限りで宮崎隆志教育学研究院長・教育学院長・教育学部長が任期満了となり、その後任として横井敏郎教授が発令されました。任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和37年5月17日
昭和61年3月 京都大学文学部卒業
平成元年3月 立命館大学大学院文学研究科修士課程修了
平成元年3月 文学修士（立命館大学）
平成4年3月 立命館大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
平成4年11月 北海道大学教育学部助手
平成12年4月 北海道大学大学院教育学研究科助手
平成14年10月 北海道大学大学院教育学研究科助教授
平成19年4月 北海道大学大学院教育学研究院准教授
平成24年9月 北海道大学大学院教育学研究院教授
平成30年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員
令和4年3月 }
平成30年4月 } 北海道大学大学院教育学研究院副研究院長
令和4年3月 }

総合化学院長に



さだ かずき
佐田 和己 教授

令和4年3月31日限りで大利徹総合化学院長が任期満了となり、その後任として佐田和己教授が発令されました。任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和38年3月2日
昭和60年3月 京都大学工学部卒業
昭和62年3月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
平成2年3月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得退学
平成2年4月 岐阜大学工学部助手
平成3年1月 博士（工学）（京都大学）
平成7年10月 大阪大学工学部助手
平成10年4月 大阪大学大学院工学研究科助手
平成14年4月 九州大学大学院工学研究院助教授
平成19年4月 九州大学大学院工学研究院准教授
平成22年4月 北海道大学大学院理学研究院教授
令和2年4月 } 北海道大学大学院総合化学院副学院長
令和4年3月 }

経済学研究院長・経済学院長・経済学部長に



くぼた はじめ
久保田 肇 教授

令和4年3月31日限りで平本健太経済学研究院長・経済学院長・経済学部長が任期満了となり、その後任として久保田肇教授が発令されました。任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和38年1月1日
昭和62年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了
平成8年5月 ロチェスター大学大学院修了
平成8年6月 Ph.D（経済学）（ロチェスター大学）
平成9年3月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得退学
平成9年4月 滋賀大学経済学部講師
平成10年4月 滋賀大学経済学部助教授
平成12年4月 北海道大学大学院経済学研究科助教授
平成19年4月 北海道大学大学院経済学研究科准教授
平成20年1月 北海道大学大学院経済学研究科教授
平成23年4月 北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授
平成24年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授
平成24年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員
平成28年3月 }
平成24年4月 } 大学院経済学研究科副研究科
平成28年3月 }
平成29年4月 } 北海道大学経済学研究院教授
平成29年4月 } 北海道大学院国際食資源学院教授
令和4年3月 }
平成30年4月 } 国際連携研究教育局（GI-CoRE）食水土資源グローバルステーション連携研究員
令和3年3月 }
令和3年4月 } 北海道大学農学院食水土資源グローバルセンター（GCF）連携研究員

歯学研究院長・歯学院長・歯学部長に



あみづか のり お
網塚 憲生 教授

令和4年3月31日限りで八若保孝歯学研究院長・歯学院長・歯学部長が任期満了となり、その後任として網塚憲生教授が発令されました。
任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和36年10月2日
昭和63年3月 新潟大学歯学部卒業
平成4年3月 新潟大学大学院歯学研究科博士課程修了
平成4年3月 博士（歯学）（新潟大学）
平成4年4月 新潟大学歯学部 助手
平成14年1月 新潟大学大学院歯学総合研究科 助教授
平成17年9月 新潟大学超域研究機構 教授
平成21年5月 北海道大学大学院歯学研究科 教授
平成29年4月 北海道大学大学院歯学研究院 教授
平成30年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員
令和4年3月 }
平成30年4月 } 北海道大学大学院歯学研究院副研究院長
令和4年3月 }
令和4年4月 北海道大学大学院歯学研究院長・歯学院長・歯学部長

低温科学研究所長に



わたなべ なお き
渡部 直樹 教授

令和4年3月31日限りで福井 学低温科学研究所長が任期満了となり、その後任として渡部直樹教授が発令されました。
任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和39年10月4日
昭和63年3月 日本大学理工学部卒業
平成2年3月 東京都立大学大学院理学研究科修士課程修了
平成5年3月 東京都立大学大学院理学研究科博士課程修了
平成5年3月 博士（理学）（東京都立大学）
平成6年4月 } 理化学研究所基礎科学特別研究員
平成8年7月 }
平成8年7月 北海道大学低温科学研究所助手
平成12年8月 } 英国・University College London（文部省在外研究員）
平成13年7月 }
平成18年4月 北海道大学低温科学研究所助教授
平成19年4月 北海道大学低温科学研究所准教授
平成21年10月 北海道大学低温科学研究所教授
平成30年4月 } 北海道大学ディステイニングイッシュトプロフェッサー
令和3年3月 }
平成30年4月 } 北海道大学低温科学研究所副所長
令和4年3月 }
令和2年10月 } 北海道大学総長補佐
令和4年3月 }
令和3年4月 北海道大学ディステイニングイッシュトプロフェッサー（令和6年3月まで）

遺伝子病制御研究所長に



むらかみ まさあき
村上 正晃 教授

令和4年3月31日限りで田中一馬遺伝子病制御研究所長が任期満了となり、その後任として村上正晃教授が発令されました。
任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和38年7月13日
昭和62年3月 北海道大学獣医学部卒業
平成元年3月 北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了
平成5年3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了
平成5年3月 博士（医学）（大阪大学）
平成5年4月 北海道大学免疫科学研究所助手
平成11年4月 日本学術振興会海外特別研究員
平成13年4月 コロラド大学客員准教授、ハワードヒューズ医学研究所研究員
平成14年8月 大阪大学大学院医学系研究科助教授、生命機能研究科准教授
平成26年5月～北海道大学遺伝子病制御研究所教授
平成28年4月 } 北海道大学遺伝子病制御研究所長
令和2年3月 }
平成29年4月 } 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会会長
平成30年3月 }
令和2年4月 } 北海道大学遺伝子病制御研究所副所長、附属感染癌研究センター長
令和4年3月 }
令和3年6月～国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所グループリーダー
令和3年11月～大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 教授
令和4年4月～北海道大学遺伝子病制御研究所長
令和4年4月～国立大学附置研究所・センター会議第2部会会長

触媒科学研究所長に



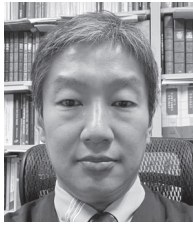
しみず けんいち
清水 研一 教授

令和4年3月31日限りで長谷川淳也触媒科学研究所長が任期満了となり、その後任として清水研一教授が発令されました。
任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和46年6月21日
平成6年3月 名古屋大学工学部卒業
平成9年3月 名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了
平成12年3月 博士（工学）（名古屋大学）
平成11年1月 } 日本学術振興会特別研究員
平成12年3月 }
平成12年4月 新潟大学大学院自然科学研究科助手
平成16年4月 名古屋大学大学院工学研究科助手
平成19年4月 名古屋大学大学院工学研究科助教
平成22年10月 北海道大学触媒化学研究センター准教授
平成27年10月 北海道大学触媒科学研究所教授
平成30年4月 } 北海道大学触媒科学研究所副所長
令和4年3月 }

スラブ・ユーラシア研究センター長に



の まち もと き
野町 素己 教授

令和4年3月31日限りでスラブ・ユーラシア研究センター長が任期満了となり、その後任として野町素己教授が発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和51年4月5日
平成12年3月 東京大学卒業
平成14年3月 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了
平成20年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学
平成23年9月 博士（文学）（東京大学）
平成15年10月 } ワルシャワ大学東洋文化研究所日本語科・講師
平成17年9月 }
平成20年5月 北海道大学スラブ研究センター准教授
平成29年10月 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授

北方生物圏フィールド科学センター センター長に



み や し た か ず し
宮下 和士 教授

令和4年3月31日限りで佐藤冬樹北方生物圏フィールド科学センター長が任期満了となり、その後任として宮下和士教授が発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和43年7月16日
平成3年3月 北海道大学水産学部卒業
平成5年3月 北海道大学大学院水産学研究科修士課程修了
平成8年3月 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了
平成8年3月 博士（農学）（東京大学）
平成8年5月 } 日本学術振興会特別研究員
平成9年3月 }
平成9年4月 } 海洋水産資源開発センター調査員
平成10年3月 }
平成10年3月 北海道大学水産学部助教授
平成19年4月 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター准教授
平成23年7月 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授

環境健康科学研究教育センター長に



や ま うち た ろ う
山内 太郎 教授

令和4年3月31日限りで小笠原克彦環境健康科学研究教育センター長が任期満了となり、その後任として山内太郎教授が発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和43年5月14日
平成5年3月 東京大学医学部卒業
平成7年3月 東京大学大学院医学系研究科修士課程修了
平成10年3月 東京大学大学院医学系研究科博士課程修了
平成10年3月 博士（保健学）（東京大学）
平成14年4月 東京大学大学院医学系研究科助手
平成19年4月 北海道大学医学部准教授
平成20年4月 北海道大学大学院保健科学研究院准教授
平成25年4月 北海道大学大学院保健科学研究院教授（現在に至る）
平成30年5月 } 人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授
令和4年3月 }
令和3年4月 北海道大学国際連携研究教育局（兼務）

脳科学研究教育センター長に



た な か ま さ き
田中 真樹 教授

令和4年3月31日限りで渡邊雅彦脳科学研究教育センター長が任期満了となり、その後任として田中真樹教授が発令されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和44年10月24日
平成6年3月 北海道大学医学部卒業
平成10年3月 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了
平成10年3月 博士（医学）（北海道大学）
平成10年6月 北海道大学医学部助手
平成10年9月 ハワードヒューズ医学研究所研究員
平成14年2月 北海道大学大学院医学研究科講師
平成18年8月 北海道大学大学院医学研究科助教授
平成19年4月 北海道大学大学院医学研究科准教授
平成22年11月 北海道大学大学院医学研究科教授
平成29年4月 北海道大学大学院医学研究院教授

部局長等（再任）紹介

令和4年4月1日付

保健科学院長・保健科学研究院長に

^{だて}
伊達 ^{ひろゆき}
広行 教授

伊達広行教授は、令和2年4月1日から保健科学院長・保健科学研究院長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

文学院長・文学研究院長・文学部長に

^{ふじた}
藤田 ^{たけし}
健 教授

藤田 健教授は、令和2年4月1日から文学院長・文学研究院長・文学部長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

情報科学院長・情報科学研究院長に

^{はせやま}
長谷山 ^{みき}
美紀 教授

長谷山美紀教授は、令和2年4月1日から情報科学院長・情報科学研究院長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

人獣共通感染症国際共同研究所長に

^{すずき}
鈴木 ^{やすひこ}
定彦 教授

鈴木定彦教授は、令和2年4月1日から人獣共通感染症国際共同研究所長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

量子集積エレクトロニクス研究センター長に

^{もとひさ}
本久 ^{じゅんいち}
順一 教授

本久順一教授は、令和2年4月1日から量子集積エレクトロニクス研究センター長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

アイヌ・先住民研究センター長に

^{かとう}
加藤 ^{ひろふみ}
博文 教授

加藤博文教授は、令和2年4月1日からアイヌ・先住民研究センター長を務め、令和4年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和6年3月31日までです。

新任部課長等紹介

令和4年4月1日付



総務企画部長に

おくやま としゆき
奥山 敏之 氏

昭和42年 8月29日生
昭和63年 4月 東北大学
平成 4年 4月 文部省体育局学校健康教育課
平成 7年 2月 文部省体育局体育課
平成11年10月 文部省体育局体育課管理係長(命)スポーツ振興投票係長
平成13年 1月 文部科学省大臣官房総務課副大臣室事務係長
平成14年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課施設係長
平成17年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課総務係長
平成18年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課専門官
平成19年 4月 東京農工大学財務企画チームリーダー
平成21年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当)付参事官補佐
(併) 青少年育成調整専門官(併) 青少年国際交流専門官
平成23年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局青少年課課長補佐(併) 参事官補佐
平成24年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課課長補佐
(併) トレーニング拠点整備推進専門官
平成26年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課課長補佐
平成27年10月 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課課長補佐
平成29年 4月 大分大学総務部長
平成31年 4月 電気通信大学総務部長
令和 4年 4月 北海道大学総務企画部長



財務部長に

かがや じろう
加賀谷 次朗 氏

平成 6年 4月 北海道大学病院事務部医事課
平成 8年 4月 北海道大学経理部主計課(兼)文部省官房会計課第四予算班
平成 9年 4月 文部省官房会計課第一予算班
平成10年 6月 科学技術庁長官官房会計課
平成13年 1月 文部科学省官房会計課国立学校特別会計第三予算班
平成14年 4月 文部科学省官房会計課国立学校特別会計第一予算班国立学校第二係主任
平成15年 4月 文部科学省官房会計課総括予算班総括係主任
平成16年 4月 文部科学省官房会計課総括予算班第二係長
平成17年 4月 文化庁政策課会計室予算係長
平成19年 4月 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課病院総括係長
平成22年 4月 筑波大学財務部財務企画課長
平成26年 4月 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室室長補佐
平成28年 4月 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課課長補佐
平成31年 4月 文部科学省高等教育局国立大学法人専門教育課課長補佐
令和 2年 4月 大学改革支援・学位授与機構大学連携・支援部長
令和 4年 4月 北海道大学財務部長



学務部長に

ひら た きみあき
平田 公明 氏

昭和43年 9月21日生
昭和62年 4月 筑波大学
平成 6年 1月 文部省学術国際局研究助成課(併任)
平成 6年 4月 放送大学学園
平成 9年 4月 文部省高等教育局企画課
平成10年 6月 文部省高等教育局学生課
平成11年 4月 文部省高等教育局学生課調査係主任
平成12年 4月 文部省学術国際局留学生課学部留学生係長
平成14年 4月 文部科学省高等教育局留学生課庶務係長
平成16年 4月 文部科学省高等教育局学生支援課私費留学生係長
平成16年 8月 文部科学省高等教育局学生支援課国費留学生第2係長
平成17年 4月 文部科学省高等教育局学生支援課専門職
平成18年 4月 大学評価・学位授与機構評価事業部評価第3課課長補佐
平成19年 4月 大学評価・学位授与機構評価事業部評価第2課長
平成21年 4月 大学評価・学位授与機構管理部学位審査課長
平成22年12月 大阪大学国際部学生交流推進課長
平成25年 4月 筑波大学教育推進部教育推進課長
平成27年 4月 放送大学学園学務部教務課長
平成30年 4月 東京大学教育・学生支援部入試課長
平成31年 4月 東京大学教育・学生支援部学務課長
令和 2年 4月 東京大学教育・学生支援部次長
令和 4年 4月 北海道大学学務部長



研究推進部長に

はらだ なおき
原田 直基 氏

昭和39年 2月 6日生
昭和61年 4月 北海道大学
平成14年 4月 小樽商科大学総務課広報文書係長
平成15年 4月 小樽商科大学総務課専門職員
平成16年 4月 小樽商科大学企画・評価室企画・大学評価係長
平成17年 4月 北海道大学企画部企画調整課経営分析室業務分析係長
平成19年 4月 北海道大学企画部経営分析室係長
平成20年 4月 北海道大学企画部調査分析課係長
平成20年 8月 北海道大学総務部総務課係長
平成23年 4月 北海道大学総務企画部企画課課長補佐
平成25年 4月 北海道大学監査室長
平成27年 4月 北海道大学総務課総経理秘書室長
平成29年 4月 北海道大学研究推進部研究支援課長
令和 4年 4月 北海道大学研究推進部長



施設部長に

はま だ さとし
濱田 智 氏

昭和57年 4 月 長崎大学
平成元年 4 月 鹿児島大学
平成 5 年10月 文部省大臣官房文教施設部高松工事事務所
平成11年 2 月 文部省大臣官房文教施設部札幌工事事務所工営係長
平成13年 1 月 文部科学省大臣官房文教施設部札幌工事事務所建築係長
平成15年 4 月 文部科学省大臣官房文教施設部技術課建築第二係長
平成16年 4 月 文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官付建築係長
平成18年 1 月 琉球大学施設企画課長
平成21年 4 月 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設企画課契約情報室室長補佐
平成23年 4 月 文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官付参事官補佐
平成27年 4 月 宇宙航空研究開発機構施設部参事
平成29年 4 月 熊本大学施設担当部長
平成30年 4 月 熊本大学施設部長
令和 2 年 4 月 群馬大学施設運営部長
令和 4 年 4 月 北海道大学施設部長



医学系事務部長に

いり さわ ひでつぐ
入澤 秀次 氏

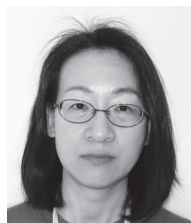
昭和38年 7 月10日生
昭和57年 4 月 北海道大学
平成14年 4 月 北海道大学経理部第一契約課専門職員
平成16年 4 月 北海道大学財務部主計課第二予算掛長
平成17年 4 月 北海道大学財務部主計課第一予算係長
平成18年 4 月 北海道大学財務部主計課予算第二係長
平成19年 4 月 北海道大学財務部主計課係長（総括予算担当）
平成21年 4 月 小樽商科大学財務課課長代理
平成23年 4 月 北海道大学財務部主計課課長補佐
平成27年 4 月 北海道大学病院経営企画課長
平成29年 4 月 北海道大学工学系事務部経理課長
平成30年 4 月 北海道大学財務部調達課長
令和 2 年 4 月 北海道大学農学・食資源学事務部事務長
令和 4 年 4 月 北海道大学医学系事務部長



総務企画部次長に

ひらまつ とおる
平松 亨 氏

昭和39年12月10日生
昭和58年 4 月 北海道大学
平成15年 4 月 北海道大学総務部人事課専門職員（定員管理・運用担当）
平成16年 4 月 北海道大学総務部人事課任用計画係長
平成18年 4 月 北海道大学企画部企画調整課企画調整係長
平成19年 4 月 北海道大学企画部企画調整課係長（企画調整担当）
平成22年 4 月 北海道大学総務部人事課課長補佐
平成23年 4 月 北海道大学総務企画部企画課課長補佐
平成26年 4 月 北海道大学総務企画部人事課課長補佐
平成28年 4 月 北海道大学総務企画部人事課厚生労務室長
平成30年 4 月 北海道大学総務企画部企画課長
令和 3 年 4 月 北海道大学総務企画部総務課長
令和 4 年 4 月 北海道大学総務企画部次長（兼）総務課長



総務企画部総務課安全衛生室長に

さと まりこ
里 真理子 氏

平成 4 年 3 月 北海道教育大学旭川分校卒業
平成 5 年 4 月 北海道大学
平成21年 4 月 北海道大学総務部総務課係長
平成23年 4 月 北海道大学総務企画部企画課係長
平成27年 4 月 北海道大学医学系事務部総務課課長補佐
令和30年 4 月 北海道大学監査室室長補佐
令和 3 年 4 月 北海道大学病院総務課課長補佐
令和 4 年 4 月 北海道大学総務企画部総務課安全衛生室長



資産運用管理課長に
しま や ともかつ
島谷 知克 氏

昭和46年2月生
平成6年3月 北海学園大学法学部卒業
平成6年4月 北海道大学
平成19年4月 北海道大学財務部主計課財務管理室係長（財務管理担当）
平成21年4月 北海道大学財務部主計課財務管理室係長（資金計画担当）
平成22年4月 北海道大学財務部主計課係長（財務法規担当）
平成24年4月 北海道大学財務部主計課係長（調整担当）
平成25年7月 北海道大学財務部資産運用管理課係長（運用企画担当）
平成26年7月 北海道大学財務部主計課専門員
平成27年7月 室蘭工業大学財務グループコーディネーター
平成28年7月 室蘭工業大学経営企画課副課長
平成29年7月 北海道大学国際部国際教務課課長補佐
平成30年4月 北海道大学総務企画部企画課課長補佐
令和2年4月 北海道大学財務部主計課課長補佐
令和4年4月 北海道大学財務部資産運用管理課長



学務部学務企画課
大学院教育改革推進室長に
かわさき なおし
川崎 直 氏

昭和44年4月3日生
平成5年3月 北海学園大学法学部卒業
平成5年4月 北海道大学農学部
平成7年10月 北海道大学免疫科学研究所
平成10年4月 北海道大学学務部教務課
平成12年4月 北海道大学文学部
平成15年4月 北海道大学法学部
平成17年10月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部教務課
平成20年4月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部教務課係長
平成21年4月 北海道大学工学系事務部教務課係長
平成23年4月 北海道大学函館キャンパス事務部係長
平成25年4月 北海道大学学務部教務課係長
平成26年4月 北海道大学学務部教育推進課係長
平成28年4月 小樽商科大学教務課課長代理
平成30年4月 北海道大学学務部教育推進課課長補佐
令和4年4月 北海道大学学務部学務企画課大学院教育改革推進室長



研究振興企画課長に
たけうち ゆうすけ
竹内 佑介 氏

昭和52年11月生
平成13年3月 北海道大学経済学部卒業
平成16年10月 北海道大学遺伝子病制御研究所
平成17年8月 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
平成21年4月 文部科学省研究振興局学術研究助成課企画室調査・普及係
平成22年4月 文部科学省研究振興局学術研究助成課企画室調査・普及係主任
平成23年4月 独立行政法人日本学術振興会研究事業課企画係長
平成26年4月 文部科学省研究振興局基礎研究振興課素粒子・原子核研究推進室研究推進係長
平成28年4月 京都工芸繊維大学財務課長
平成31年4月 独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究事業課長（兼）人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター事務長
令和2年4月 独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究事業課長
令和3年4月 大分大学研究推進部研究推進課長
令和4年4月 北海道大学研究推進部研究振興企画課長



国際企画課長に
さとう てつや
佐藤 哲也 氏

昭和47年9月19日生
平成12年3月 北海道大学文学部卒業
平成12年10月 室蘭工業大学学生課
平成14年4月 室蘭工業大学総務課
平成17年4月 室蘭工業大学図書課
平成19年4月 室蘭工業大学教務課
平成19年7月 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室企画調査係
平成21年4月 文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室企画調査係長
平成23年4月 外務省在ベトナム大使館二等書記官
平成26年5月 文部科学省国際統括官付専門職
平成26年12月 秋田大学国際課長
平成29年4月 学校法人沖縄科学技術大学院大学法令セクションマネージャー
平成31年4月 国立青少年教育振興機構国際・企画課長
令和3年4月 北陸先端科学技術大学院大学研究推進課長（兼）研究資金戦略課長
令和4年4月 北海道大学国際部国際企画課長



医学系事務部会計課長に

お がさわら よしかつ
小笠原 美勝 氏

昭和45年12月生

平成5年4月 北海道大学
平成19年10月 北海道大学医学系事務部会計課係長
平成23年4月 北海道大学函館キャンパス事務部係長
平成25年4月 北海道大学財務部調達課係長
平成29年7月 北海道教育大学財務部財務課副課長
令和元年7月 北海道大学財務部経理課課長補佐
令和4年4月 北海道大学医学系事務部会計課長



医学系事務部
保健科学研究院事務課長に

かにぐち ひろゆき
蟹口 宏幸 氏

昭和41年11月8日生

平成2年3月 北海学園大学法学部卒業
平成2年4月 北海道大学総務部人事課
平成16年10月 釧路工業高等専門学校庶務課人事係長
平成19年4月 北海道大学学務部入試課係長（特別選抜担当）
平成20年10月 北海道大学工学系事務部総務課係長（情報科学研究科事務室総務担当）
平成23年4月 北海道大学文学研究科・文学部係長（庶務担当）
平成26年4月 室蘭工業大学総務グループコーディネーター
平成28年4月 北海道大学病院総務課課長補佐
令和2年4月 室蘭工業大学研究協力課長
令和4年4月 北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課長



歯学事務部事務長に

たかはし きよみ
高橋 貴代美 氏

昭和44年1月29日生

平成3年3月 北海学園大学法学部卒業
平成3年4月 北海道大学
平成17年4月 旭川工業高等専門学校庶務課人事係長
平成19年4月 旭川工業高等専門学校総務課人事・労務係長
平成20年4月 北海道大学病院総務課係長
平成23年4月 北海道大学総務企画部総務課係長
平成25年4月 北海道大学総務企画部総務課専門員
平成27年4月 北海道大学監査室室長補佐
平成30年4月 北海道大学病院医療支援課課長補佐
令和2年4月 旭川医科大学病院事務部経営企画課長
令和3年4月 旭川医科大学事務局経営企画課長
令和4年4月 北海道大学歯学事務部事務長



工学系事務部総務課長に

はらだ ゆみ
原田 由美 氏

昭和42年9月20日生

昭和61年3月 北海道札幌清田高等学校卒業
平成元年4月 北海道大学
平成20年4月 北海道大学メディア・観光学事務部係長
平成21年7月 北海道大学学術国際部研究協力課係長
平成22年7月 北海道大学学術部研究協力課係長
平成23年4月 北海道大学研究推進部研究企画・推進課係長
平成24年4月 北海道大学工学系事務部総務課係長
平成26年4月 北海道大学総務企画部総務課安全衛生室専門員
平成29年4月 北海道大学学務部学生支援課課長補佐
平成31年4月 北海道大学工学系事務部総務課課長補佐
令和4年4月 北海道大学工学系事務部総務課長



附属図書館管理課長に

ひぐち ひでき
樋口 秀樹 氏

昭和39年 5 月生
昭和62年 4 月 木更津工業高等専門学校
平成元年 4 月 学術情報センター
平成10年 4 月 学術情報センターシステム管理課システム業務係長
平成12年 4 月 国立情報学研究所企画調整課共同利用係長
平成15年 4 月 国立情報学研究所企画調整課情報基盤整備係長
平成18年 4 月 国立情報学研究所企画調整課専門員
平成20年 4 月 国立情報学研究所基盤企画課副課長
平成23年 4 月 電気通信大学学術情報課長
平成26年 4 月 旭川医科大学教務部図書館情報課長
平成28年 4 月 北海道大学附属図書館利用支援課長
平成30年 4 月 国立情報学研究所学術基盤課長
令和 2 年 4 月 東京大学附属図書館柏地区図書課長
令和 4 年 4 月 北海道大学附属図書館管理課長



北海道大学病院総務課長に

みぶ あつし
壬生 篤志 氏

昭和50年 5 月生
平成11年 3 月 明治大学法学部卒業
平成11年10月 浜松医科大学
平成15年 4 月 生涯学習政策局生涯学習推進課
平成16年 4 月 生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室
平成19年10月 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター企画課企画係長
平成21年 7 月 生涯学習政策局参事官付専門職
平成21年 8 月 生涯学習政策局参事官付学習情報係長
平成23年 4 月 生涯学習政策局生涯学習推進課認定試験第一係長
平成25年 4 月 生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室民間教育事業第一係長
平成27年 4 月 生涯学習政策局情報教育課庶務係長
平成28年 4 月 福井大学病院部経営企画課長
平成31年 4 月 名古屋大学医学部・医学系研究科総務課長
令和 3 年 4 月 総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室室長補佐
令和 4 年 4 月 北海道大学病院総務課長



北海道大学病院総務課
人事労務管理室長に

ふなびき やすのり
船曳 康徳 氏

昭和40年 4 月生
昭和63年 5 月 苫小牧工業高等専門学校
平成 6 年 4 月 国立日高少年自然の家
平成 9 年 4 月 北海道大学
平成15年 4 月 北見工業大学総務課人事係長
平成16年 4 月 北見工業大学総務企画課人事係長
平成18年 1 月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課人事係長
平成18年 4 月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課人事第一係長
平成19年 4 月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課係長
平成21年 4 月 北海道大学総務部人事課係長
平成23年 4 月 北海道大学総務企画部人事課労務管理室係長
平成24年 4 月 北海道大学総務企画部人事課厚生労務室係長
平成25年 4 月 北海道大学施設部施設企画課係長
平成27年 4 月 北海道大学学務部学務企画課係長
平成28年10月 北海道大学工学系事務部総務課課長補佐
平成31年 4 月 北海道大学学務部学務企画課課長補佐
令和 2 年 4 月 北海道教育大学総務部人事課長
令和 2 年10月 北海道教育大学総務企画部人事課長
令和 4 年 4 月 北海道大学病院総務課人事労務管理室長



北海道大学病院経営企画課長に

こもりばやし さとし
小守林 訓 氏

昭和44年11月生
平成元年 2 月 北海道大学
平成17年10月 旭川医科大学総務部会計課調達係長
平成19年 4 月 旭川医科大学総務部会計課医療物品係長
平成20年 4 月 北海道大学病院管理課係長
平成22年 4 月 北海道大学財務部主計課係長
平成24年 4 月 北海道大学総務企画部企画課係長
平成27年 7 月 北海道大学財務部主計課専門員
平成28年 4 月 小樽商科大学企画戦略課課長代理
平成29年10月 北海道大学財務部調達課課長補佐
平成30年 4 月 北海道大学財務部主計課課長補佐
令和 2 年 4 月 小樽商科大学会計課長
令和 4 年 4 月 北海道大学病院経営企画課長



北海道大学病院管理課長に

やぎさわ まなぶ
八木澤 学 氏

昭和50年 7 月生

平成14年10月 北見工業大学
平成21年 4 月 北見工業大学財務課係長
平成23年 7 月 北見工業大学研究協力課係長
平成26年 7 月 北見工業大学財務課係長
平成29年 7 月 北見工業大学学長企画室係長
平成31年 4 月 旭川工業高等専門学校総務課長
令和 4 年 4 月 北海道大学病院管理課長



北海道大学病院医事課長に

おりた ともこ
折田 朋子 氏

昭和43年 1 月生

平成 3 年 1 月 北海道大学
平成17年 1 月 北海道大学北キャンパス合同事務部研究協力係長
平成18年 4 月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課人事第二係長
平成19年 4 月 北海道大学工学研究科・情報科学研究科・工学部総務課係長
平成20年10月 北海道大学学術国際部研究協力課係長
平成21年 4 月 北海道大学学術国際部産学連携・研究推進課係長
平成22年 7 月 北海道大学学術部産学連携・研究推進課係長
平成22年10月 北海道大学学務部教務課係長
平成24年 4 月 北海道大学学務部教務課全学教育・総合教育推進室係長
平成25年10月 北海道大学病院総務課係長
平成26年 4 月 北海道大学病院医療支援課係長
平成29年 4 月 北海道大学農学・食資源学事務部事務長補佐
令和 2 年 4 月 小樽商科大学学術情報課長
令和 4 年 4 月 北海道大学病院医事課長



北海道大学病院看護部長に

おかばやし やす こ
岡林 靖子 氏

昭和39年10月13日生

昭和61年 3 月 北海道大学医療技術短期大学部卒業
平成20年 3 月 北海道医療大学大学院修了（修士課程）
昭和61年 4 月 北海道大学医学部附属病院看護部
平成 7 年 4 月 市立名寄短期大学看護学科助手
平成11年 4 月 北海道大学医学部附属病院看護部副看護師長
平成17年 4 月 北海道大学病院看護部看護師長
平成31年 4 月 北海道大学病院副看護部長
令和 4 年 4 月 北海道大学病院看護部長

新任教授紹介

令和4年4月1日付



法学研究科教授に

なかむら ただし
中村 督 氏

法学政治学専攻政治学講座

生年月日

昭和56年1月26日

最終学歴

フランス国立社会科学高等研究院博士課程修了（平成24年8月）
博士（歴史学）（フランス国立社会科学高等研究院）

専門分野

ヨーロッパ政治史、フランス近現代史



法学研究科教授に

みやけ はじめ
三宅 新 氏

法学政治学専攻現代法講座

最終学歴

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了（平成23年9月）
博士（法学）（東京大学）

専門分野

商法



地球環境科学研究院教授に

こしかわ しげゆき
越川 滋行 氏環境生物科学部門
生態遺伝学分野

生年月日

昭和53年1月12日

最終学歴

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（平成17年3月）
博士（理学）（東京大学）

専門分野

進化発生生物学



理学研究院教授に

かじはら ひろし
柁原 宏 氏

生物科学部門多様性生物学分野

生年月日

昭和47年11月14日

最終学歴

北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了（平成13年3月）
博士（理学）（北海道大学）

専門分野

動物系統分類学



理学研究院教授に

きむら あつし
木村 敦 氏生物科学部門
生殖発生生物学分野

生年月日

昭和48年10月25日

最終学歴

北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了（平成13年3月）
博士（理学）（北海道大学）

専門分野

生殖ゲノム機能学



理学研究院教授に

ながい あいいちろう
永木 愛一郎 氏

化学部門有機・生命化学分野

生年月日

昭和48年1月23日

最終学歴

京都大学大学院工学研究科博士課程修了（平成17年3月）
博士（工学）（京都大学）

専門分野

有機化学、フロー化学、高分子化学



理学研究院教授に

ふるはた ひとし 氏
古畑 仁 氏

数学部門数学分野

生年月日

昭和42年12月

最終学歴

東北大学大学院理学研究科博士課程後期3年の課程修了（平成7年3月）
博士（理学）（東北大学）

専門分野

微分幾何学



理学研究院教授に

みやお ただひろ 氏
宮尾 忠宏 氏

数学部門数学分野

最終学歴

北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了（平成16年3月）
博士（理学）（北海道大学）

専門分野

数理解物理，関数解析，凝縮系物理学



農学研究院教授に

おくやま まさゆき 氏
奥山 正幸 氏

基盤研究部門応用生命科学分野

生年月日

昭和47年4月25日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了（平成13年3月）
博士（農学）（北海道大学）

専門分野

酵素科学・生化学



農学研究院教授に

こいけ さとし 氏
小池 聡 氏

基盤研究部門畜産科学分野

生年月日

昭和51年1月4日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了（平成15年3月）
博士（農学）（北海道大学）

専門分野

家畜栄養学



農学研究院教授に

ふきや さとる 氏
吹谷 智 氏

基盤研究部門
生物機能化学分野

生年月日

昭和46年11月10日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了（平成13年9月）
博士（農学）（北海道大学）

専門分野

応用微生物学，腸内細菌学



メディア・コミュニケーション研究院教授に

エデルハイム ヨハン リチャード 氏
EDELHEIM JOHAN RICHARD 氏

メディア・コミュニケーション部門
国際地域文化論

生年月日

昭和45年3月9日

最終学歴

オーストラリア マッコーリー大学 博士課程修了（平成19年9月）
Ph.D（文化研究）（マッコーリー大学）

専門分野

観光学，教育学，哲学



保健科学研究院教授に

すみ なおみ 氏
鷲見 尚己 氏

健康科学部門基盤看護学分野

最終学歴

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士後期課程修了（平成16年11月）
保健学博士（東京大学）

専門分野

臨床看護学，がん看護学



工学研究院教授に

きくち りゅうじ 氏
菊地 隆司 氏

応用化学部門科化学工学分野

生年月日

昭和43年 4 月14日

最終学歴

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了（平成 9 年 3 月）
博士（工学）（東京大学）

専門分野

触媒・資源化学プロセス



工学研究院教授に

きたがき りょうま 氏
北垣 亮馬 氏

建築都市部門先端空間性能分野

生年月日

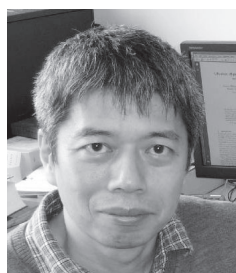
昭和53年 2 月10日

最終学歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（平成18年 3 月）
博士（工学）（東京大学）

専門分野

建築構造・材料



工学研究院教授に

まつだ おさむ 氏
松田 理 氏

応用物理学部門
量子物性工学分野

最終学歴

大阪大学大学院理学研究科後期課程修了（平成 3 年 3 月）
理学博士（大阪大学）

専門分野

超音波物性，光物性，超高速分光



工学研究院教授に

もり たろう 氏
森 太郎 氏

建築都市部門空間デザイン分野

生年月日

昭和45年 8 月 7 日

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了（平成11年 3 月）
博士（工学）（北海道大学）

専門分野

建築環境，建築設備



歯学研究院教授に

おおひろ よういち 氏
大廣 洋一 氏

口腔医学部門口腔病態学分野
口腔顎顔面外科学教室

最終学歴

北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了（平成 9 年 3 月）
博士（歯学）（北海道大学）

専門分野

口腔外科学



獣医学研究院教授に

もりまつ まさみ
森松 正美 氏

応用獣医学分野実験動物学教室

生年月日

昭和39年 8 月28日

最終学歴

北海道大学大学院獣医学研究科(形態機能学専攻)博士課程修了(平成4年3月)
博士(獣医学)(北海道大学)

専門分野

実験動物学



文学研究院教授に

い よんじゅ
李 連珠 氏

人文学部門言語科学分野

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位修得退学(平成15年3月)
修士(文学)(東京大学)

専門分野

言語学, 音韻論(特にアクセント論),
日韓語対照研究



文学研究院教授に

ささおか まさとし
笹岡 正俊 氏

人間科学部門地域科学分野

生年月日

昭和46年 8 月15日

最終学歴

東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程単位修得退学(平成14年3月)
博士(農学)(東京大学)

専門分野

環境社会学, ポリティカル・エコロジー論,
インドネシア地域研究



文学研究院教授に

たけざわ まさのり
竹澤 正哲 氏

人間科学部門行動科学分野

最終学歴

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了(平成13年3月)
博士(行動科学)(北海道大学)

専門分野

社会心理学, 適応的意思決定, 文化進化論



文学研究院教授に

とだ さとし
戸田 聡 氏

人文学部門表現文化論分野

最終学歴

オランダライデン大学文学部博士課程修了(2006年3月)
Doctor litterarum(オランダライデン大学)

専門分野

西洋古典文献学, 古代キリスト教史



文学研究院教授に

むらまつ まさたか
村松 正隆 氏

人文学部門哲学宗教学分野

生年月日

昭和47年 6 月22日

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位修得退学(平成13年3月)
博士(文学)(東京大学)

専門分野

近現代フランス哲学, 近現代倫理学



文学研究院教授に

ラ フェイ ミシェル
LA FAY MICHELLE 氏

最終学歴

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了（平成15年6月）
博士（文学）（北海道大学）

専門分野

日本におけるプロテスタントキリスト教，内村鑑三



公共政策学連携研究部教授に

う の じろう
宇野 二郎 氏

公共政策学部門公共政策学分野

生年月日

昭和48年6月19日

最終学歴

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程単位修得退学（平成18年3月）
博士（政治学）（早稲田大学）

専門分野

行政学



公共政策学連携研究部教授に

さいとう ひさみつ
齋藤 久光 氏

公共政策学部門公共政策学分野

生年月日

昭和52年10月5日

最終学歴

オレゴン州立大学農学部博士課程修了（平成20年3月）
Ph.D.（オレゴン州立大学）

専門分野

都市経済学，農業経済学



公共政策学連携研究部教授に

す が のぶひと
須賀 宣仁 氏

公共政策学部門公共政策学分野

生年月日

昭和50年11月15日

最終学歴

名古屋大学大学院経済学研究科博士課程（後期課程）修了（平成16年3月）
経済学博士（名古屋大学）

専門分野

国際貿易論



触媒科学研究所教授に

なかじま きよたか
中島 清隆 氏

触媒反応研究部門

生年月日

昭和53年3月18日

最終学歴

東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了（平成18年3月）
博士（理学）（東京工業大学）

専門分野

触媒化学，材料化学，グリーンケミストリー



量子集積エレクトロニクス
研究センター教授に

いしかわ ふみ たろう
石川 史太郎 氏

先進ナノ電子材料研究分野

生年月日

昭和52年3月9日

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了（平成16年3月）
博士（工学）（北海道大学）

専門分野

化合物半導体，結晶成長，電子材料



北方生物圏フィールド科学センター教授に

たかぎ けん けんたろう 氏
高木 健太郎 氏

森林圏研究領域生態系機能分野

生年月日

昭和44年 9 月 6 日生

最終学歴

北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程 単位取得退学（平成 9 年 3 月）
（平成10年 3 月）博士（地球環境科学）（北海道大学）

専門分野

森林生態系機能学，農林気象学



総合博物館教授に

えだ まさき 氏
江田 真毅 氏

研究部資料開発研究系

生年月日

昭和50年12月22日

最終学歴

東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了（平成16年 3 月）
博士（農学）（東京大学）

専門分野

動物考古学，考古鳥類学



高等教育推進機構教授に

フィルコラ ピーター
FIRKOLA PETER 氏

国際教育研究部

最終学歴

北海道大学大学院経済学研究科博士課程修了（平成 9 年12月）
博士（経営学）（北海道大学）

専門分野

人的資源管理



大学院教育推進機構教授に

よしほら たくや 氏
吉原 拓也 氏

大学院教育推進機構／
先端人材育成センター／
博士人材育成部

生年月日

昭和40年 2 月 6 日

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科修士課程修了（平成 2 年 3 月）
博士（工学）（大阪大学）

専門分野

キャリア教育，キャリア支援



国際連携研究局教授に

クズネツォフ セルゲイ イリイチ
KUZNETSOV SERGEY ILYICH 氏

先住民・文化的多様性研究
グローバルステーション
先住性研究ユニット

生年月日

昭和31年 3 月 9 日

最終学歴

ロシア イルクーツク国立大学 博士課程修了（平成 6 年 6 月）
歴史学博士（イルクーツク国立大学）

専門分野

歴史学

資料

令和4年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ

学部・学科等	募集 人員	入学者数		一般・フロンティア・国際総合入試（備考）								その他			
				人数		比率		人数		比率					
		全体	女子	道内	道外	道内	道外	R3年度 卒業	過年度 卒業	R3年度 卒業	過年度 卒業	人数	比率		
総合入試文系	95	98	31	16	80	16.3%	81.6%	68	28	69.4%	28.6%	2	2.0%		
国際総合入試	5	4	3	0	4	0.0%	100.0%	4	0	100.0%	0.0%	0	0.0%		
計	100	102	34	16	84	15.7%	82.4%	72	28	70.6%	27.5%	2	2.0%		
総合入試理系	数学重点選抜群	125	125	14	34	90	27.2%	72.0%	91	33	72.8%	26.4%	1	0.8%	
	物理重点選抜群	225	225	26	77	148	34.2%	65.8%	157	68	69.8%	30.2%	0	0.0%	
	化学重点選抜群	226	228	39	84	144	36.8%	63.2%	152	76	66.7%	33.3%	0	0.0%	
	生物重点選抜群	169	171	75	28	143	16.4%	83.6%	128	43	74.9%	25.1%	0	0.0%	
	総合科学選抜群	239	240	63	78	161	32.5%	67.1%	186	53	77.5%	22.1%	1	0.4%	
	国際総合入試	10	8	3	4	3	50.0%	37.5%	6	1	75.0%	12.5%	1	12.5%	
	計	994	997	220	305	689	30.6%	69.1%	720	274	72.2%	27.5%	3	0.3%	
文学部	155	161	62	48	110	29.8%	68.3%	125	33	77.6%	20.5%	3	1.9%		
教育学部	30	31	16	14	16	45.2%	51.6%	22	8	71.0%	25.8%	1	3.2%		
法学部	180	182	50	71	110	39.0%	60.4%	136	45	74.7%	24.7%	1	0.5%		
経済学部	160	166	36	79	86	47.6%	51.8%	127	38	76.5%	22.9%	1	0.6%		
理学部	数学科	23	25	2	11	11	44.0%	44.0%	19	3	76.0%	12.0%	3	12.0%	
	物理学科	17	18	0	7	10	38.9%	55.6%	11	6	61.1%	33.3%	1	5.6%	
	化学科	31	30	7	9	21	30.0%	70.0%	23	7	76.7%	23.3%	0	0.0%	
	生物科学科	生物学専修分野	10	10	3	0	10	0.0%	100.0%	7	3	70.0%	30.0%	0	0.0%
		高分子機能学専修分野	5	5	2	1	4	20.0%	80.0%	2	3	40.0%	60.0%	0	0.0%
	小計	15	15	5	1	14	6.7%	93.3%	9	6	60.0%	40.0%	0	0.0%	
	地球惑星科学科	10	10	2	2	7	20.0%	70.0%	7	2	70.0%	20.0%	1	10.0%	
計	96	98	16	30	63	30.6%	64.3%	69	24	70.4%	24.5%	5	5.1%		
医学部	医学科	97	97	22	32	65	33.0%	67.0%	60	37	61.9%	38.1%	0	0.0%	
	保健学科	看護学専攻	67	67	62	53	14	79.1%	20.9%	59	8	88.1%	11.9%	0	0.0%
		放射線技術科学専攻	35	37	17	29	8	78.4%	21.6%	32	5	86.5%	13.5%	0	0.0%
		検査技術科学専攻	35	37	25	25	11	67.6%	29.7%	27	9	73.0%	24.3%	1	2.7%
		理学療法学専攻	17	18	9	8	10	44.4%	55.6%	16	2	88.9%	11.1%	0	0.0%
		作業療法学専攻	17	17	11	10	7	58.8%	41.2%	15	2	88.2%	11.8%	0	0.0%
		小計	171	176	124	125	50	71.0%	28.4%	149	26	84.7%	14.8%	1	0.6%
	計	268	273	146	157	115	57.5%	42.1%	209	63	76.6%	23.1%	1	0.4%	
歯学部	43	43	18	14	29	32.6%	67.4%	23	20	53.5%	46.5%	0	0.0%		
薬学部	24	27	11	4	23	14.8%	85.2%	20	7	74.1%	25.9%	0	0.0%		
工学部	応用理工系学科	48	49	3	15	33	30.6%	67.3%	30	18	61.2%	36.7%	1	2.0%	
	情報エレクトロニクス学科	38	38	0	4	31	10.5%	81.6%	26	9	68.4%	23.7%	3	7.9%	
	機械知能工学科	30	30	2	9	19	30.0%	63.3%	21	7	70.0%	23.3%	2	6.7%	
	環境社会工学科	56	60	17	14	44	23.3%	73.3%	41	17	68.3%	28.3%	2	3.3%	
	計	172	177	22	42	127	23.7%	71.8%	118	51	66.7%	28.8%	8	4.5%	
農学部	53	53	15	2	51	3.8%	96.2%	41	12	77.4%	22.6%	0	0.0%		
獣医学部	35	37	20	6	30	16.2%	81.1%	29	7	78.4%	18.9%	1	2.7%		
水産学部	175	181	44	43	133	23.8%	73.5%	111	65	61.3%	35.9%	5	2.8%		
現代日本学プログラム		－	17	11	－	－	－	－	－	－	－	17	100.0%		
合 計		2,485	2,545	721	831	1,666	32.7%	65.5%	1,822	675	71.6%	26.5%	48	1.9%	
インテグレイテッド・サイエンス・プログラム（ISP）（2021.10入学）		－	11	8	－	－	－	－	－	－	－	11	100.0%		

備考：「一般・フロンティア・国際総合入試」の欄には、高等学校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校第3学年修了者、外国の学校等卒業者、帰国子女入試による入学者及び外国人留学生は含まれない。これらの入学者は、「その他」の欄に計上している。

（学務部入試課）

令和4年度入学者の都道府県分布及び地域比率

地 域 名	入学者	男子	女子	地域%
-------	-----	----	----	-----

北 海 道	831	572	259	32.7%
-------	-----	-----	-----	-------

東 北	104	75	29	4.1%
青 森 県	21	17	4	
岩 手 県	6	5	1	
宮 城 県	37	22	15	
秋 田 県	20	15	5	
山 形 県	5	4	1	
福 島 県	15	12	3	

関 東	701	530	171	27.5%
茨 城 県	48	33	15	
栃 木 県	25	20	5	
群 馬 県	26	23	3	
埼 玉 県	101	79	22	
千 葉 県	62	47	15	
東 京 都	290	207	83	
神 奈 川 県	149	121	28	

北 陸 ・ 中 部	419	320	99	16.5%
新 潟 県	35	25	10	
富 山 県	34	24	10	
石 川 県	61	45	16	
福 井 県	7	5	2	
山 梨 県	9	6	3	
長 野 県	34	23	11	
岐 阜 県	19	18	1	
静 岡 県	81	65	16	
愛 知 県	139	109	30	

地 域 名	入学者	男子	女子	地域%
-------	-----	----	----	-----

近 畿	270	189	81	10.6%
三 重 県	15	5	10	
滋 賀 県	15	8	7	
京 都 府	40	30	10	
大 阪 府	78	54	24	
兵 庫 県	86	63	23	
奈 良 県	24	18	6	
和 歌 山 県	12	11	1	

中 国 ・ 四 国	97	68	29	3.8%
鳥 取 県	5	4	1	
島 根 県	5	5	0	
岡 山 県	12	8	4	
広 島 県	40	31	9	
山 口 県	2	1	1	
徳 島 県	7	5	2	
香 川 県	8	4	4	
愛 媛 県	14	8	6	
高 知 県	4	2	2	

九 州 ・ 沖 縄	75	43	32	2.9%
福 岡 県	32	19	13	
佐 賀 県	5	2	3	
長 崎 県	7	4	3	
熊 本 県	10	3	7	
大 分 県	1	1	0	
宮 崎 県	3	3	0	
鹿 児 島 県	5	3	2	
沖 縄 県	12	8	4	

そ の 他	48	27	21	1.9%
高等学校卒業程度認定試験等	7	4	3	
帰国子女入試	7	3	4	
外国人留学生	34	20	14	

入 学 者 数 合 計	2,545	1,824	721	
-------------	-------	-------	-----	--

※地域別入学者数割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(学務部入試課)

編集メモ

- 3月30日（水）、新潟にて、新たに造船された水産学部附属練習船の命名・進水式が行われました。寶金清博総長は「うしお丸」と命名し、支綱切断が行われ、進水式

は無事に終了しました。現在は最終調整を進めているところで、うしお丸が北海道を訪れるのは8月の予定です。



挨拶をする寶金総長



新潟の海に浮かぶうしお丸

- 4月6日（水）から4月12日（火）まで、株式会社北海道百科の主催により、札幌大通公園地下街オーロラタウンの「きたキッチン」にて北海道大学フェアが行われま

した。初日は寶金清博総長と増田隆夫理事・副学長も店頭で足を運ばれ、北海道大学ブランド認定商品をPRしました。



北海道大学フェアの様子



商品を手にPRする増田理事・副学長と寶金総長

裏表紙メモ

今月のキャンパス風景は新渡戸稲造博士顕彰碑です。札幌農学校の第2期卒業生である新渡戸博士は、国際連盟事務次長として活躍した国際人として知られています。柔らかな日差しの下、新入生が顕彰碑を仰ぎ見て志を新たにしていました。北大の春の始まりです。

キャンパス風景 25 新渡戸稲造博士顕彰碑（北11条西10丁目）



北大時報 ④ No.817 令和4年4月発行

北海道大学社会共創部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。<https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>